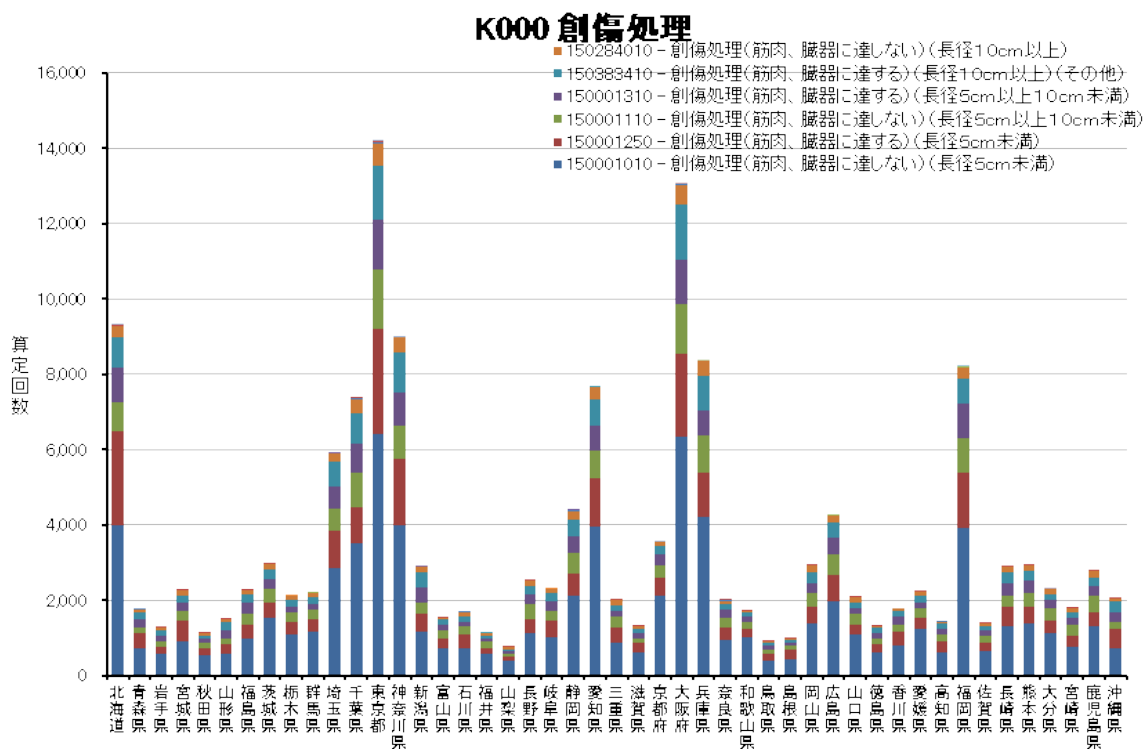


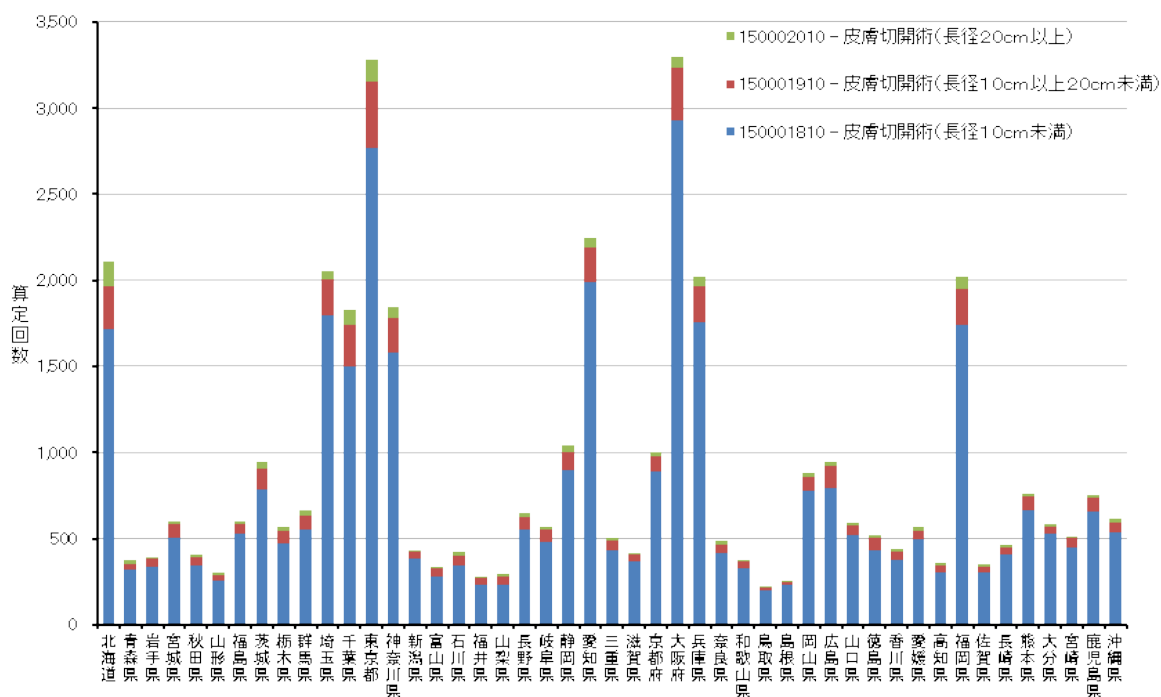
K 手術（入院_皮膚・皮下組織）

【概要】皮膚・皮下組織の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



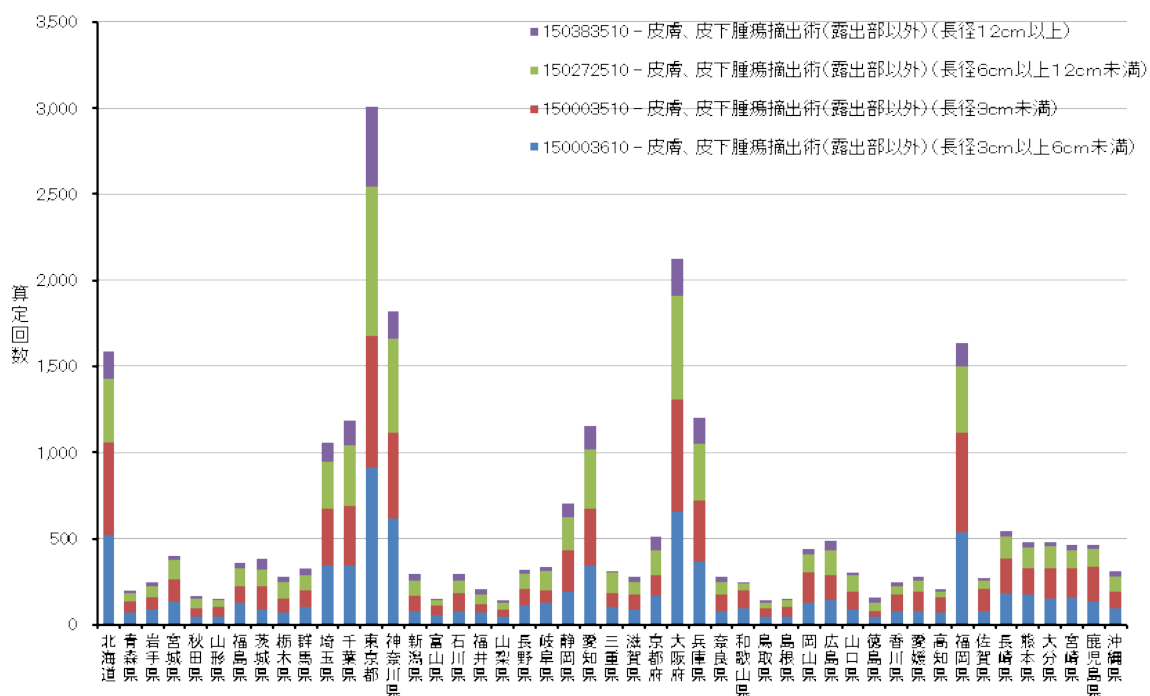
K000 創傷処理：切り傷、刺し傷などに対して、切除、縫合等を行うこと。

K001 皮膚切開術



K001 皮膚切開術：皮膚を切って開き、異物や膿の排出などをする手術。

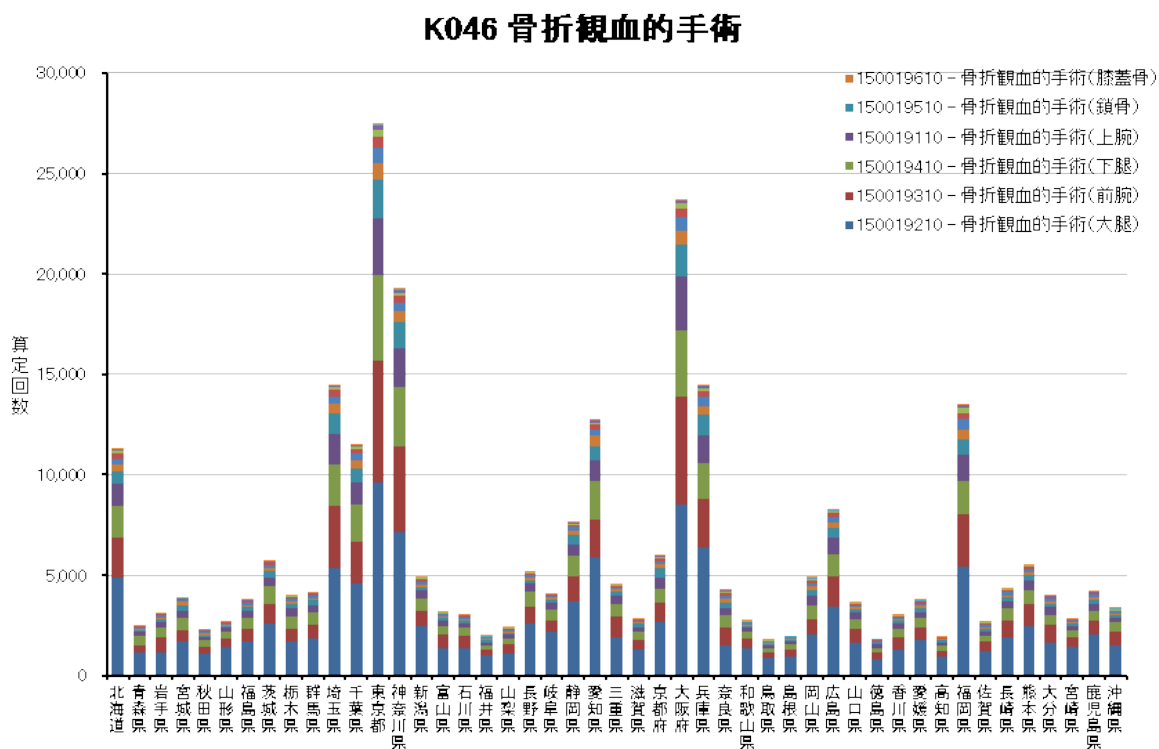
K006 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)



K006 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)：皮膚または皮下の腫瘍を摘出する手術(頭、首、肘以下、膝以下を除いた全身)。

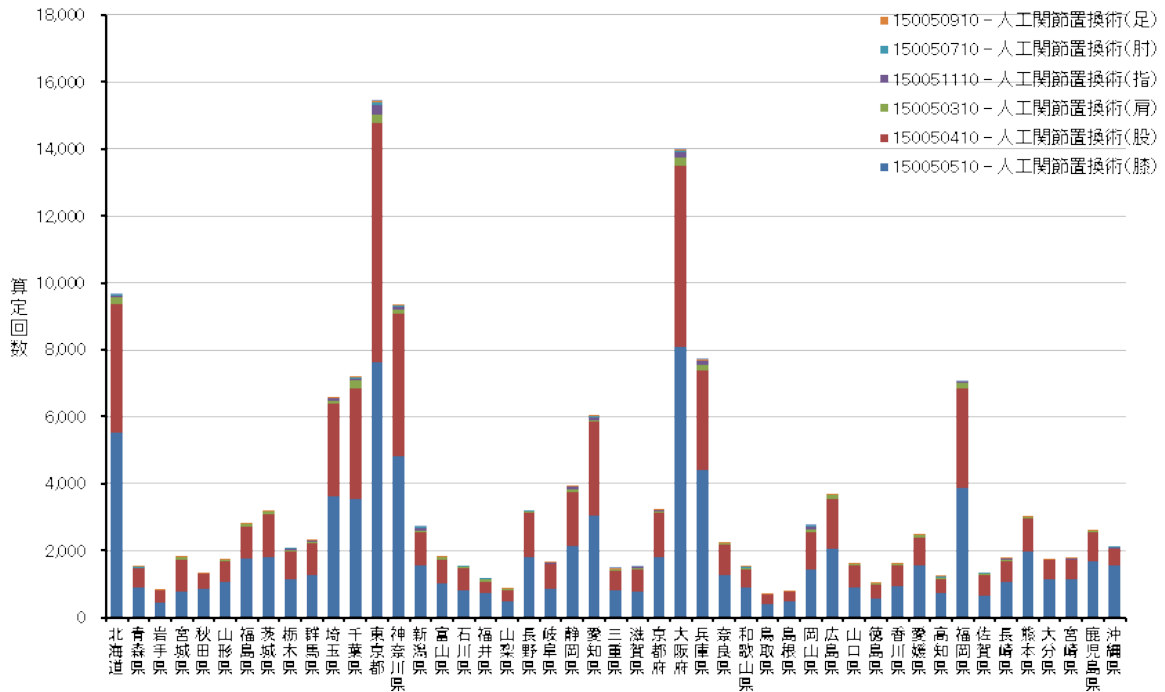
K 手術（入院_筋骨格系・四肢・体幹）

【概要】筋骨格系・四肢・体幹の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度（1年間）分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



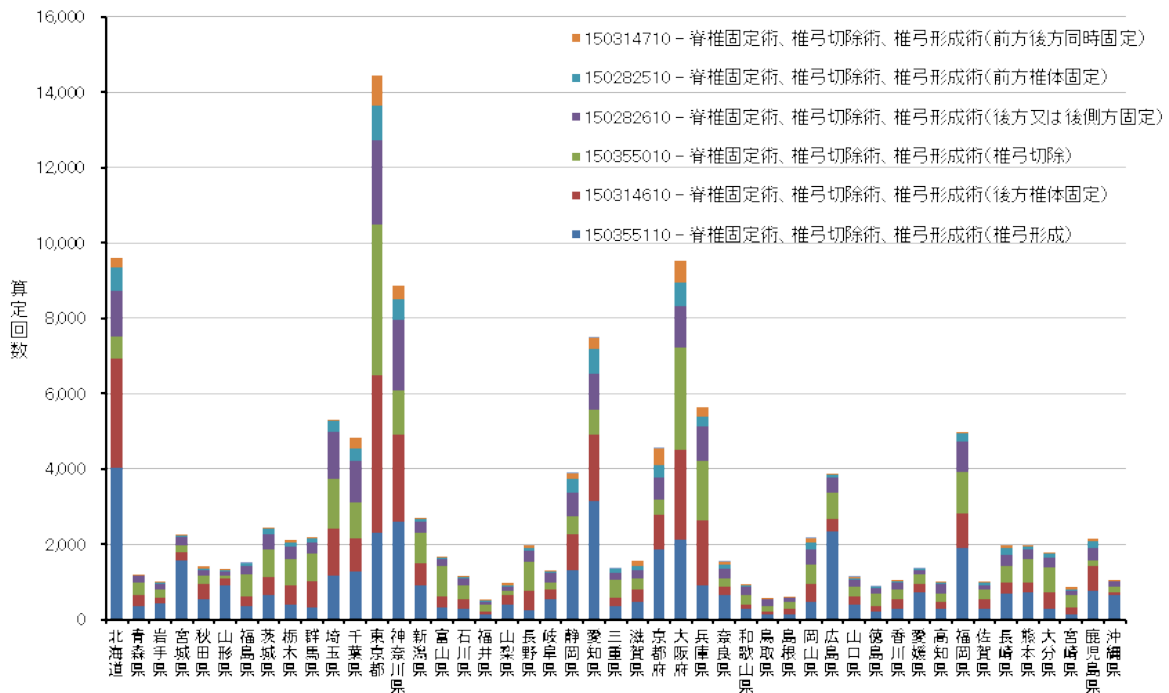
K046 骨折観血的手術：骨折に対して、皮膚切開をして骨折部分をネジやプレート等を用い直接固定する手術。

K082 人工関節置換術



K082 人工関節置換術：外傷等で損傷した関節を、人工関節に取り替える手術。

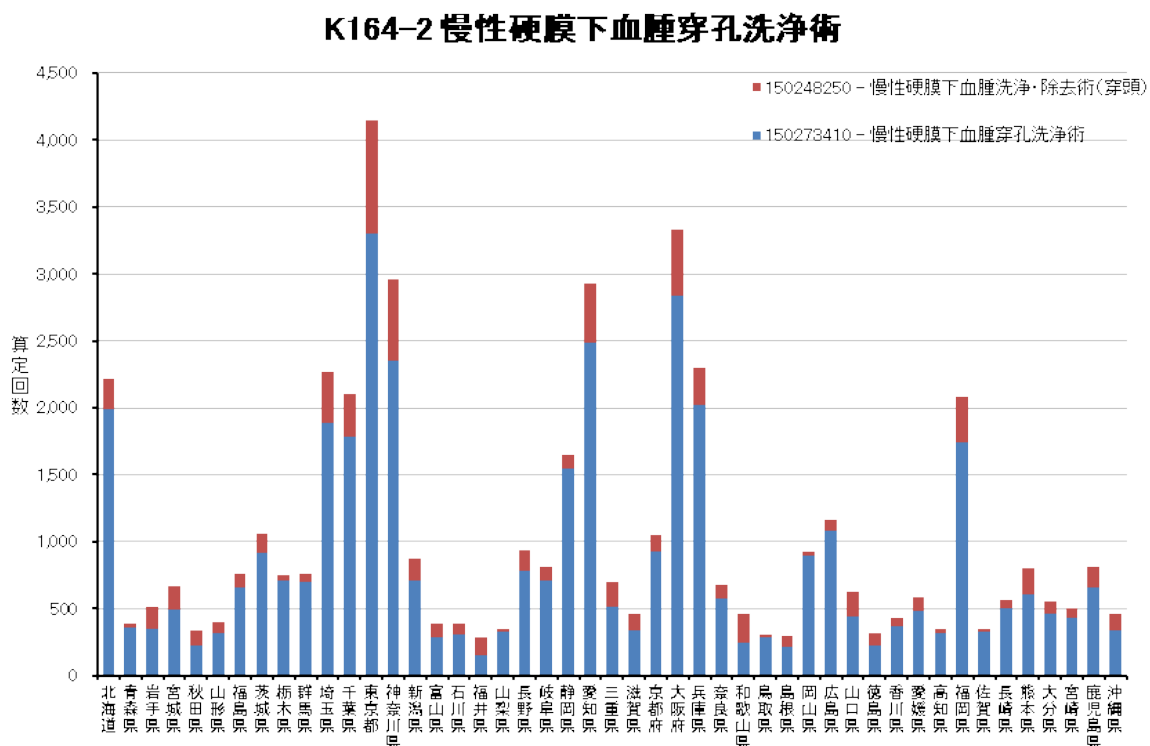
K142 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術



K142 脊椎固定術：骨の移植や器具の埋め込み等によって脊椎間を固定する手術。椎弓切除術・椎弓形成術：脊椎の後方にある環状の骨を切除、形成する手術。

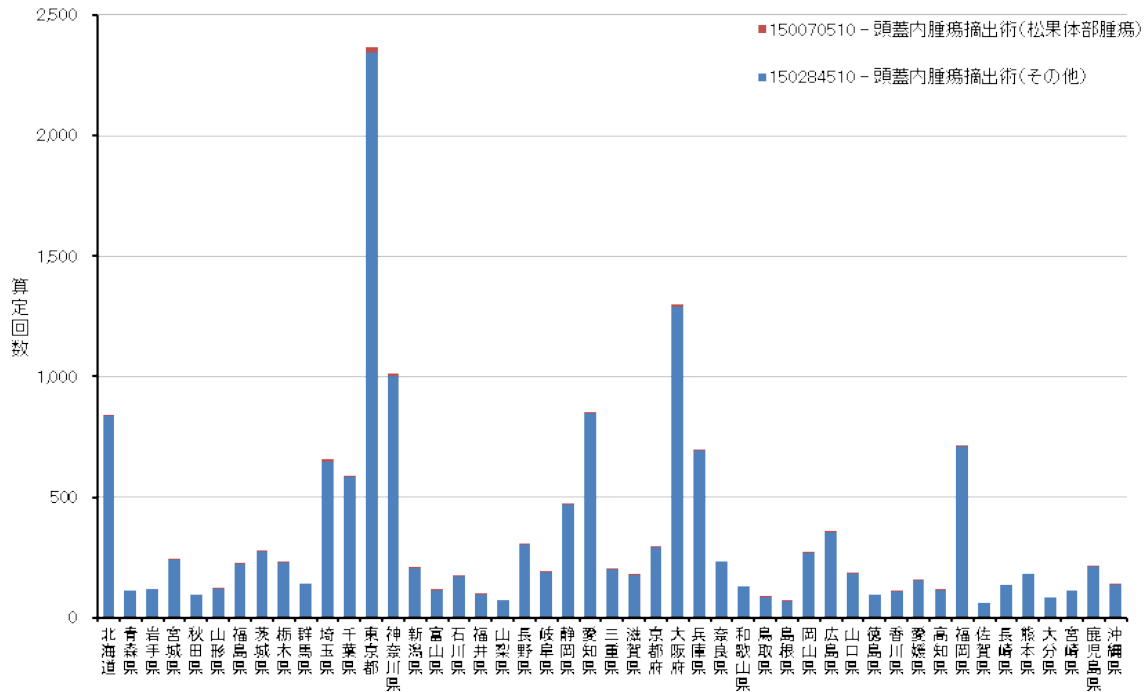
K 手術（入院_神経系・頭蓋）

【概要】神経系・頭蓋の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



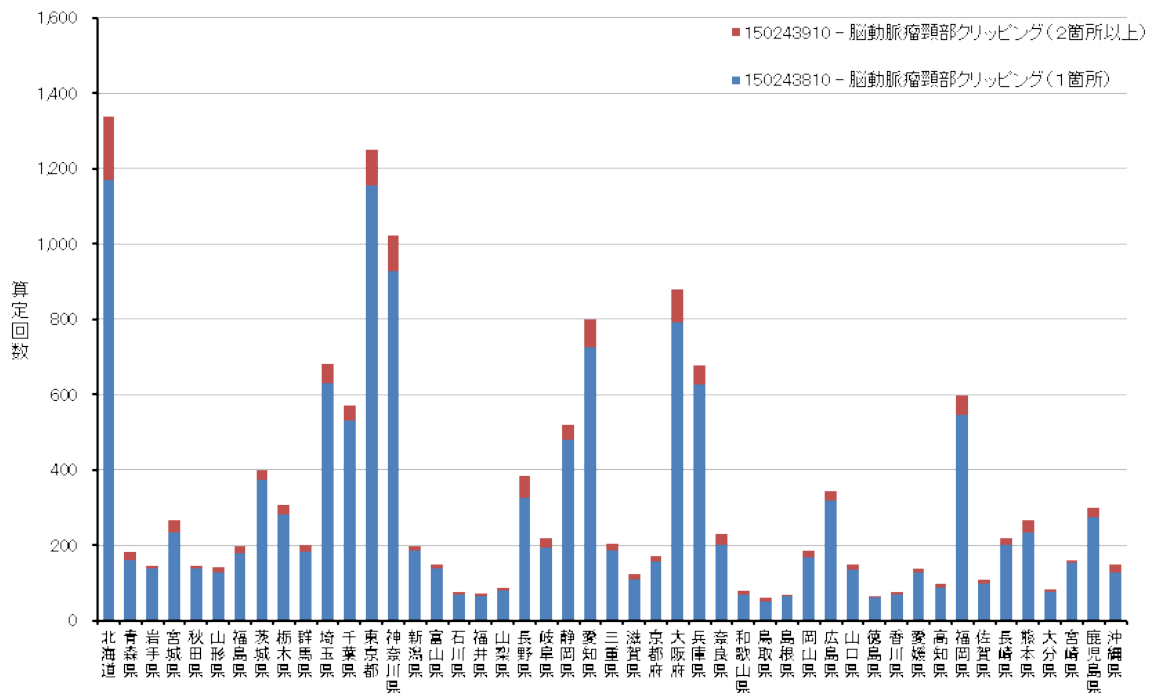
K164-2 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術：脳を覆っている硬膜と脳の間にとまった血の塊を、頭蓋骨に穴を開け、排出し洗浄する手術。

K169 頭蓋内腫瘍摘出術



K169 頭蓋内腫瘍摘出術：頭蓋内の腫瘍を摘出する手術。

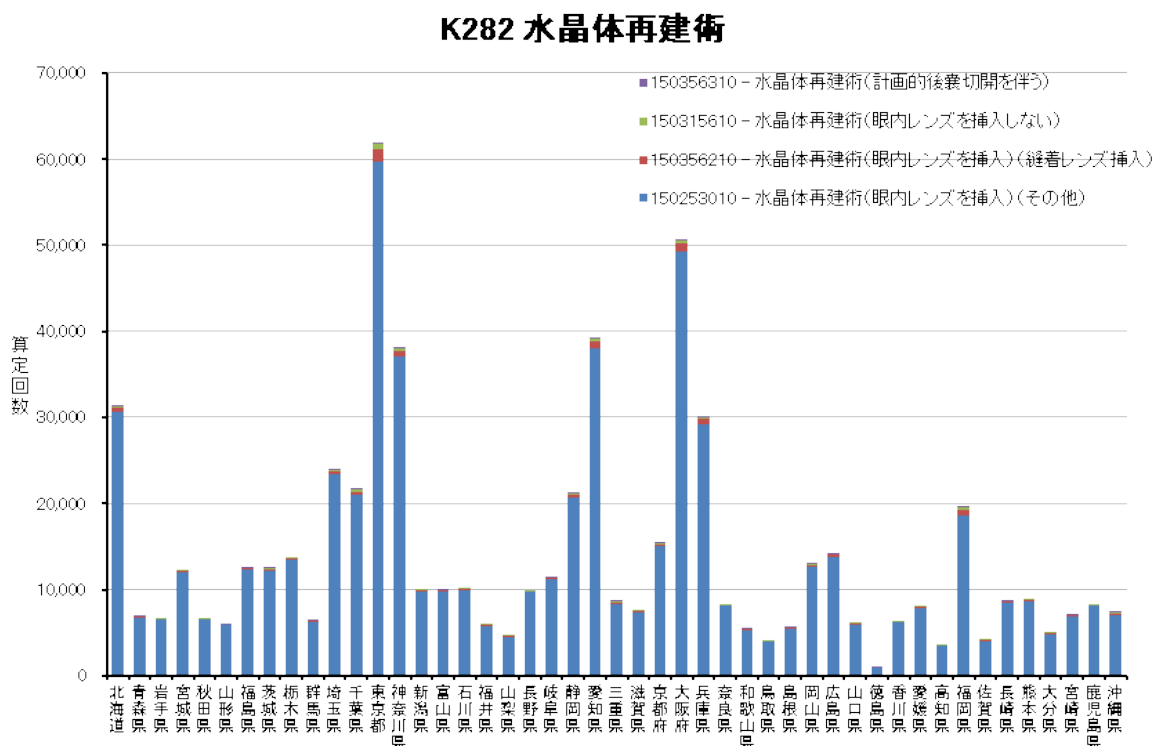
K177 脳動脈瘤頸部クリッピング



K177 脳動脈瘤頸部クリッピング：脳動脈瘤に対し、クリップを用い動脈瘤内への血流を遮断することで破裂を予防する手術。

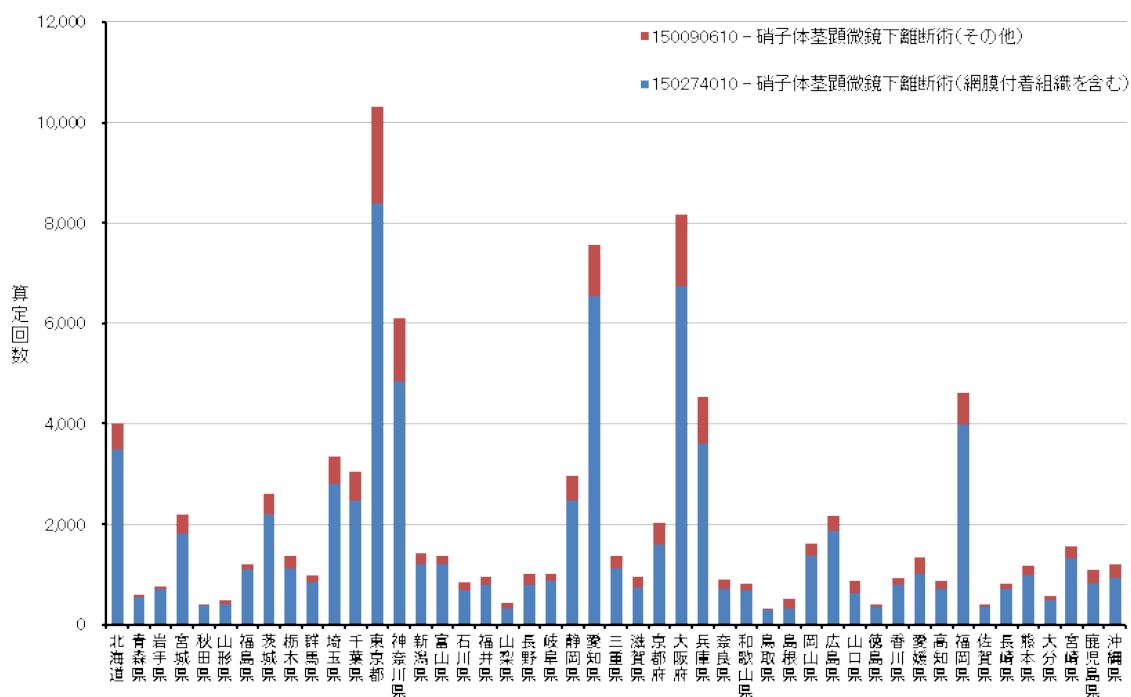
K 手術（入院_眼）

【概要】眼の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



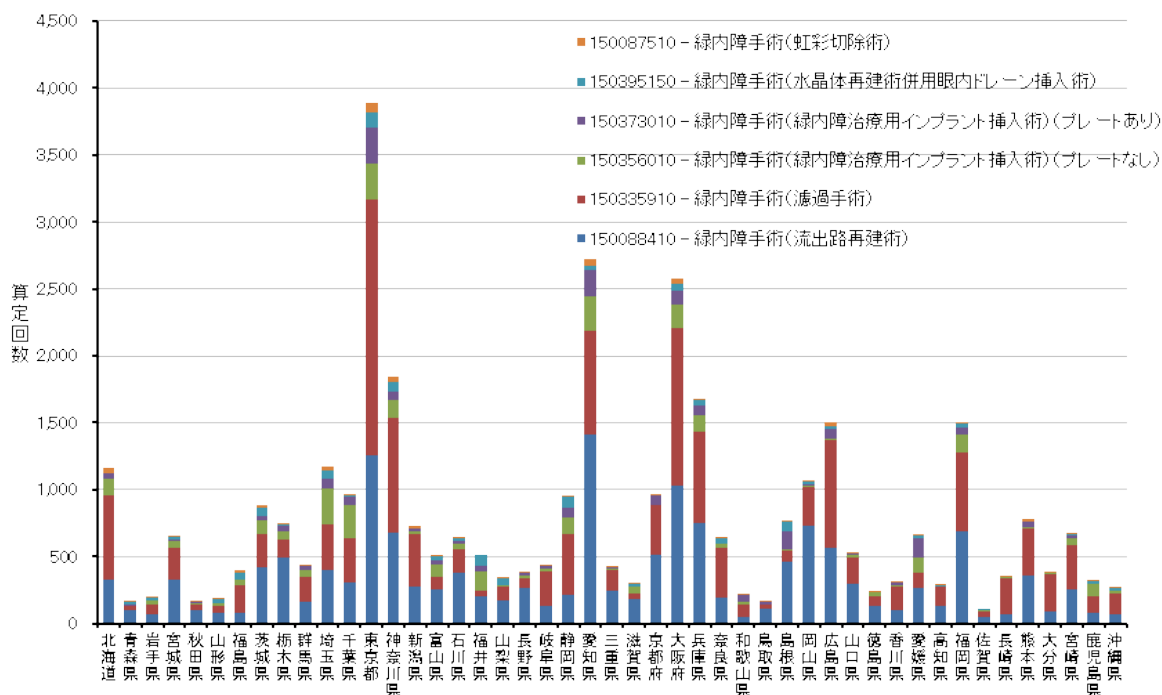
K282 水晶体再建術：目のレンズである水晶体の濁った部分や全部を取り除き、人工の眼内レンズを入れるなどして再建する手術。

K280 硝子体茎頭微鏡下離断術



K280 硝子体茎頭微鏡下離断術：眼球に穴をあけて細い手術器具を挿入し、目の中の出血や増殖組織を取り除いたり、剥離した網膜を元に戻したりする手術。

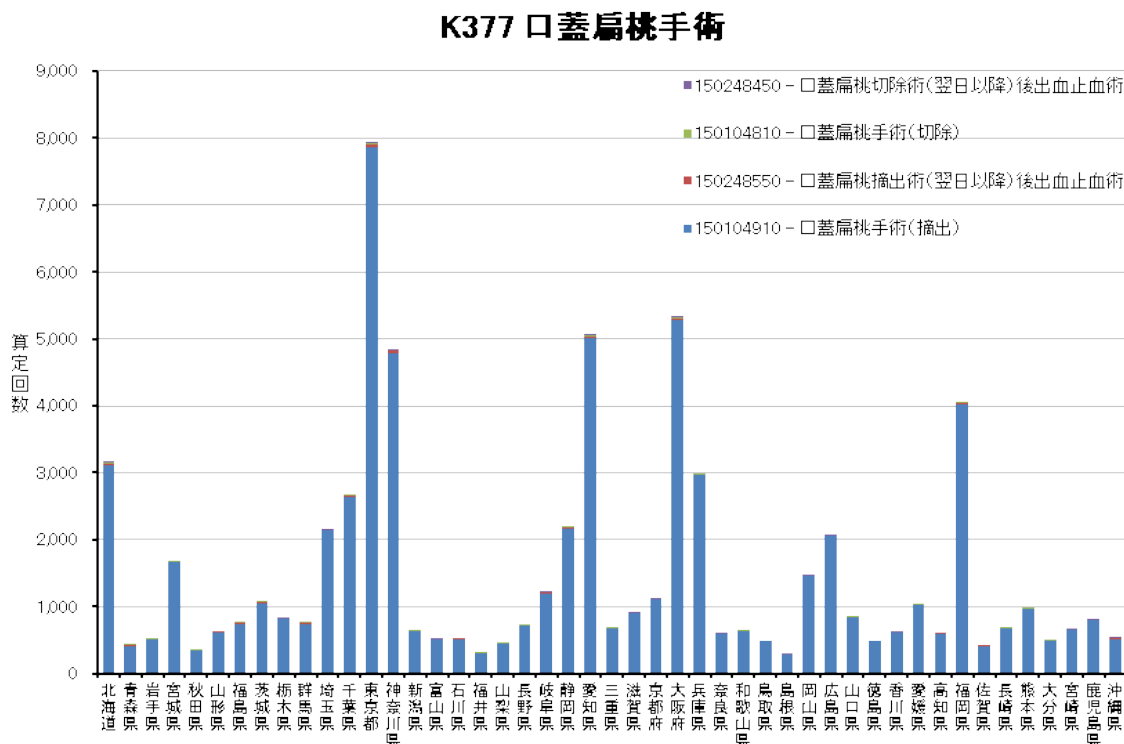
K268 緑内障手術



K268 緑内障手術：薬物治療などでも眼圧が下がらず、緑内障の視野障害の進行が認められる場合に行う手術。

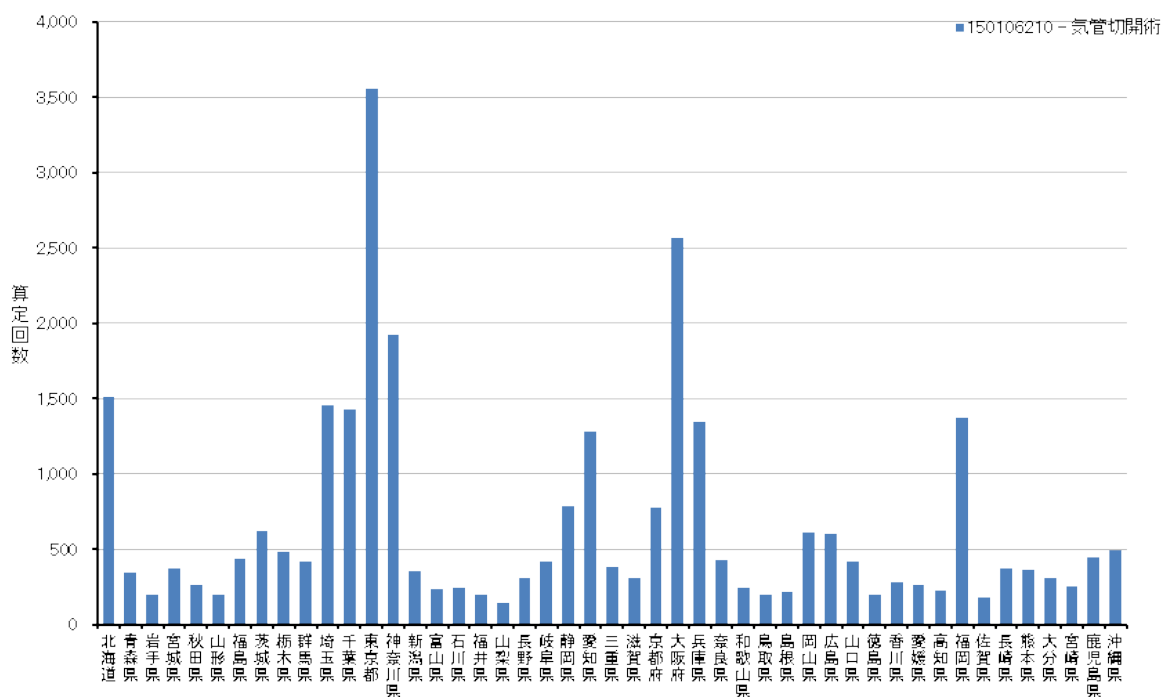
K 手術（入院_耳鼻咽喉）

【概要】耳鼻咽喉の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



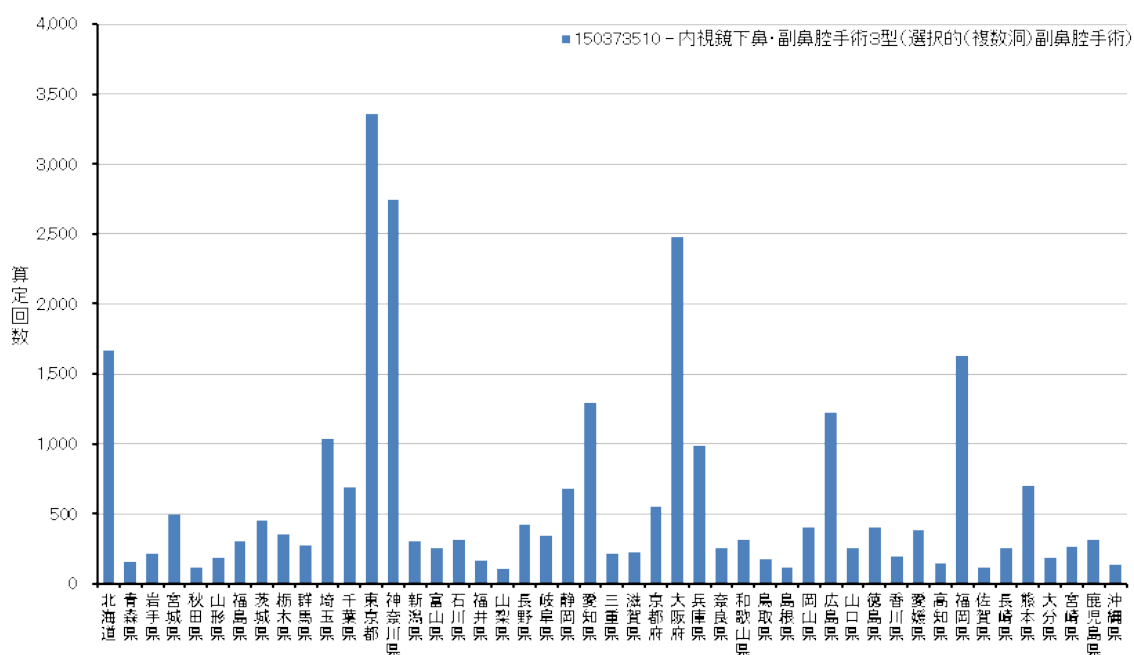
K377 口蓋扁桃手術：口蓋垂の左右に1個ずつ計2個存在する口蓋扁桃を切除もしくは摘出する手術。

K386 気管切開術



K386 気管切開術：前頸部で気管軟骨を切開し、チューブもしくはカニューレを挿入して気道を確認する手術。

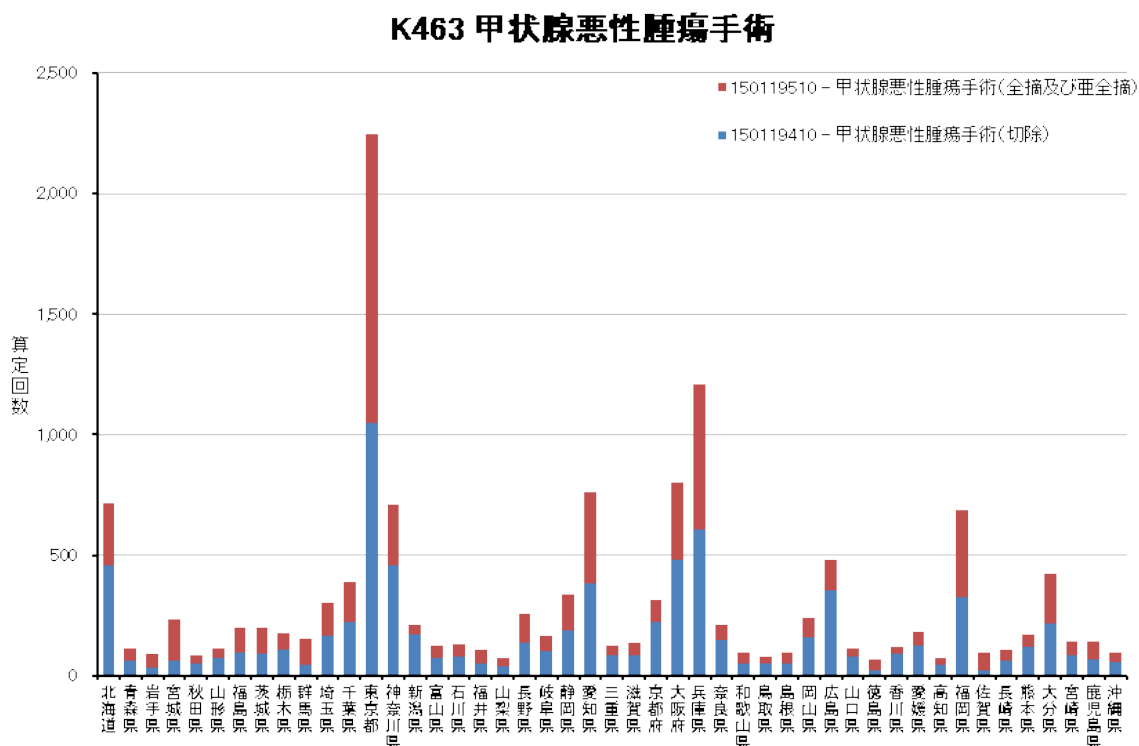
K340-5 内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)



K340-5 内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型：慢性副鼻腔炎に対して、前・後篩骨洞、前頭洞、上顎洞、蝶形骨洞のうち2つ以上の副鼻腔を開放し洞内の病的粘膜の処置を内視鏡下で行う手術。

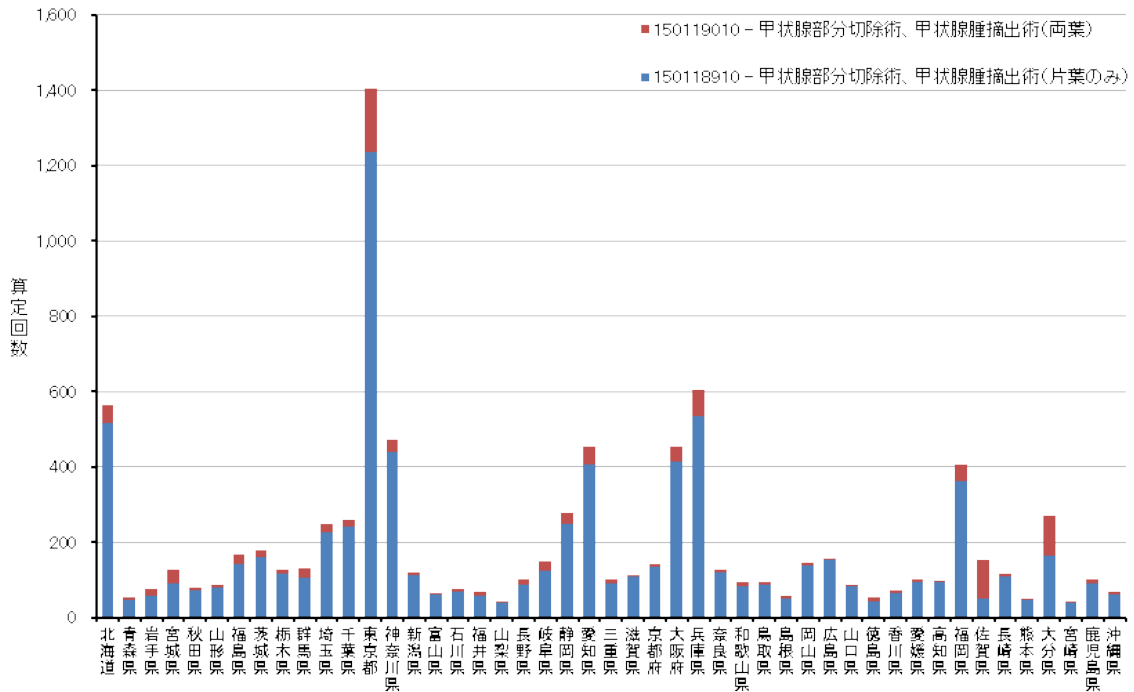
K 手術（入院_顔面・口腔・頸部）

【概要】顔面・口腔・頸部の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



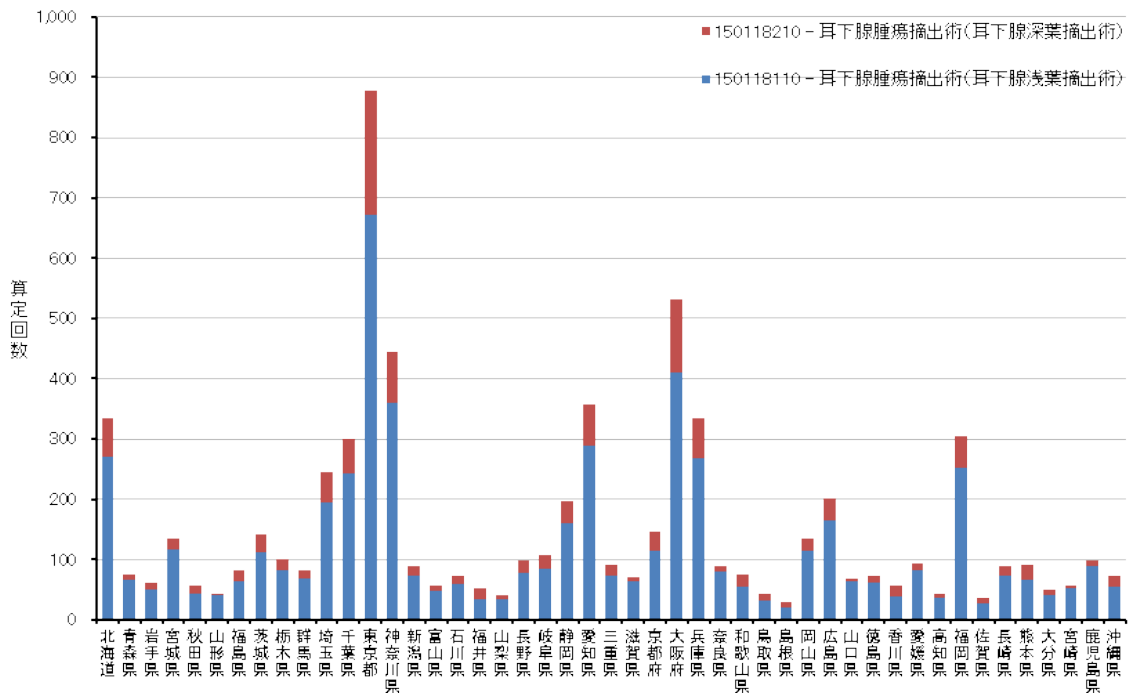
K463 甲状腺悪性腫瘍手術：悪性の甲状腺腫瘍に対して、一部切除、大部分の切除、または全摘出を行う手術。

K461 甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術



K461 甲状腺部分切除術：甲状腺を部分的に切除する手術。甲状腺腫摘出術：甲状腺にできた腫瘍を摘出する手術。

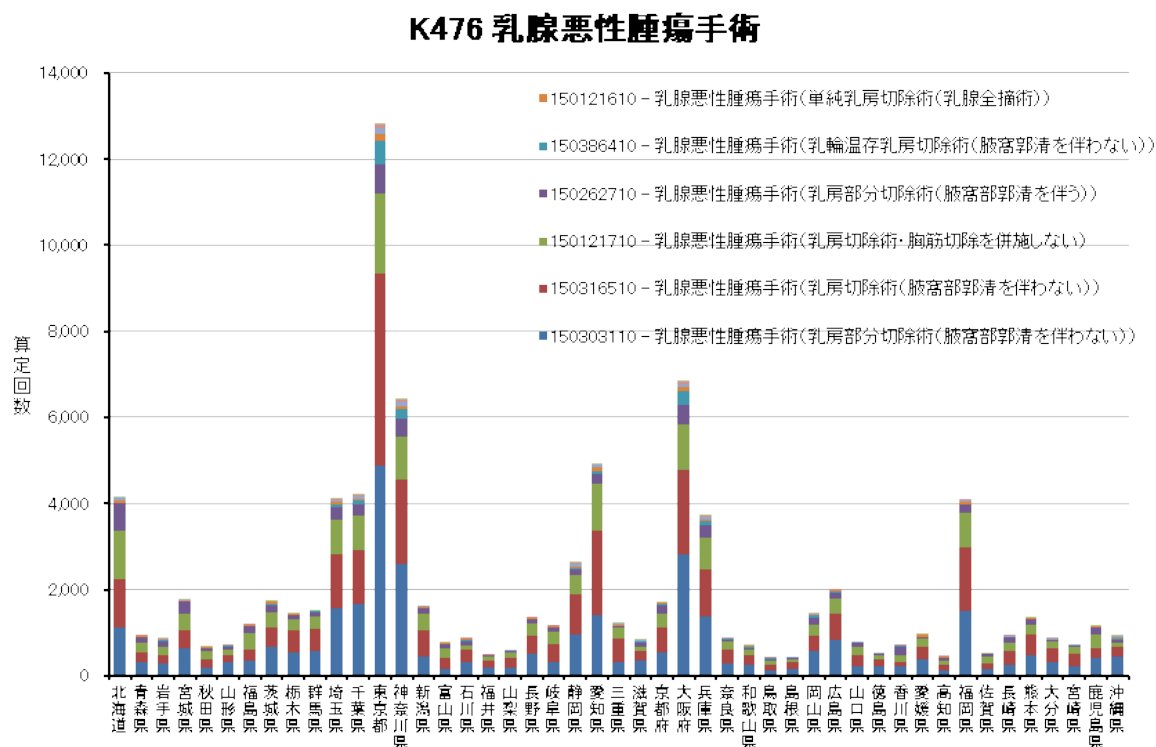
K457 耳下腺腫瘍摘出術



K457 耳下腺腫瘍摘出術：耳下腺にできた腫瘍を摘出する手術。

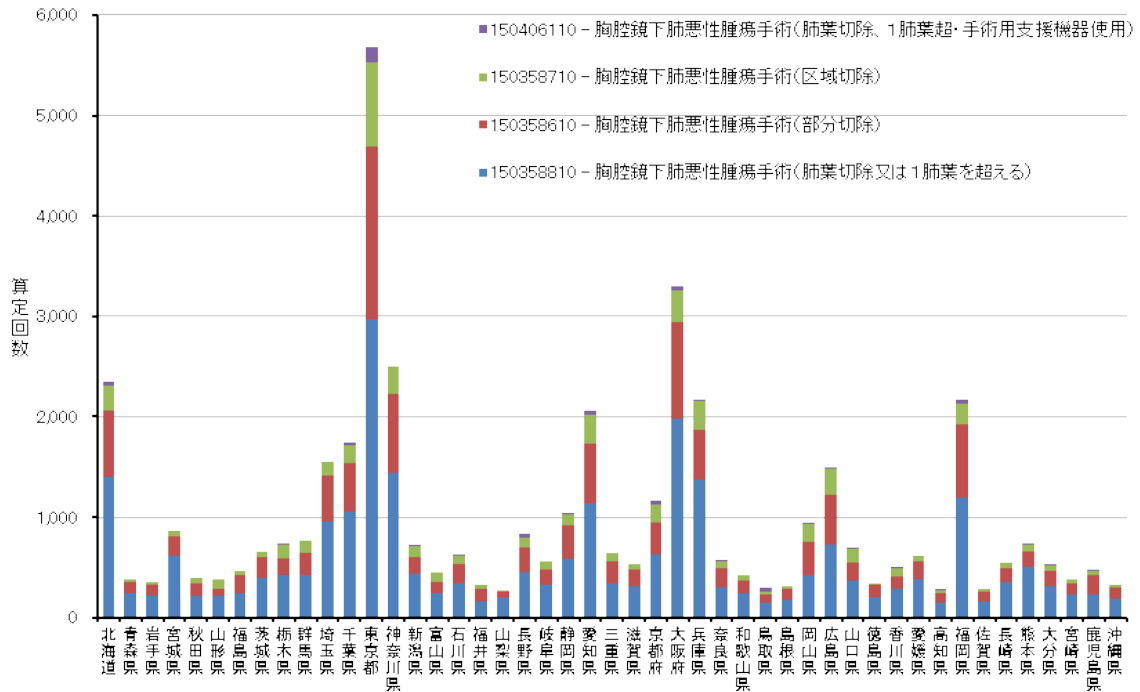
K 手術（入院_胸部）

【概要】 胸部の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



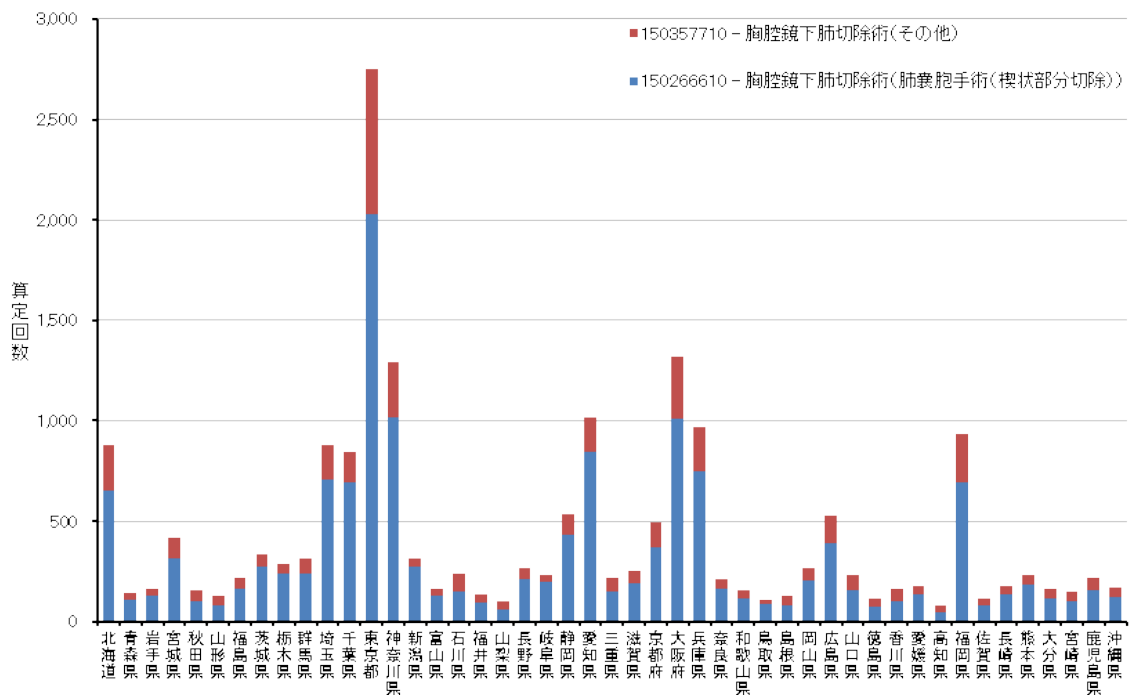
K476 乳腺悪性腫瘍手術：悪性の乳腺の腫瘍に対して、乳房の切除等を行う手術。

K514-2 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術



K514-2 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術：胸腔鏡を用いて肺の悪性腫瘍を取り除く手術。

K513 胸腔鏡下肺切除術

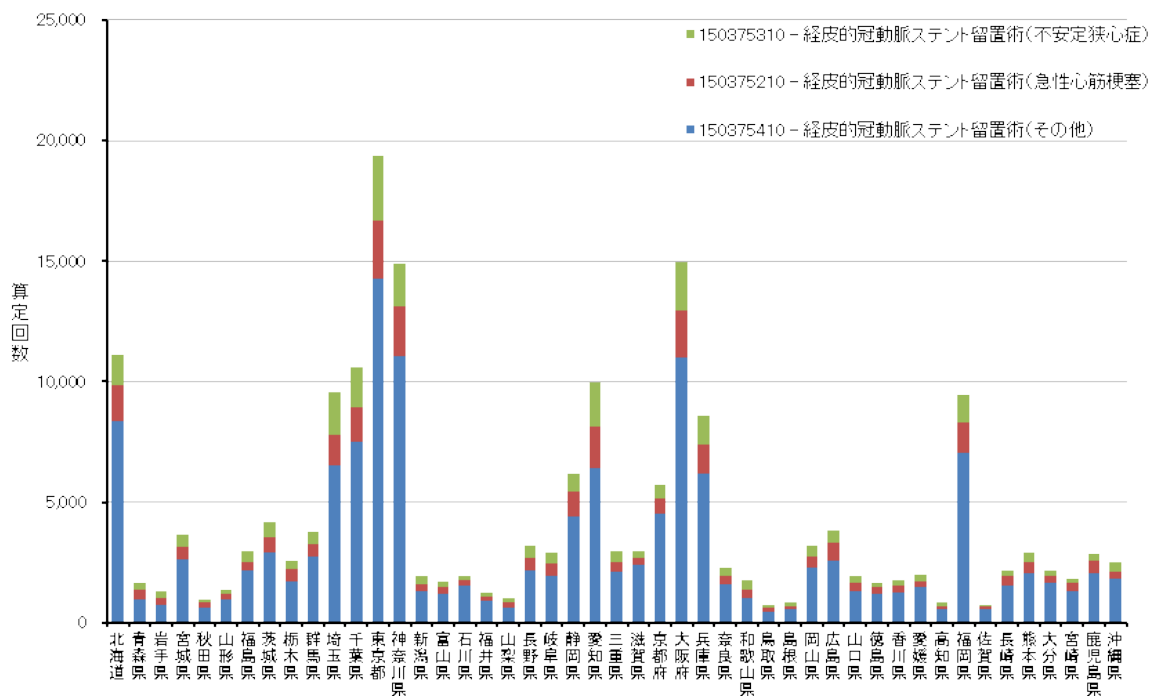


K513 胸腔鏡下肺切除術：胸腔鏡を用いて、肺を切除する手術。

K 手術（入院_心・脈管）

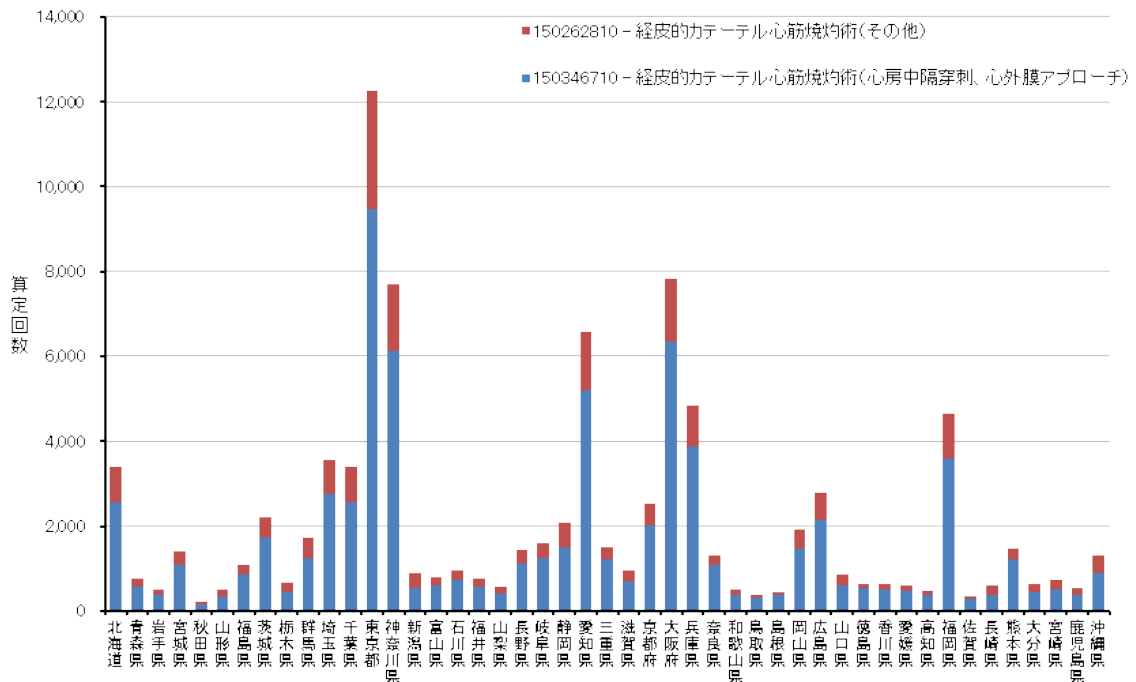
【概要】心・脈管の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。

K549 経皮的冠動脈ステント留置術



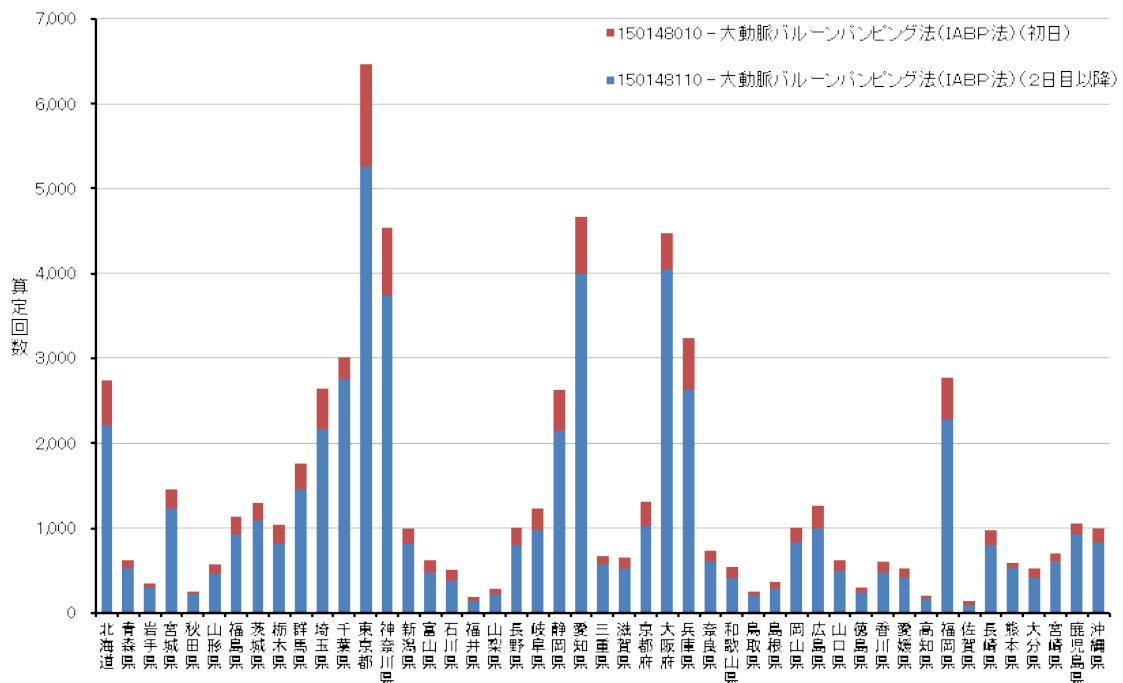
K549 経皮的冠動脈ステント留置術：カテーテルを用いて、狭窄した心臓の冠動脈にステントを留置し、冠動脈の血流量を増やす治療。

K595 経皮的カテーテル心筋焼灼術



K595 経皮的カテーテル心筋焼灼術：血管を通して心臓の中にカテーテルを入れ、不整脈の源となる心筋組織をカテーテルで焼灼する治療。

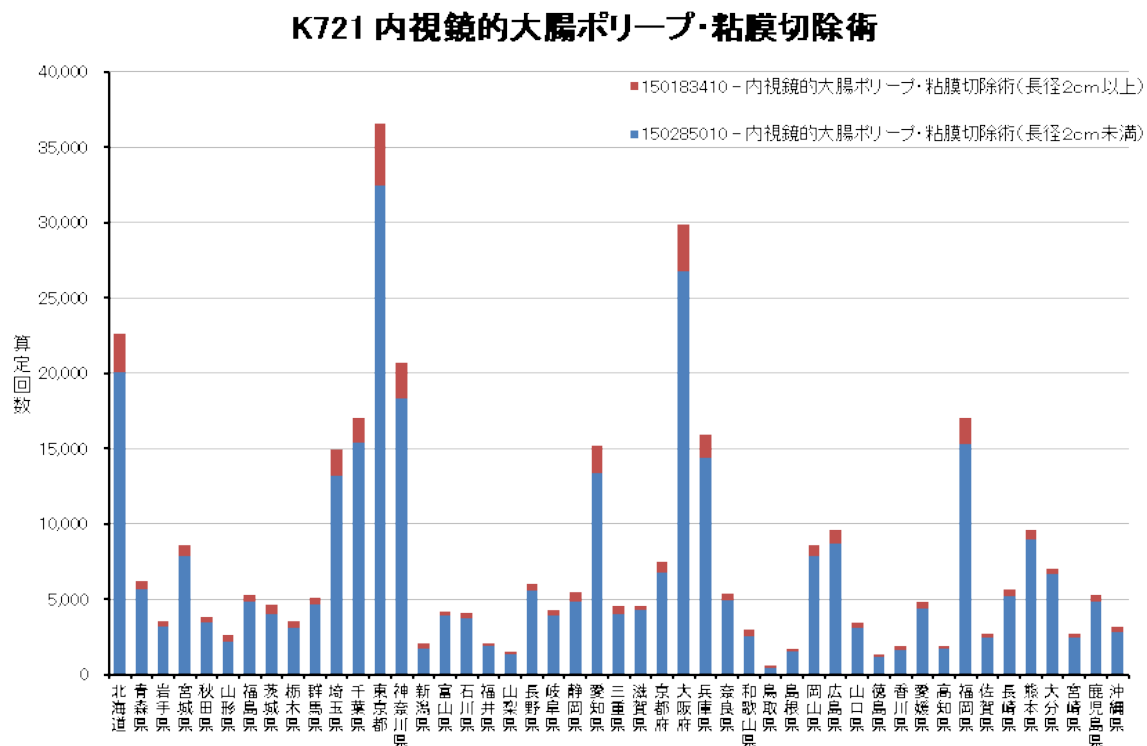
K600 大動脈バルーンパンピング法



K600 大動脈バルーンパンピング法：大動脈弁の近くにバルーンを置き、心臓の動きに合わせて拡張・収縮させることで心臓の働きを助ける治療。

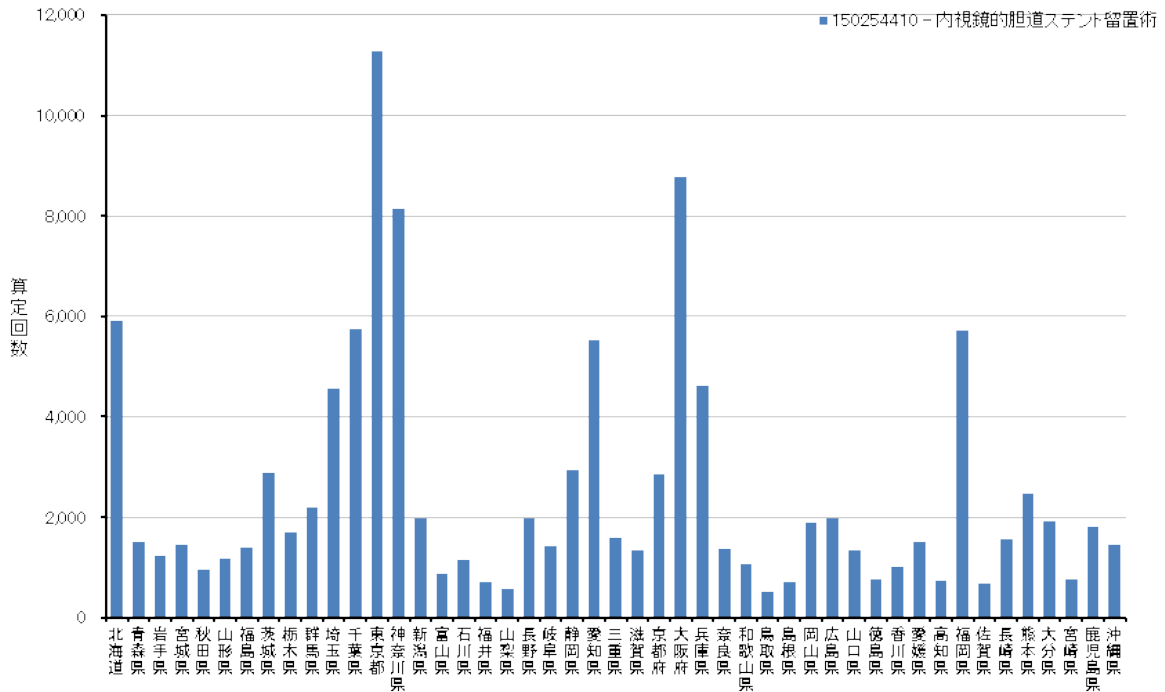
K 手術（入院_腹部）

【概要】腹部の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



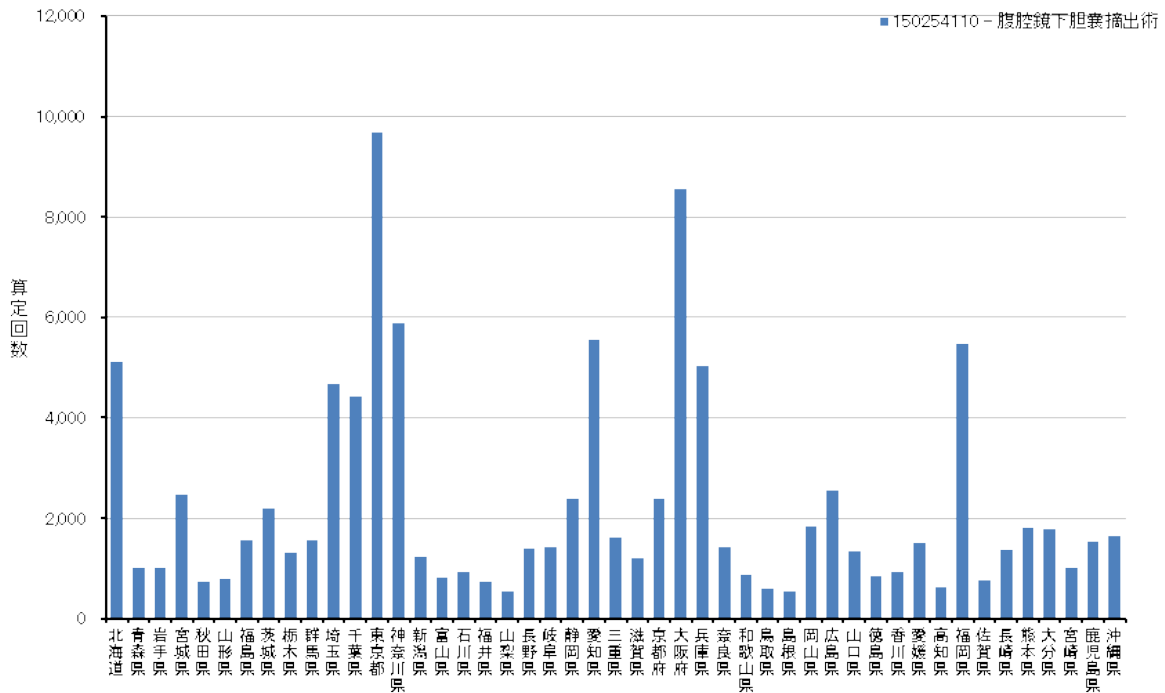
K721 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術：大腸の内視鏡を用いて大腸のポリープや粘膜を切除する治療。

K688 内視鏡的胆道ステント留置術



K688 内視鏡的胆道ステント留置術：内瘻チューブを用いて、狭窄した胆管にステントを留置し、胆汁を腸管に流す治療。

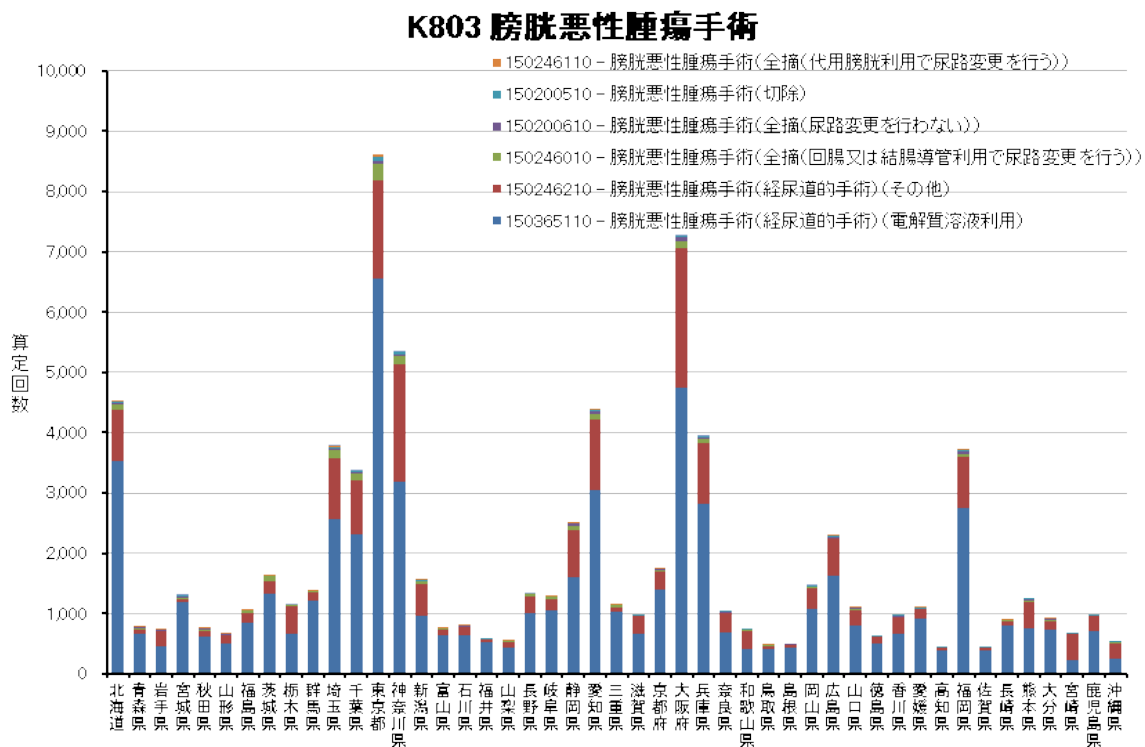
K672-2 腹腔鏡下胆嚢摘出術



K672-2 腹腔鏡下胆嚢摘出術：腹腔鏡を用いて胆嚢を摘出する治療。

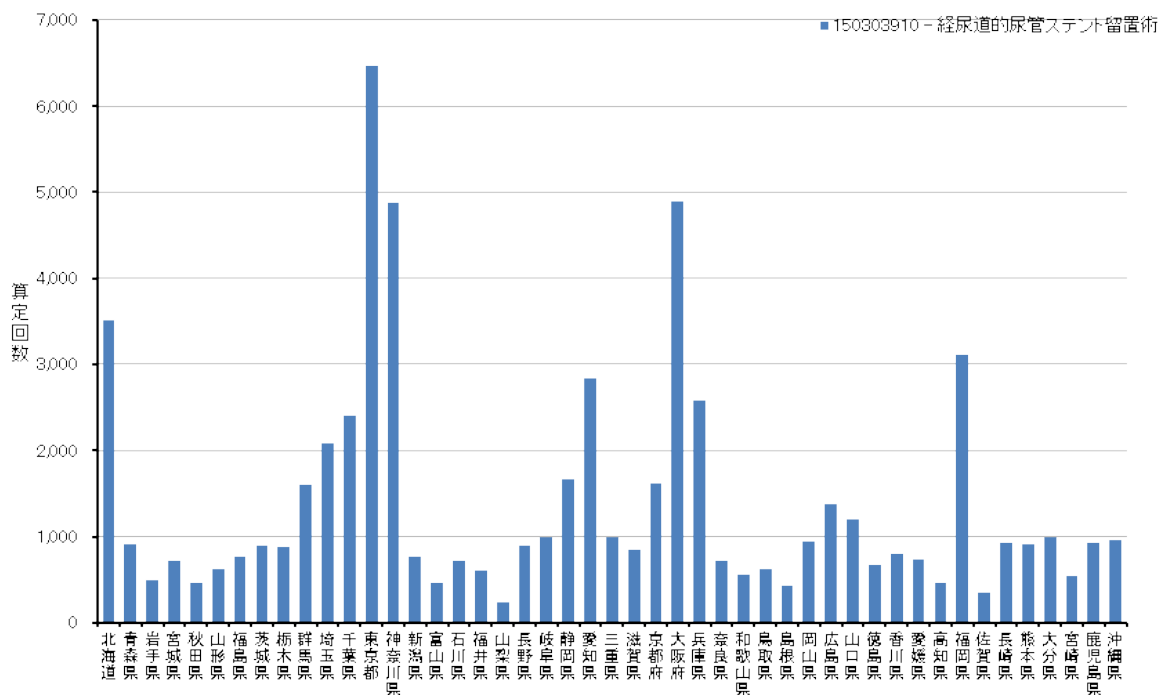
K 手術（入院_尿路系・副腎）

【概要】 尿路系・副腎の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



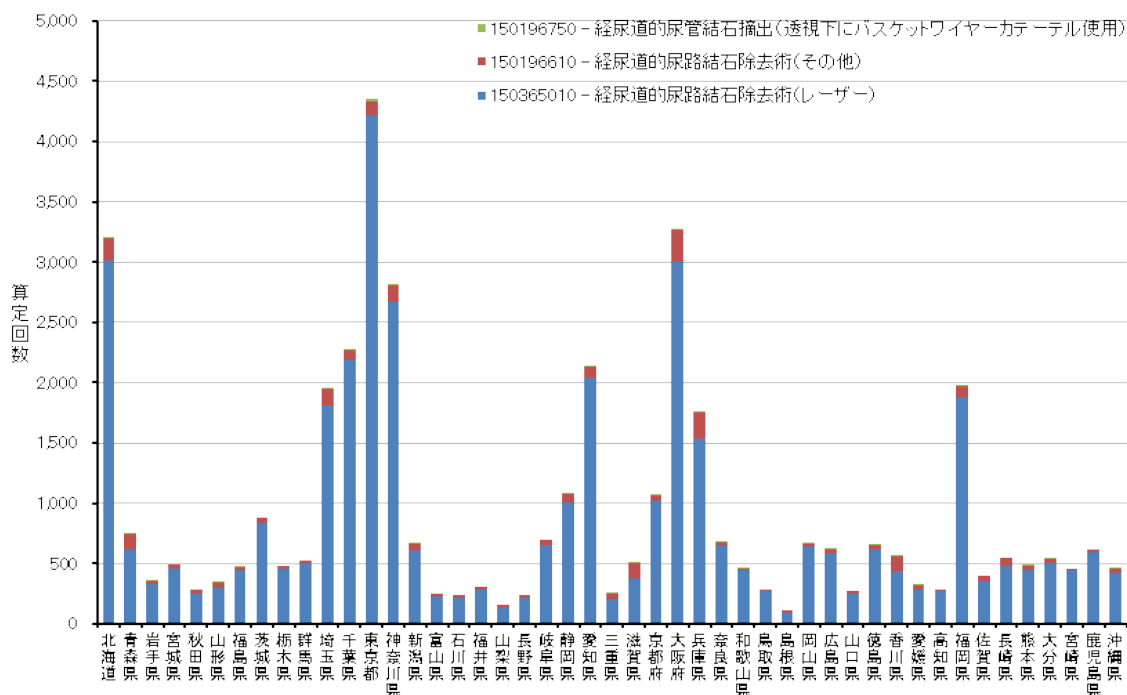
K803 膀胱悪性腫瘍手術：膀胱にできた悪性の腫瘍に対する、尿道からアプローチする腫瘍の切除、または膀胱の全摘出などの手術。

K783-2 経尿道的尿管ステント留置術



K783-2 経尿道的尿管ステント留置術：尿道からカテーテルを入れ、狭窄した尿管をステントで広げる治療。

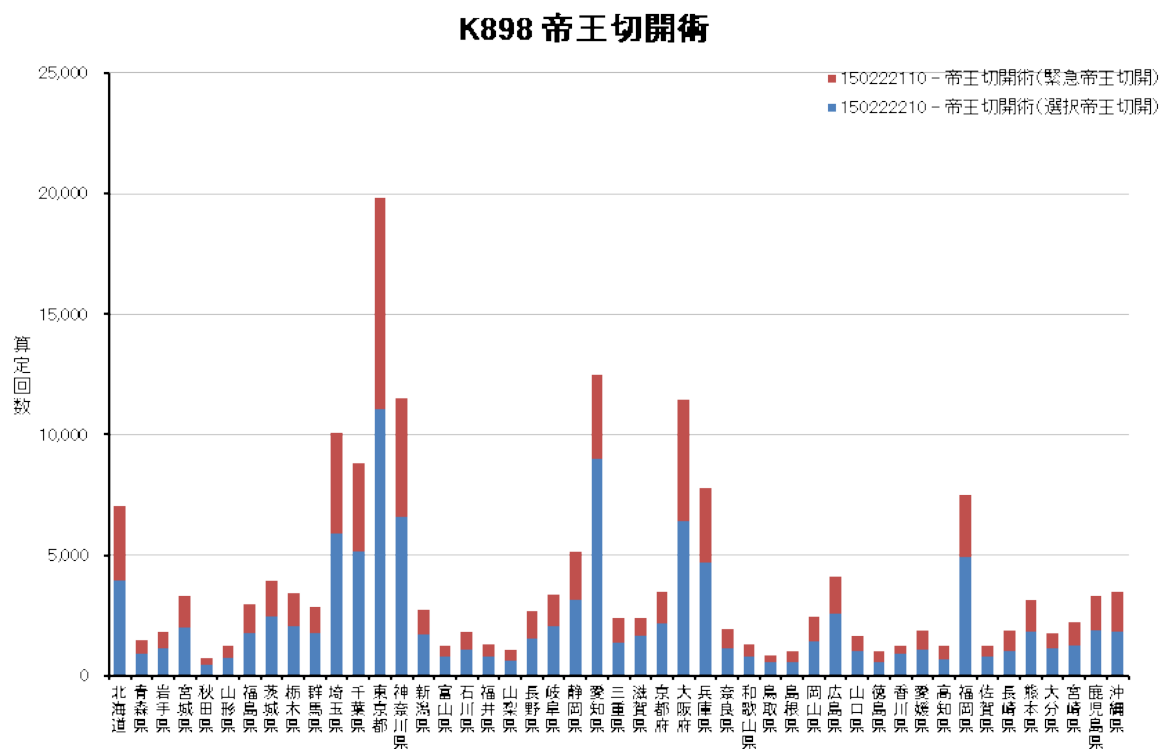
K781 経尿道的尿路結石除去術



K781 経尿道的尿路結石除去術：尿路にできた結石を、尿道からカテーテル等を使用して除去する治療。

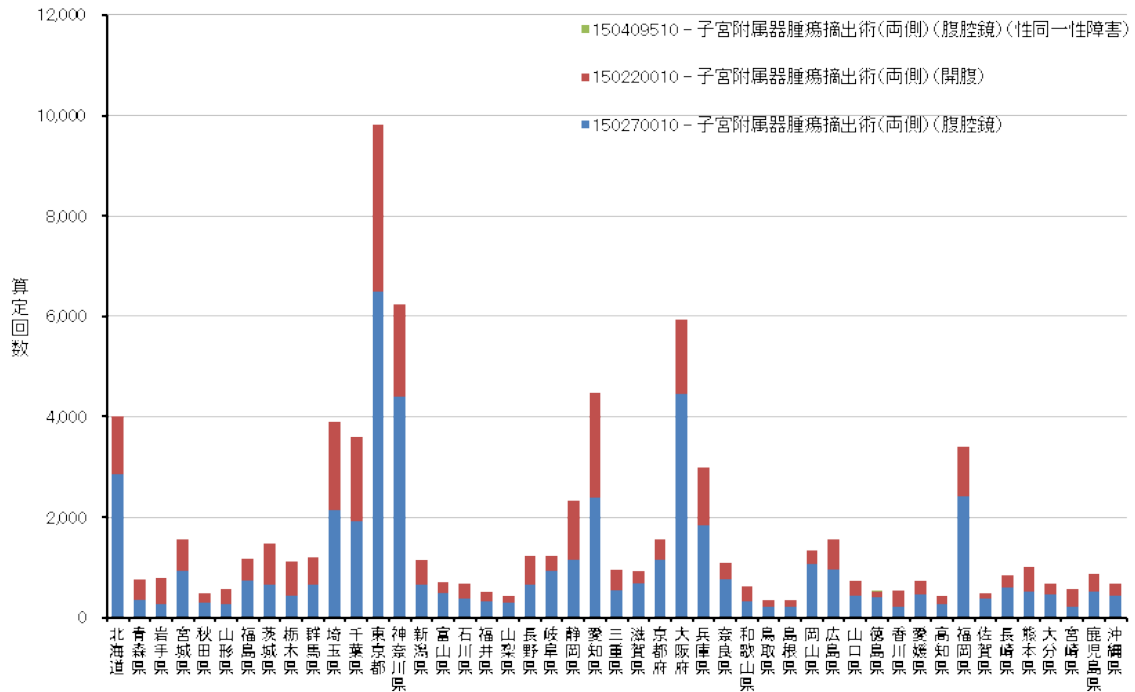
K 手術（入院_性器）

【概要】性器の手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



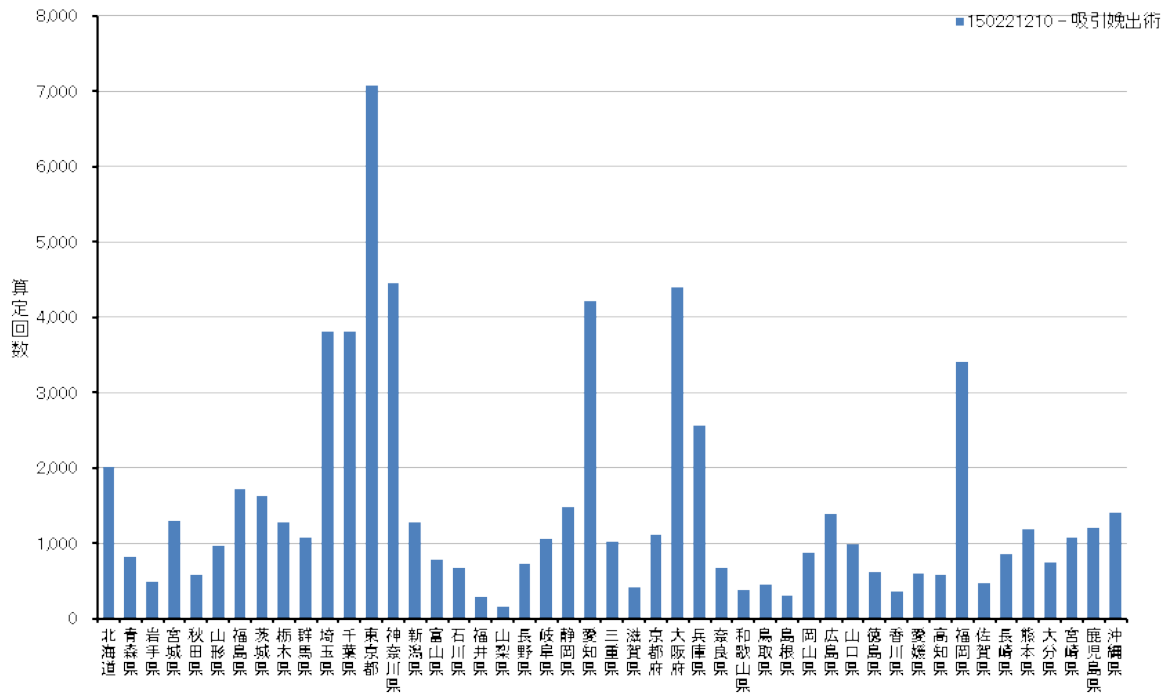
K898 帝王切開術：子宮切開によって胎児を取り出す手術。

K888 子宮附属器腫瘍摘出術



K888 子宮附属器腫瘍摘出術：子宮または卵巣にできた悪性腫瘍等の結果、子宮と卵巣を摘出する手術。

K893 吸引娩出術

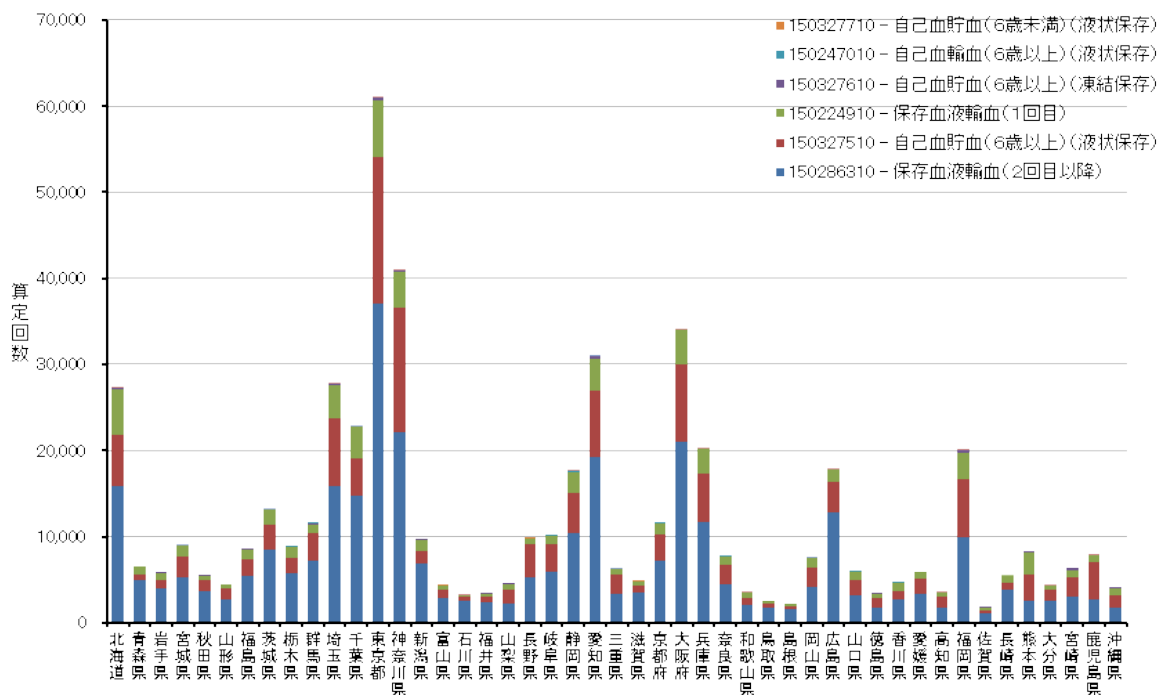


K893 吸引娩出術：分娩時に吸引カップを児の頭に装着し、牽引しながら胎児を娩出すること。

K 輸血料 ・輸血料 (外来)

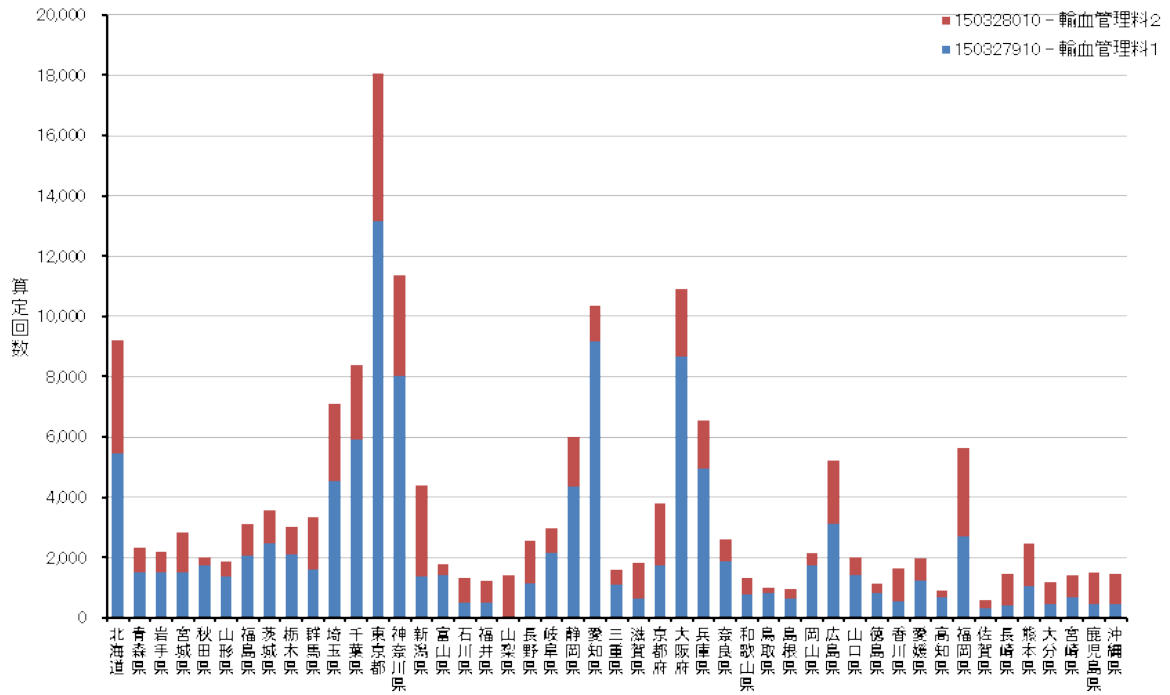
【概要】 外来での輸血に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 2 項目を示す。

K920 輸血



K920 輸血：出血が大量なために生命に危険が生ずる場合等に、血液または血液成分を静脈から注入する治療方法。

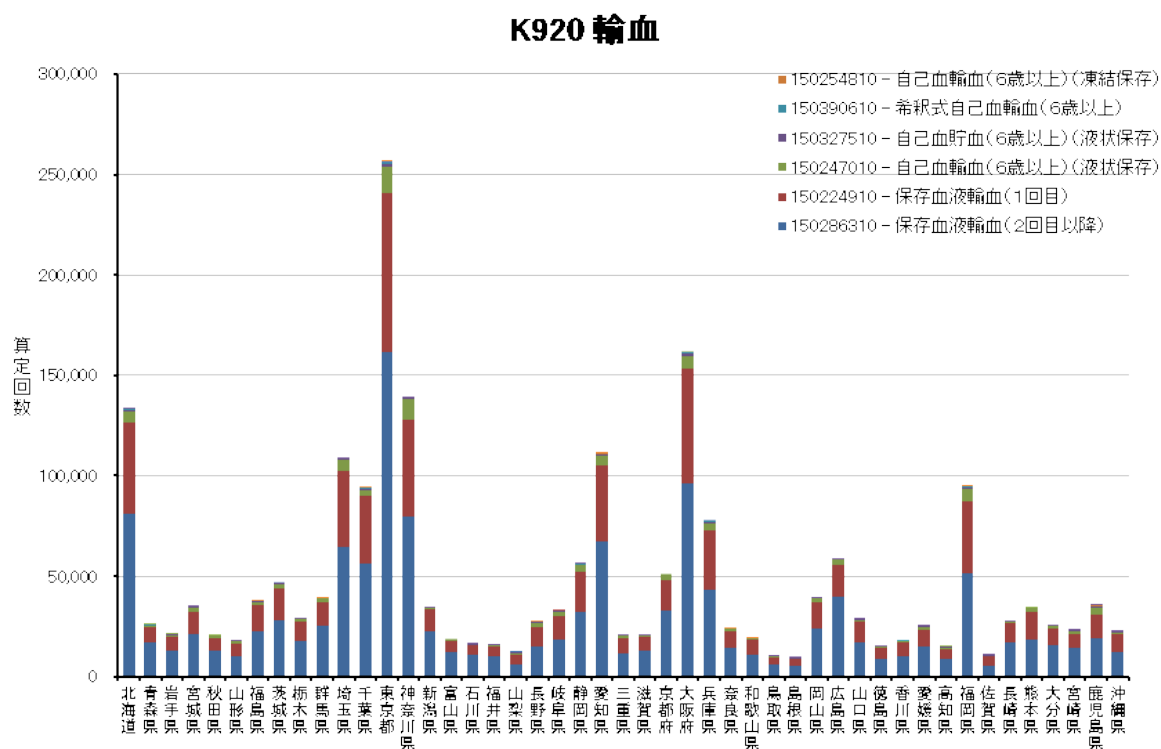
K920-2 輸血管理料



K920-2 輸血管理料：輸血の管理を行う十分な体制が整備されている病院で輸血を行った場合に算定する。

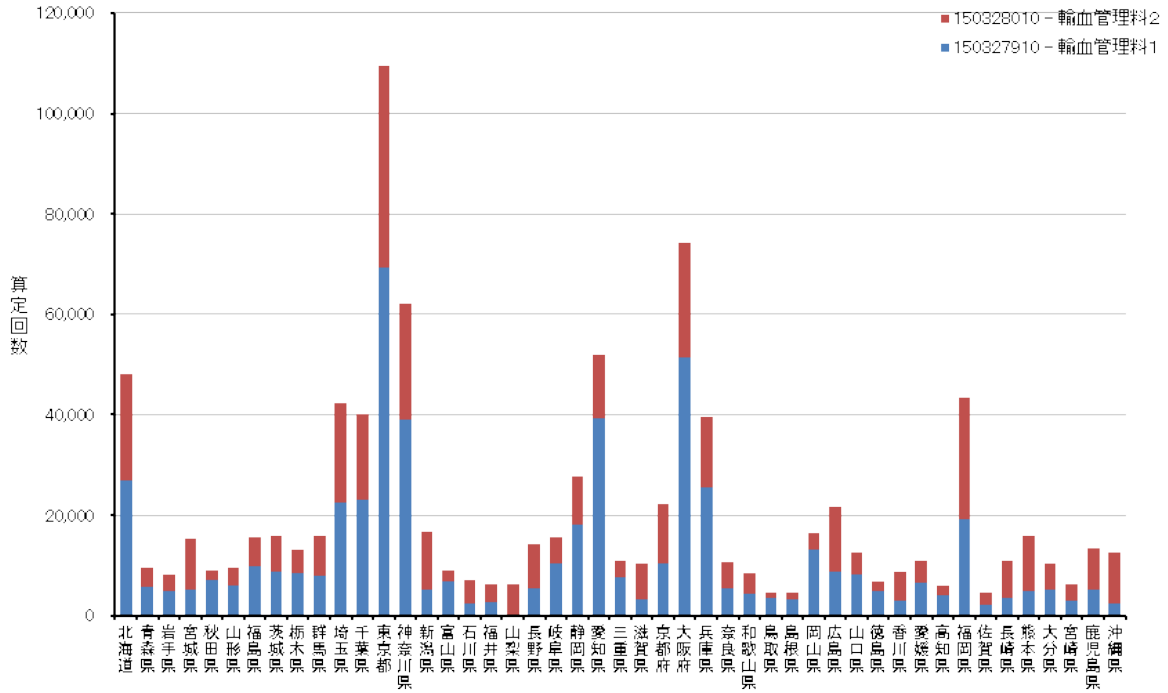
K 輸血料 ・輸血料 (入院)

【概要】入院での輸血に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



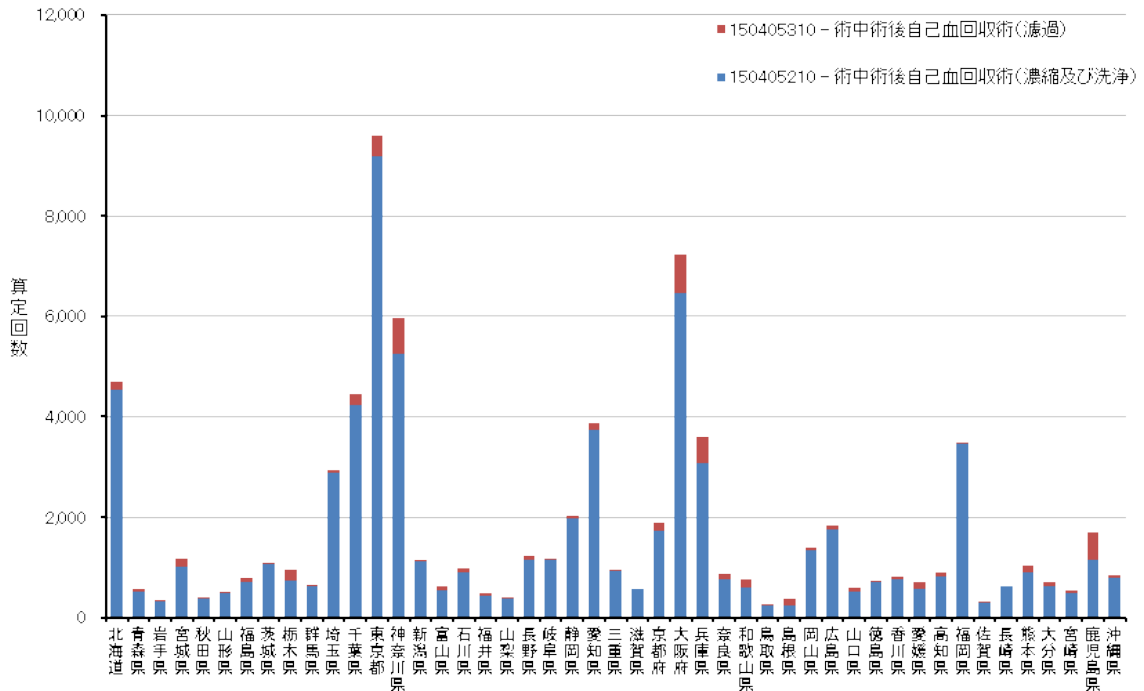
K920 輸血：出血が大量なために生命に危険が生ずる場合等に、血液または血液成分を静脈から注入する治療方法。

K920-2 輸血管理料



K920-2 輸血管理料：輸血の管理を行う十分な体制が整備されている病院で輸血を行った場合に算定する。

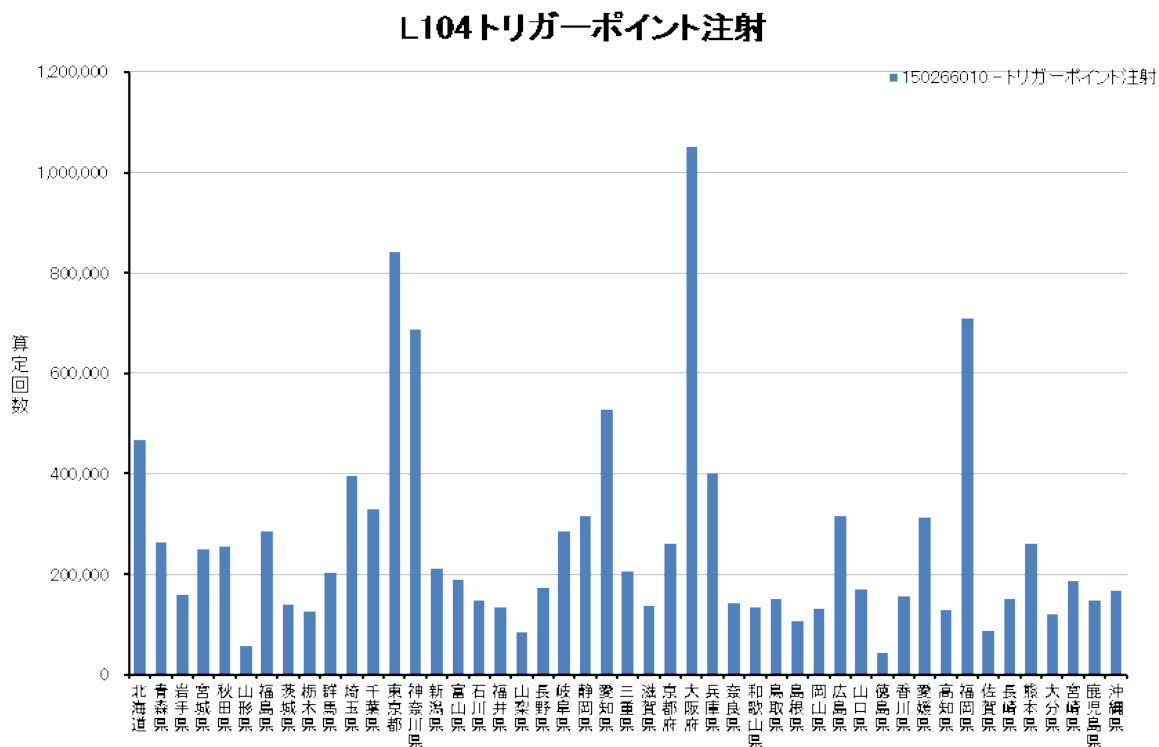
K923 術中術後自己血回収術



K923 術中術後自己血回収術：手術中や手術後に出血した血液を回収し、患者に戻す方法。

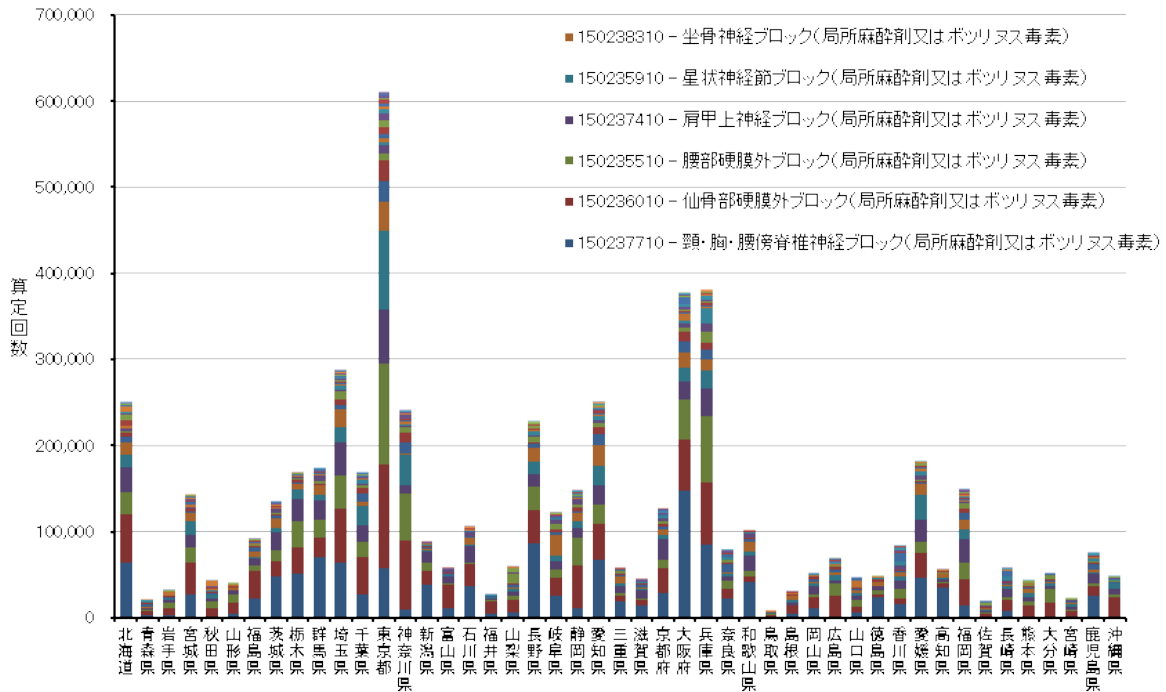
L 麻酔 ・麻酔（外来）

【概要】 外来での麻酔に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



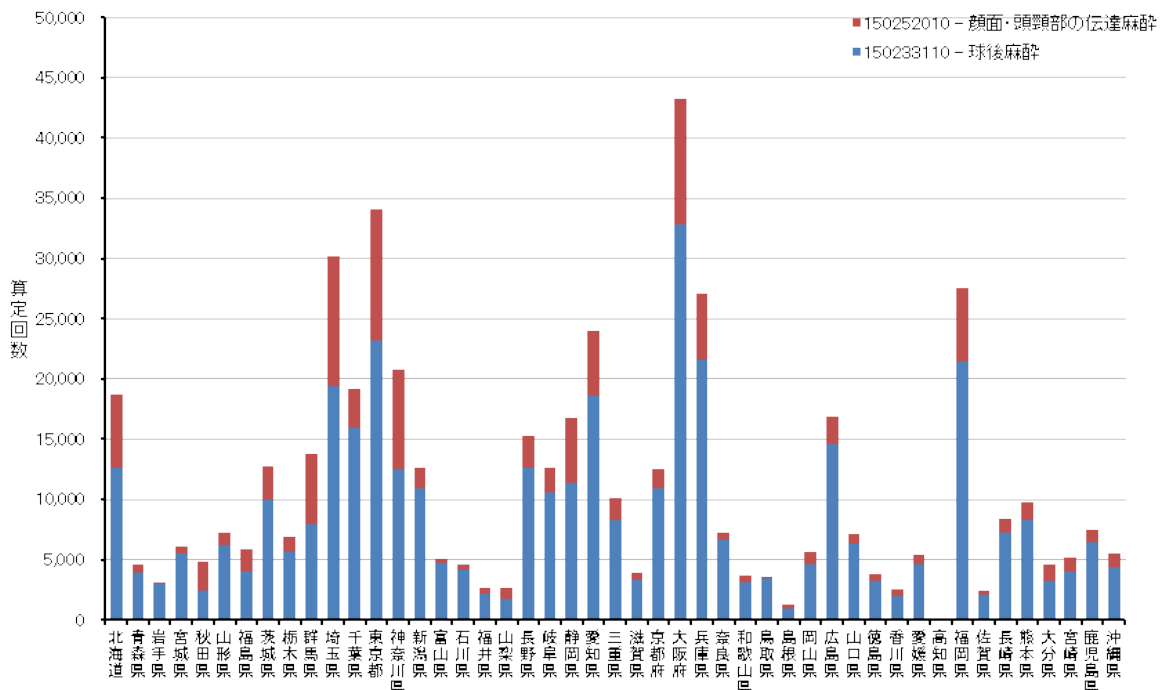
L104 トリガーポイント注射：押すと痛みのある部分を確認し、そこに痛み止めを注射すること。

L100 神経ブロック(局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用)



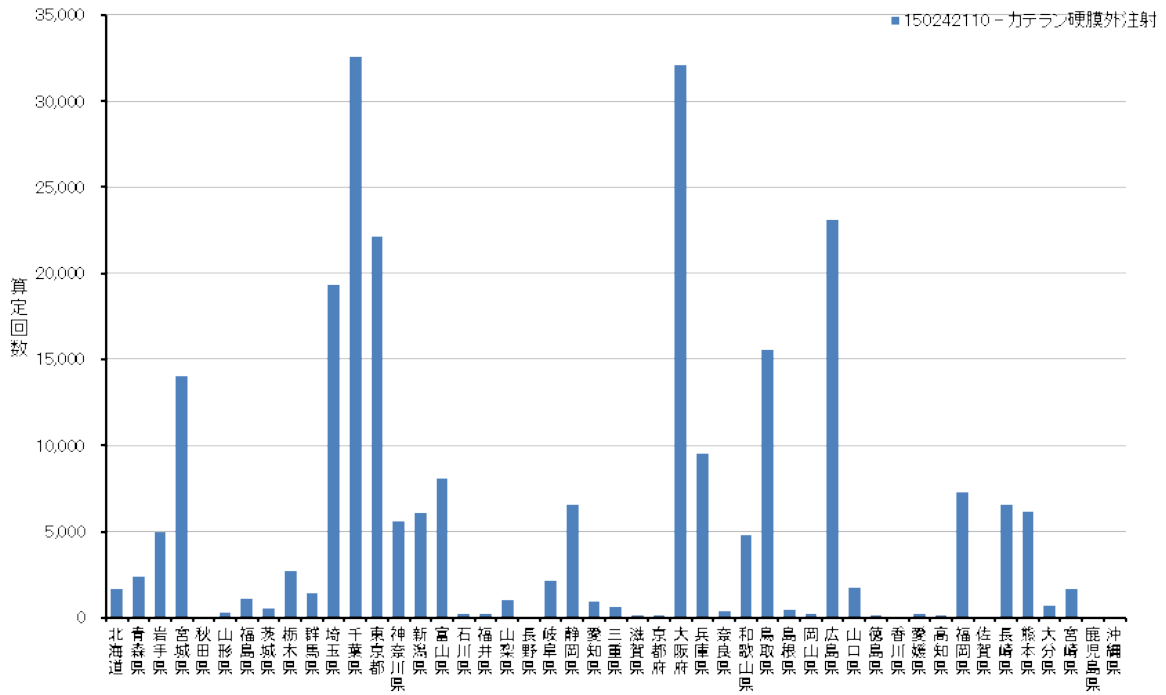
L100 神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用）：神経周囲に痛み止めを注射し、神経の伝達をブロックすることで、病気の部分の痛みを取り除く治療。

L006 球後麻酔及び顔面・頭頸部の伝達麻酔



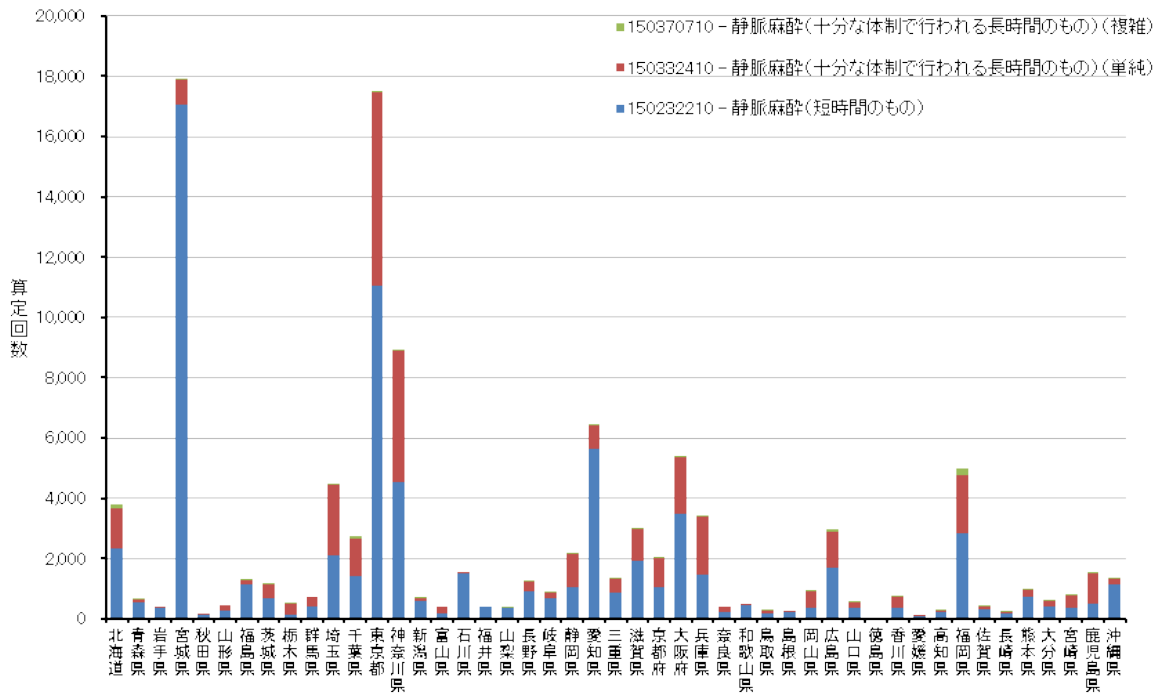
L006 球後麻酔及び顔面・頭頸部の伝達麻酔：（瞬目麻酔及び眼輪筋内浸潤麻酔を含む。）球後麻酔は、下瞼の下の眼の窪みから曲がった針を刺して、目玉よりも後ろの方に痛み止めを注射する麻酔法。眼科の手術などで行われる。顔面・頭頸部の伝達麻酔は、顔、頭部、頸部の一部に痛み止めを注射し、神経の伝達をブロックすることで顔面・頭頸部の痛みを取り除く麻酔法。

L103 カテラン硬膜外注射



L103 カテラン硬膜外注射：椎間板ヘルニアや、仙腸関節炎の治療の際に打たれる注射。

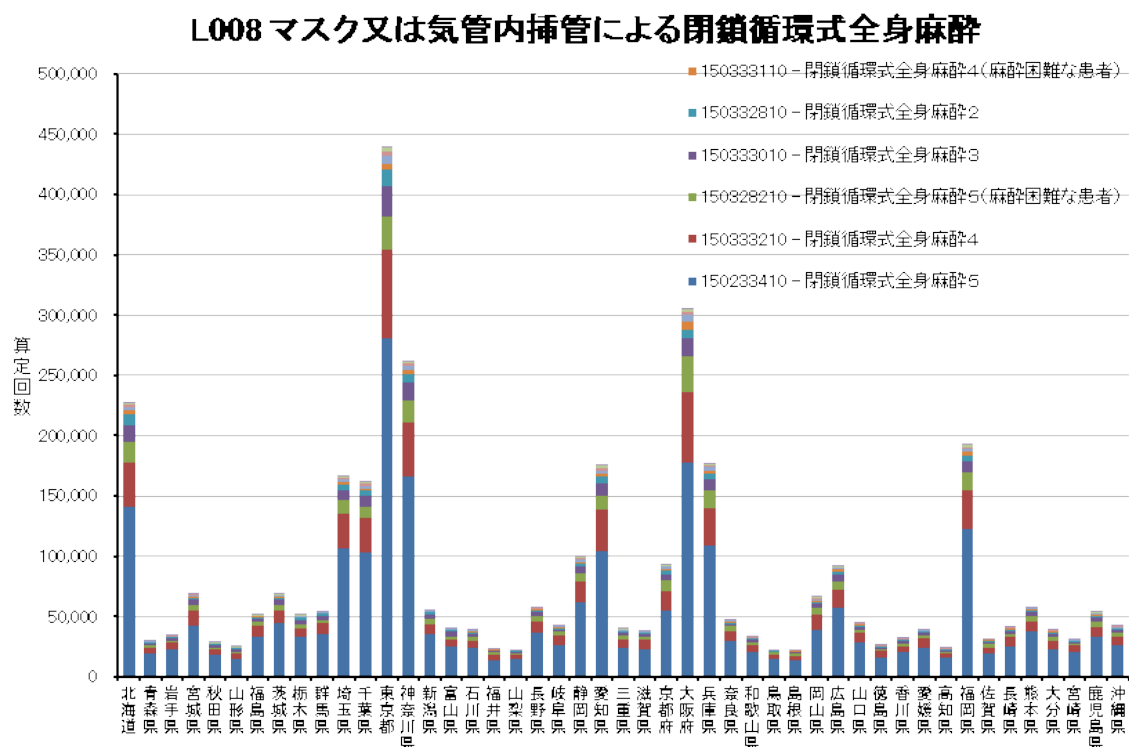
L001-2 静脈麻酔



L001-2 静脈麻酔：点滴から静脈注射用麻酔薬を入れる麻酔法。

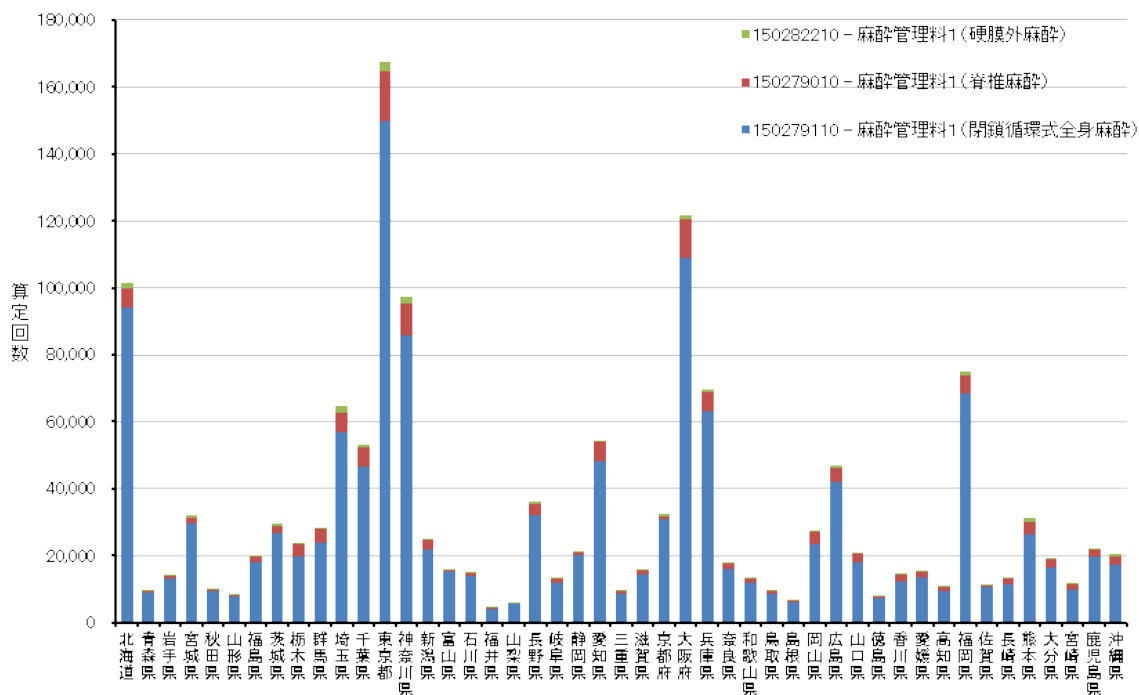
L 麻酔 ・麻酔（入院）

【概要】入院での麻酔に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位5項目を示す。



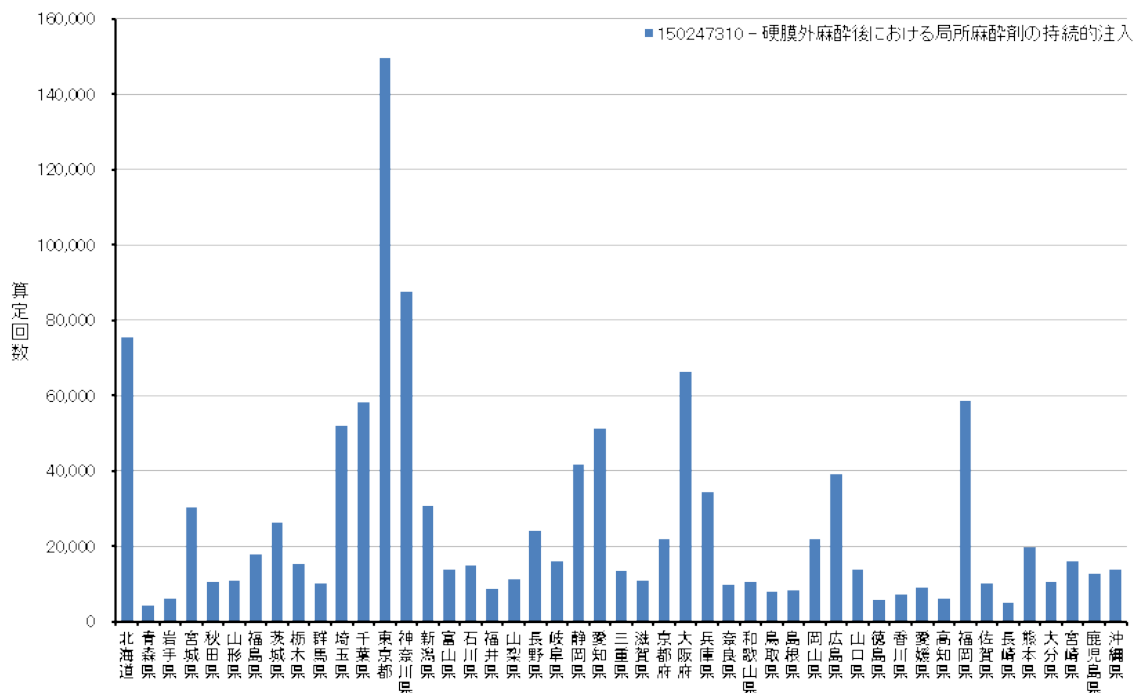
L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔：時間の短いものを除いた一般的な全身麻酔のこと。

L009 麻酔管理料(1)



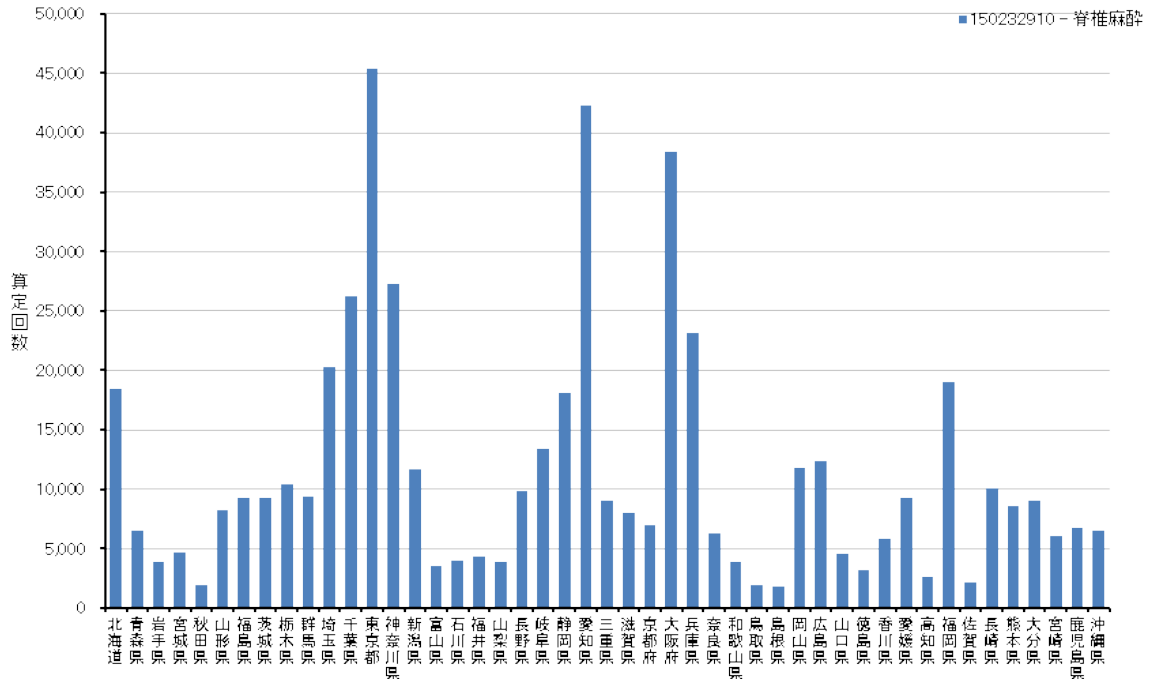
L009 麻酔管理料（1）：常勤の麻酔科標榜医が麻酔前後の診察、麻酔管理を行った場合に算定する。

L003 硬膜外麻酔後における局所麻酔剤の持続的注入



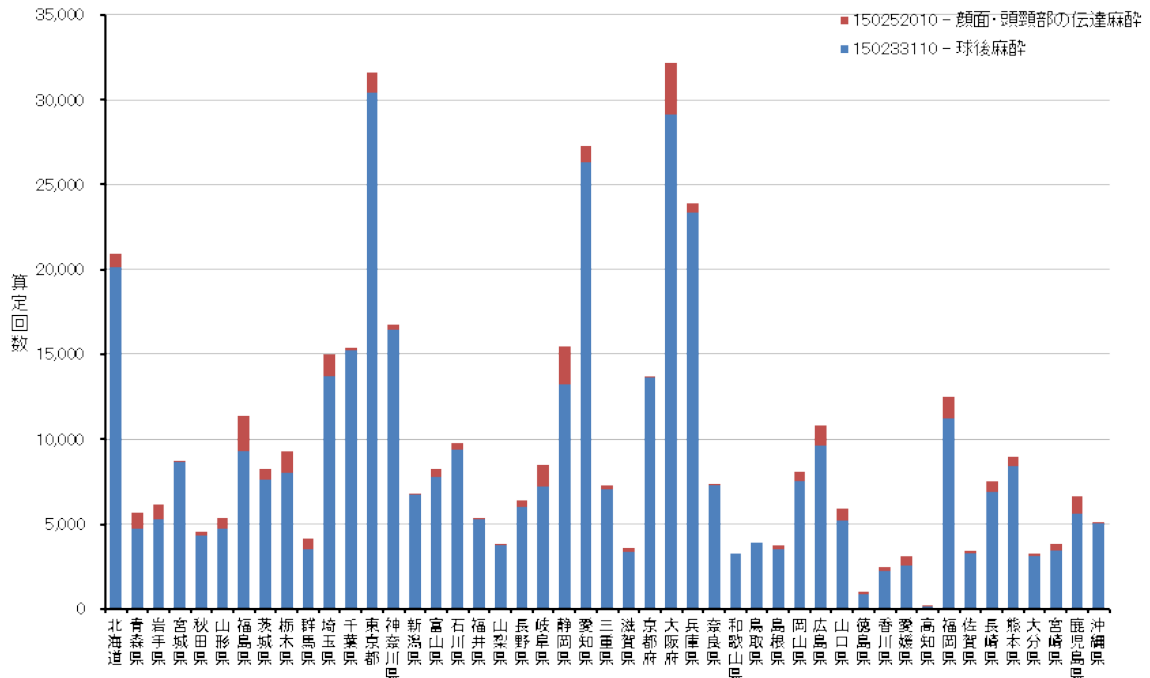
L003 硬膜外麻酔後における局所麻酔剤の持続的注入：硬膜外麻酔後に疼痛コントロールを目的として、接続したカテーテルから持続的に痛み止めの薬を投与すること。

L004 脊椎麻酔



L004 脊椎麻酔：細い針を背骨の間に針を刺して痛み止めを注射し、下腹部から下肢の感覚をなくす麻酔法。

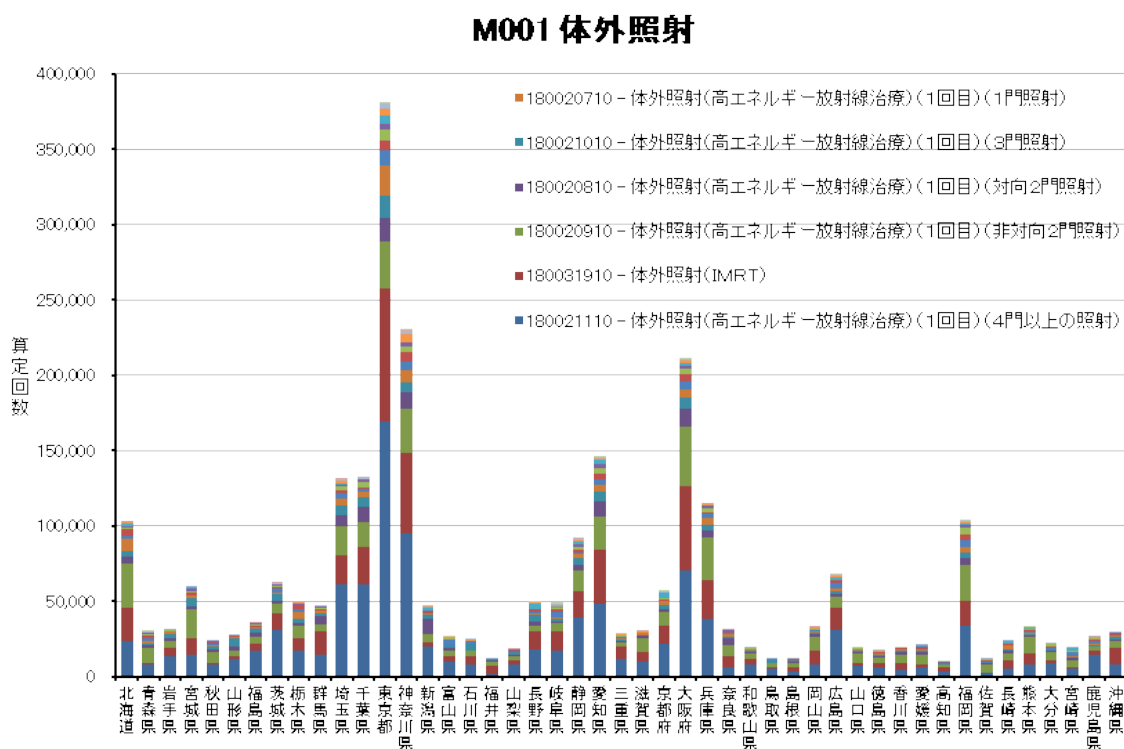
L006 球後麻酔及び顔面・頭頸部の伝達麻酔



L006 球後麻酔及び顔面・頭頸部の伝達麻酔：（瞬目麻酔及び眼輪筋内浸潤麻酔を含む。）球後麻酔は、下瞼の下の眼の窪みから曲がった針を刺して、目玉よりも後ろの方に痛み止めを注射する麻酔法。眼科の手術などで行われる。顔面・頭頸部の伝達麻酔は、顔、頭部、頸部の一部に痛み止めを注射し、神経の伝達をブロックすることで顔面・頭頸部の痛みを取り除く麻酔法。

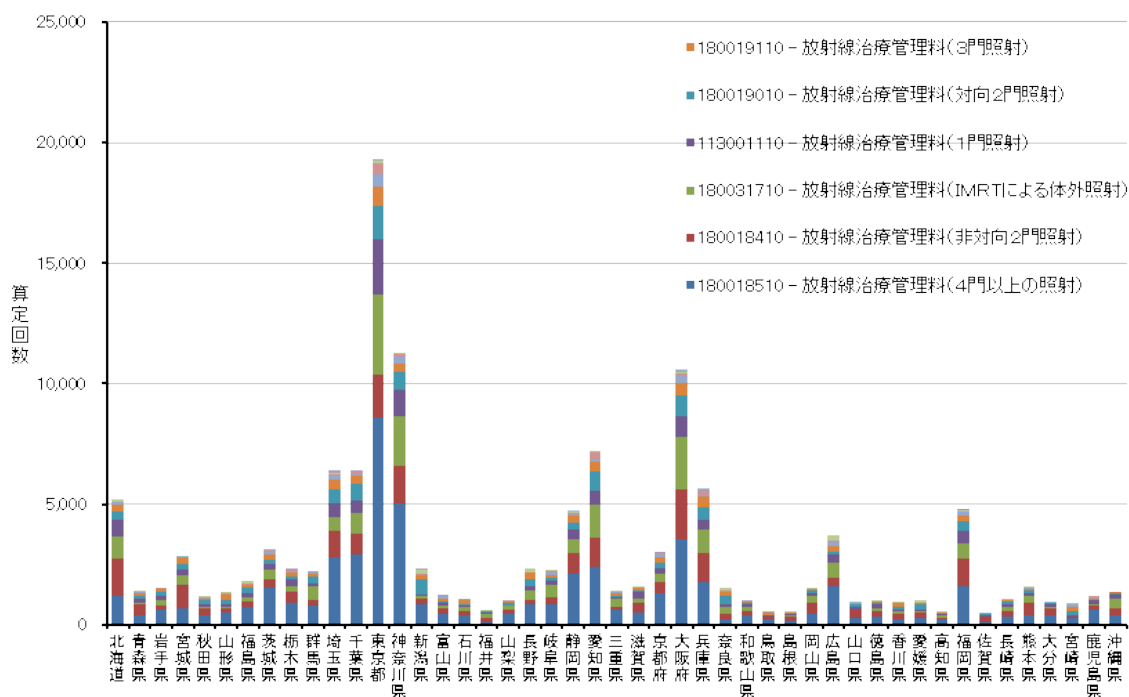
M 放射線治療
・放射線治療（外来）

【概要】 外来での放射線治療に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



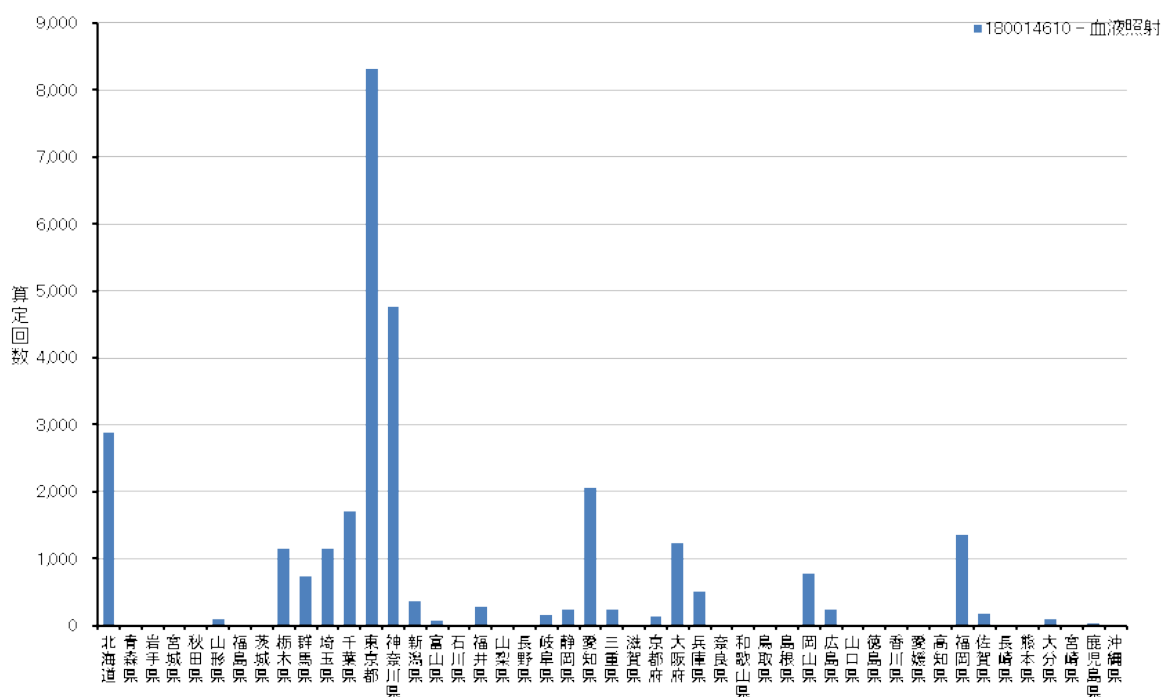
M001 体外照射：放射線を体外から照射して行う治療法。照射する放射線の種類や回数、門数ごとに算定する。

M000 放射線治療管理料



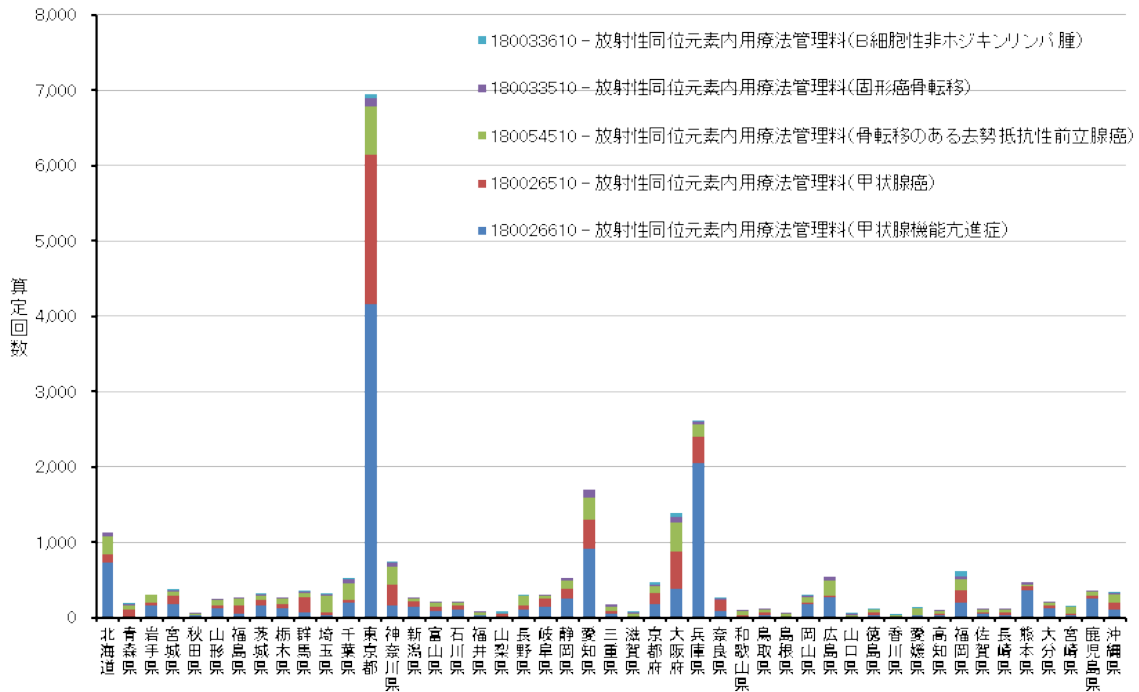
M000 放射線治療管理料：放射線治療を行うに際して、あらかじめ作成した照射計画により放射線照射を行った場合に算定する。

M005 血液照射



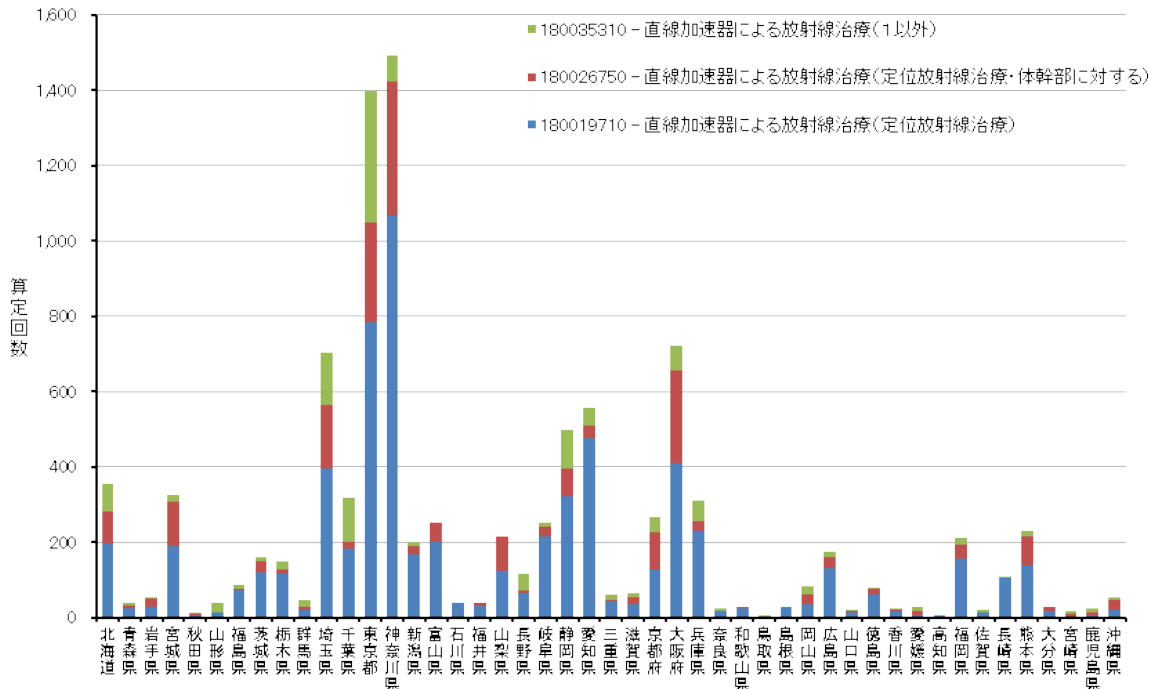
M005 血液照射：輸血後移植片対宿主病（GVHD）の予防のために、輸血用血液に対して放射線照射を行った場合に算定する。

M000-2 放射性同位元素内用療法管理料



M000-2 放射性同位元素内用療法管理料：放射性同位元素内用療法を行い、かつ、計画的な治療管理を行った場合に算定する。

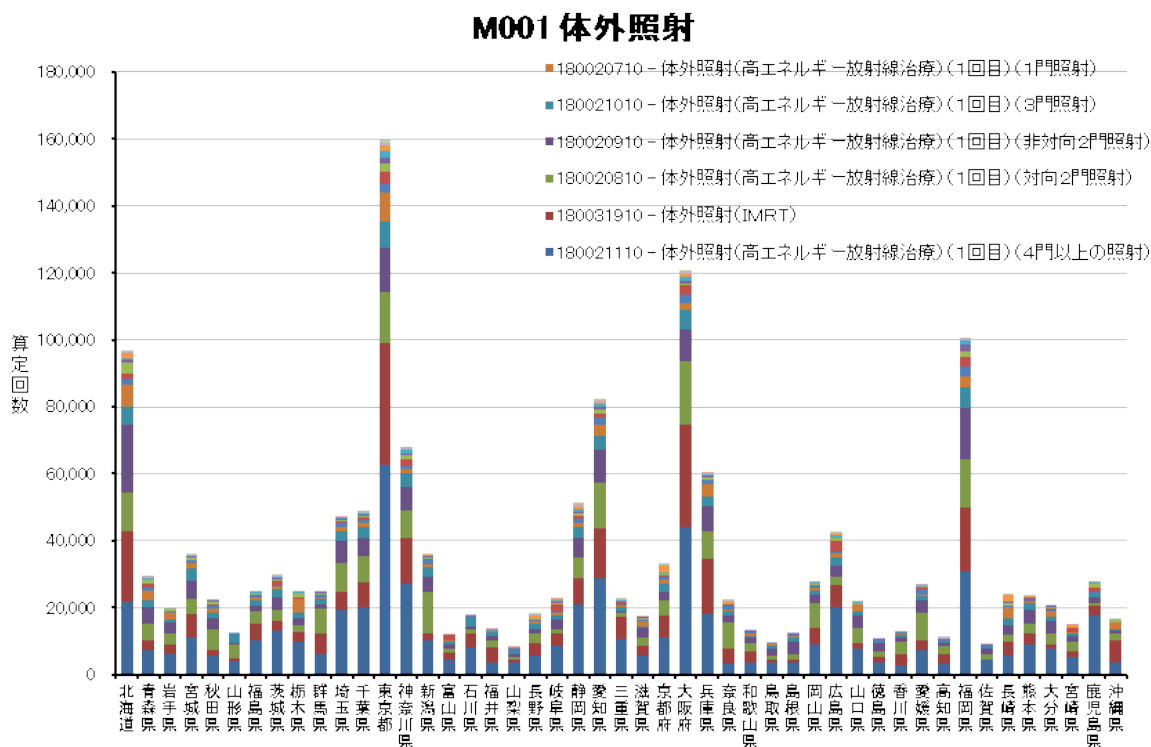
M001-3 直線加速器による放射線治療



M001-3 直線加速器による放射線治療：直線加速器による定位放射線治療とは、直線加速器（マイクロトロンを含む。）により極小照射野で線量を集中的に照射する治療法であり、頭頸部腫瘍（頭蓋内腫瘍を含む。）原発病巣の直径 5 cm 以内で転移病巣のない原発性肺癌又は原発性肝癌、及び 3 個以内で他病巣のない転移性肺癌又は転移性肝癌等に対して行った場合に算定する。

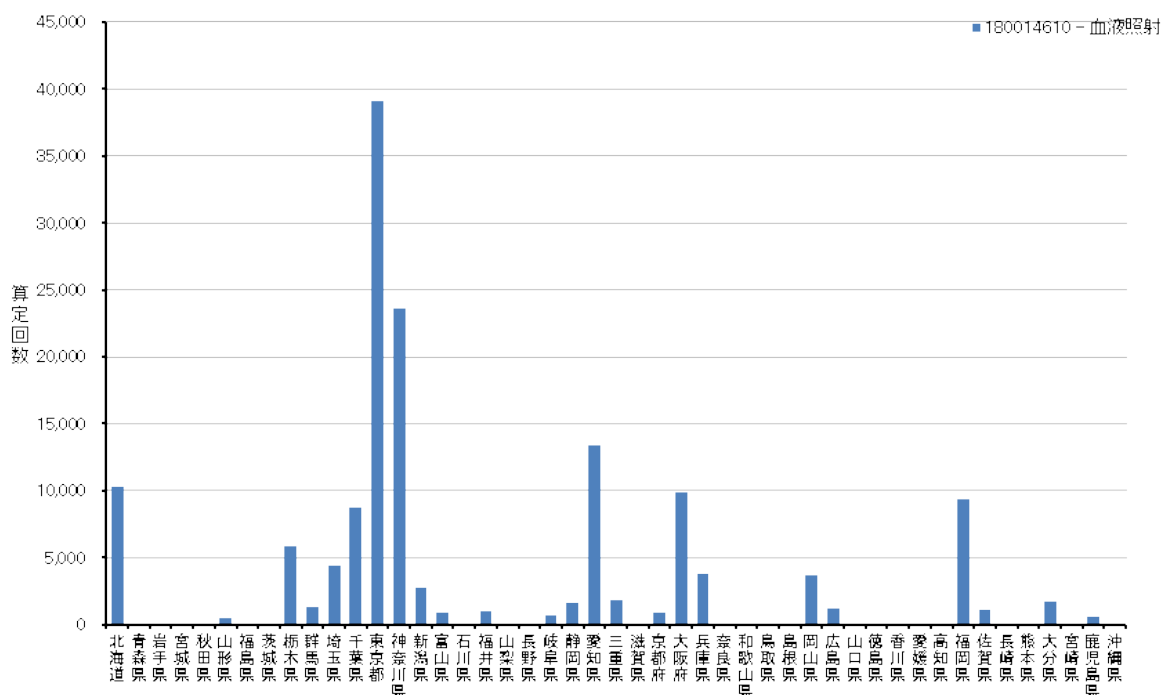
M 放射線治療
・放射線治療（入院）

【概要】入院での放射線治療に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位5項目を示す。



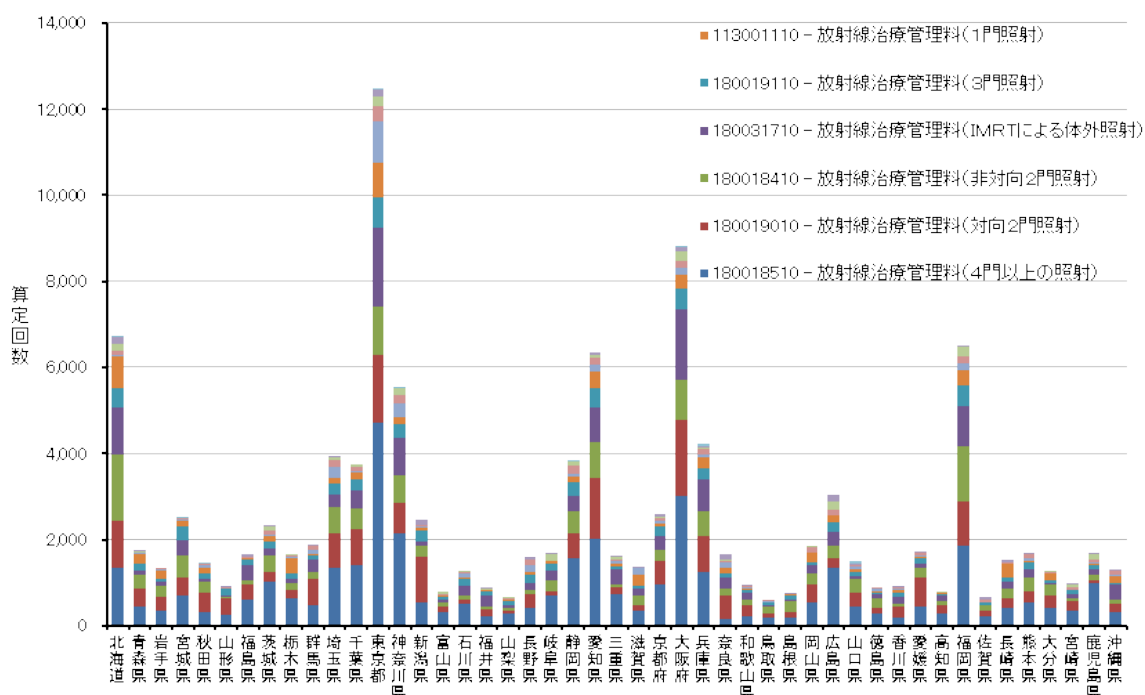
M001 体外照射：放射線を体外から照射して行う治療法。照射する放射線の種類や回数、門数ごとに算定する。

M005 血液照射



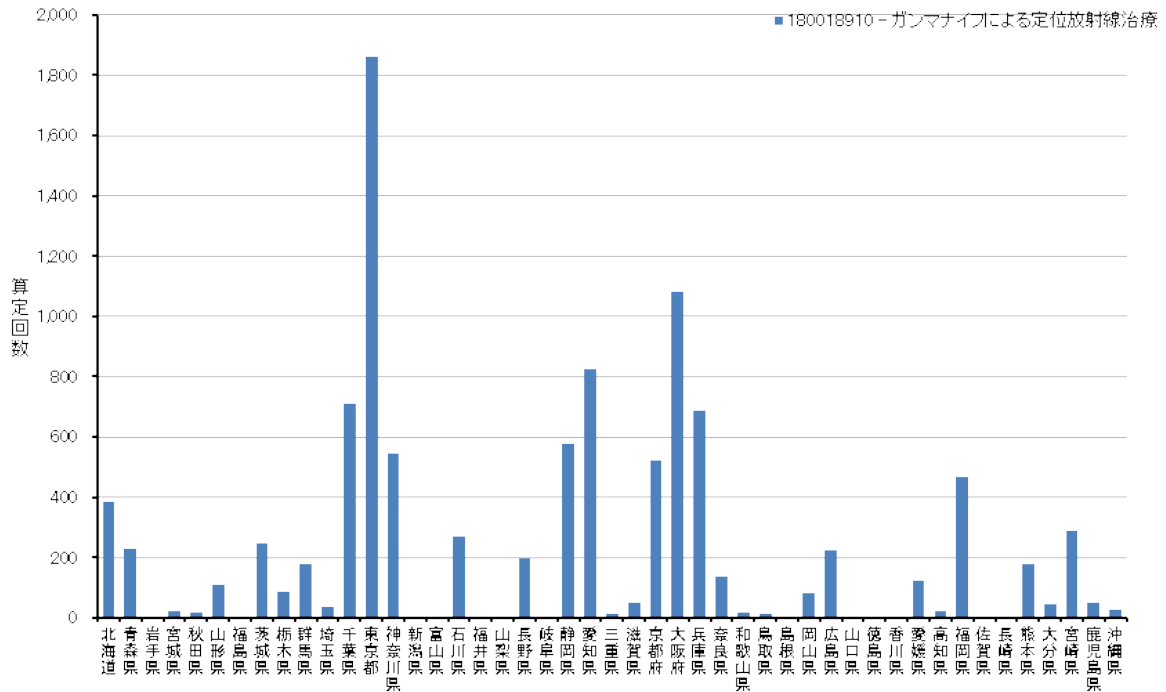
M005 血液照射：輸血後移植片対宿主病（GVHD）の予防のために、輸血用血液に対して放射線照射を行った場合に算定する。

M000 放射線治療管理料



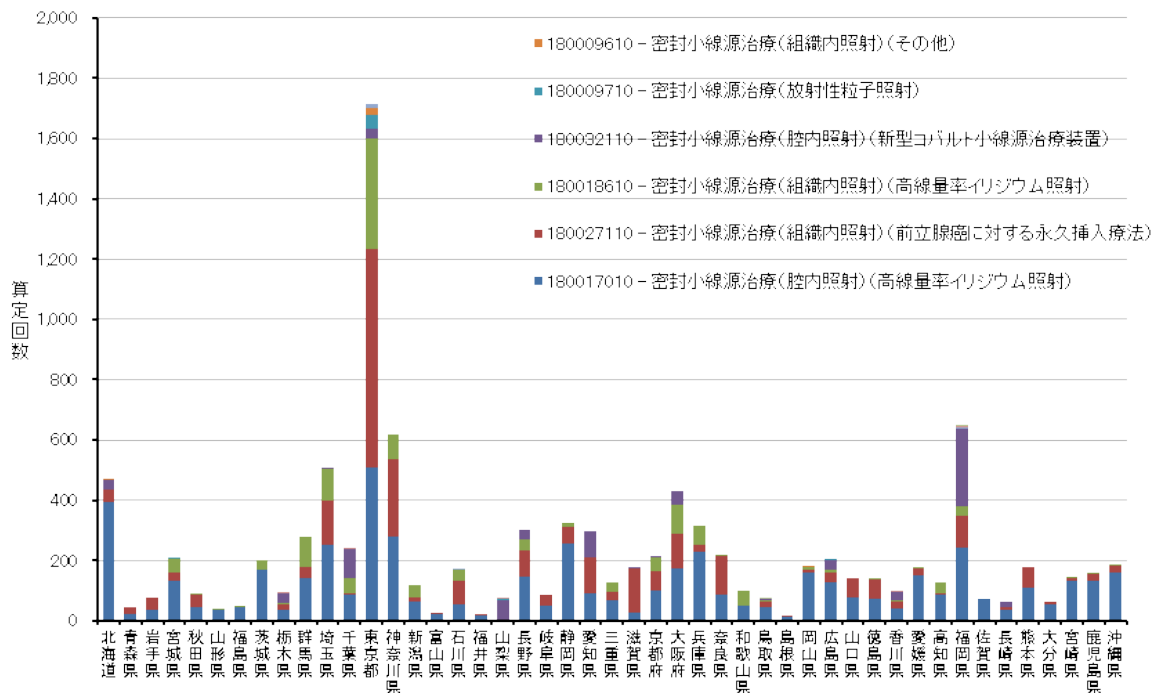
M000 放射線治療管理料：放射線治療を行うに際して、あらかじめ作成した照射計画により放射線照射を行った場合に算定する。

M001-2 ガンマナイフによる定位放射線治療



M001-2 ガンマナイフによる定位放射線治療：ガンマナイフによる定位放射線治療とは、半球状に配置された多数のコバルト60の微小線源から出るガンマ線を集束させ、病巣部を照射する治療法。

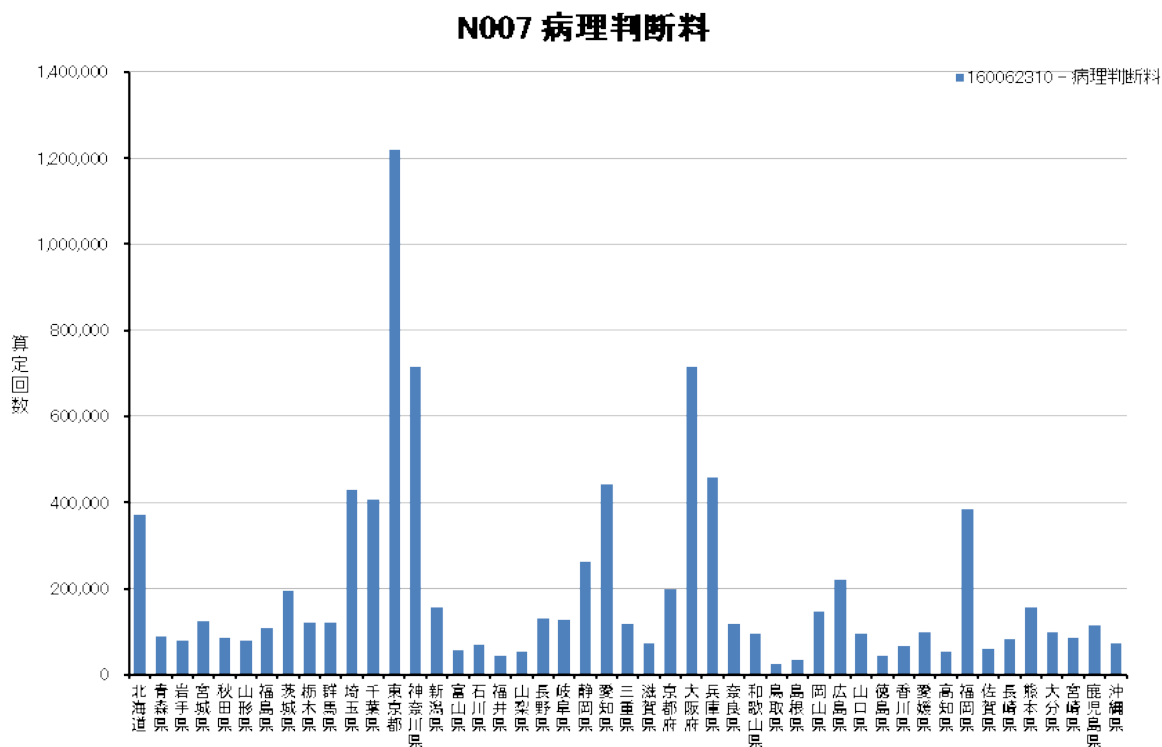
M004 密封小線源治療



M004 密封小線源治療：密封小線源利用とは放射性物質(密封小線源)を病巣の近くや内部に挿入して、体の内から放射線を照射する治療法。

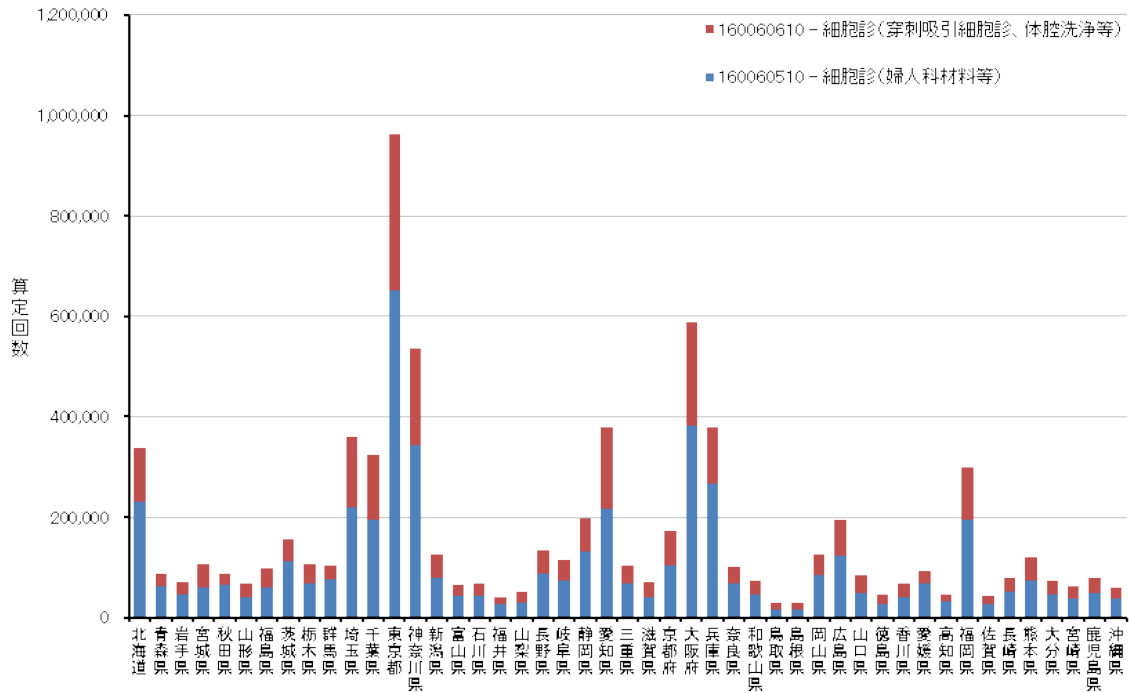
N 病理診断 ・病理診断（外来）

【概要】 外来での病理診断に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 5 項目を示す。



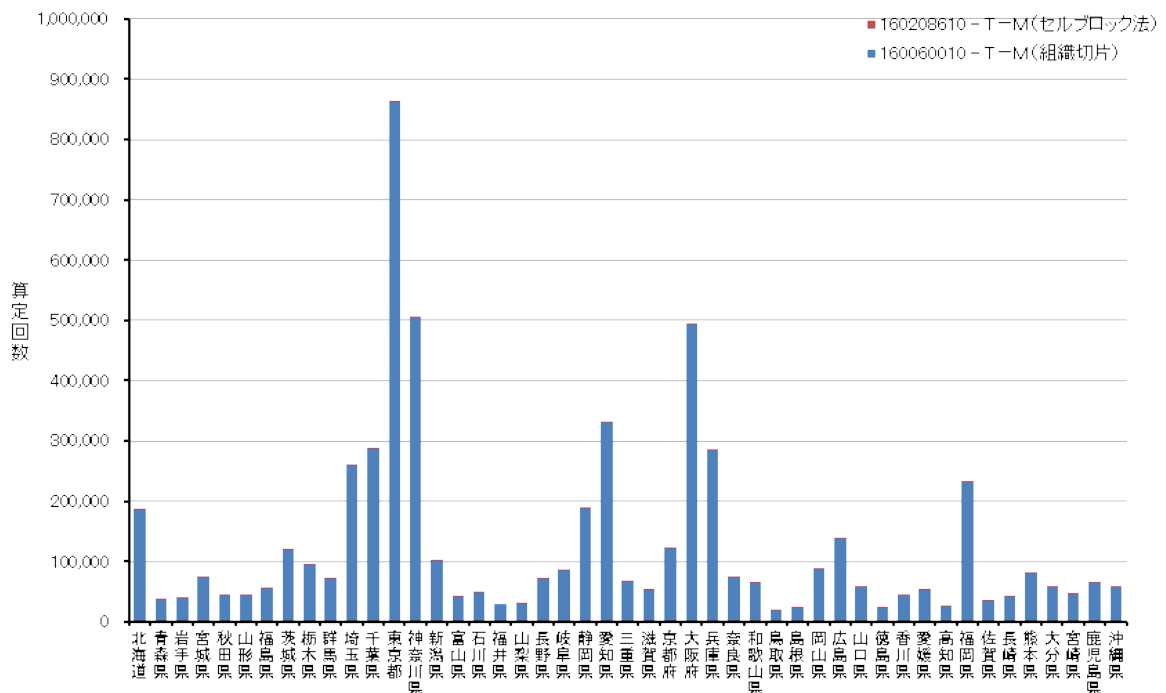
N007 病理判断料：担当医が病理標本について病変の判断を行った場合に算定する。

N004 細胞診



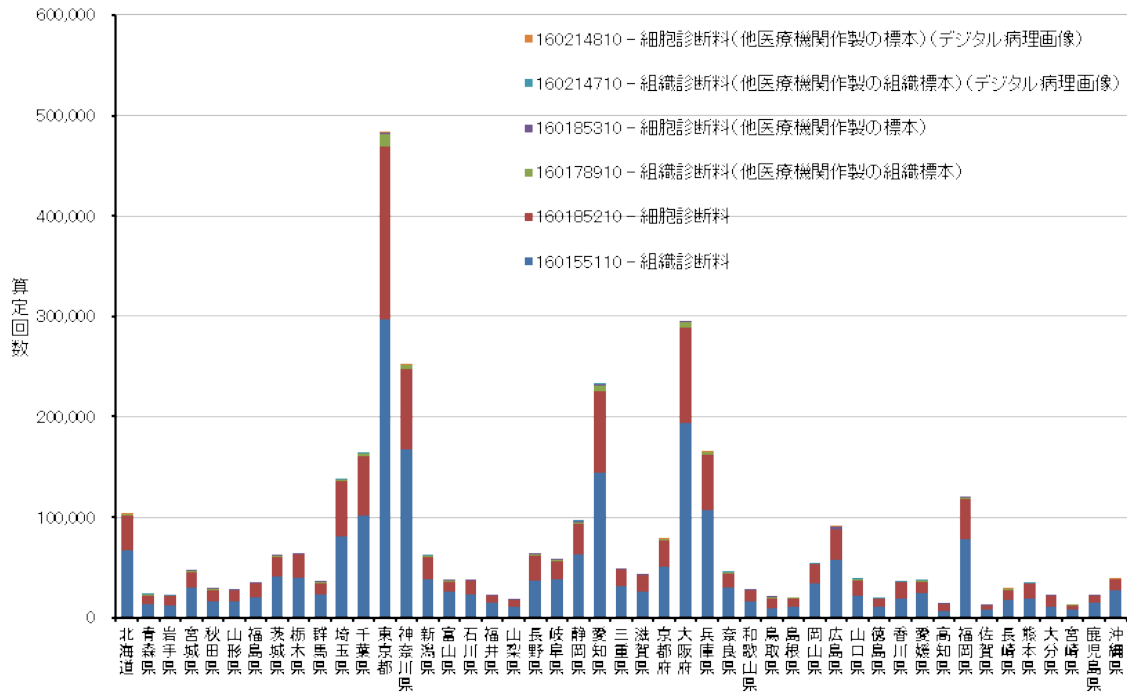
N004 細胞診：病気で変化した部分の細胞を採取し、異型細胞の有無等を顕微鏡で観察し、良悪性の判断や病理学的診断をすること。

N000 病理組織標本作製



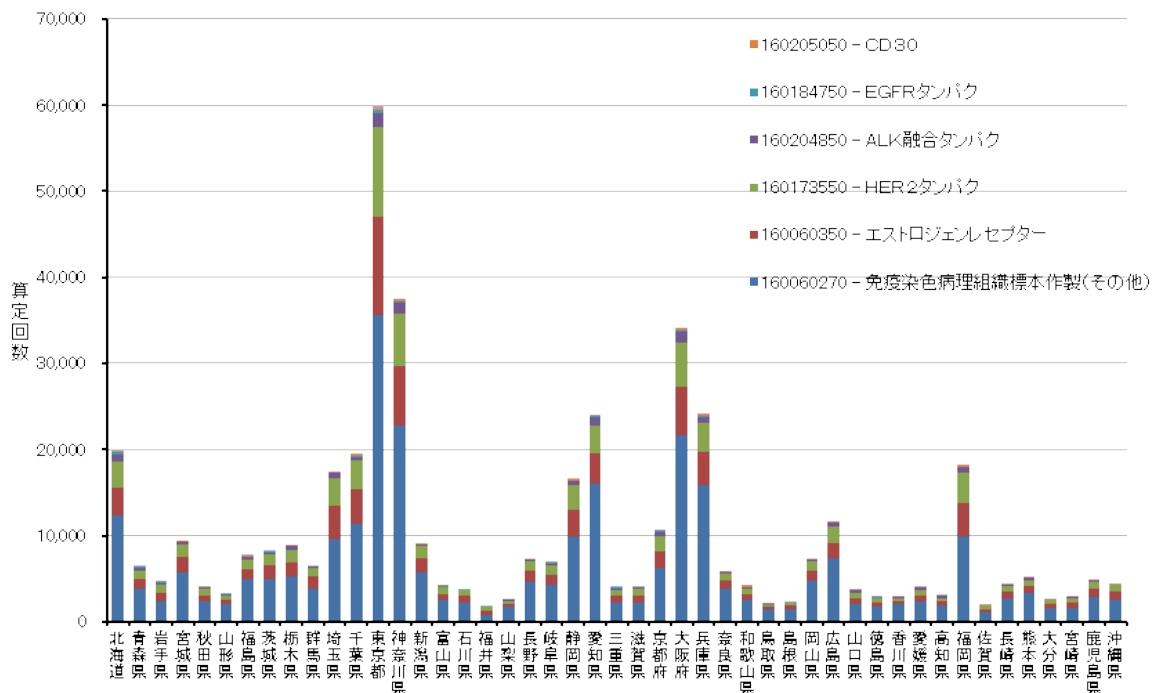
N000 病理組織標本作製：病理検査のため、患者の体から採取した少量の組織または、手術で摘出された臓器を固定、薄切、染色し、標本を作製すること。

N006 病理診断料



N006 病理診断料：病理診断を専ら担当する医師が勤務する医療機関にて、患者の体内から採取した組織を顕微鏡で観察して診断された場合に算定する。

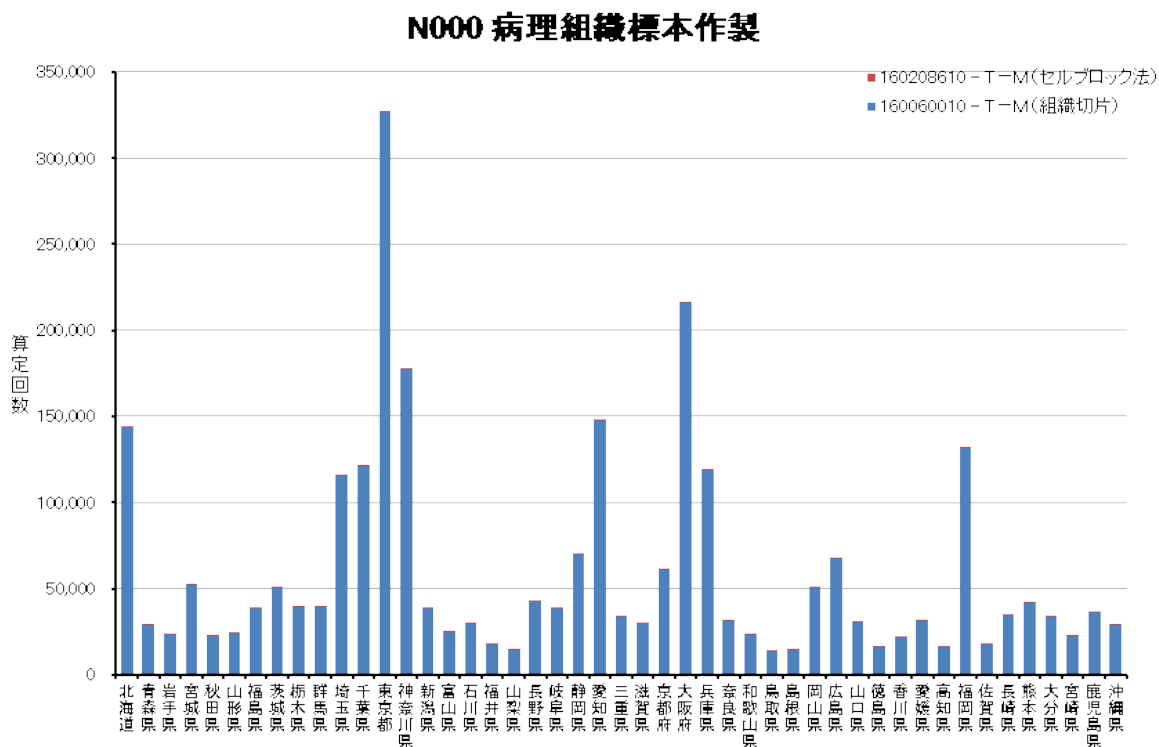
N002 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製



N002 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製：病変の詳細な評価のため、採取した組織の免疫染色を行い、標本を作製すること。

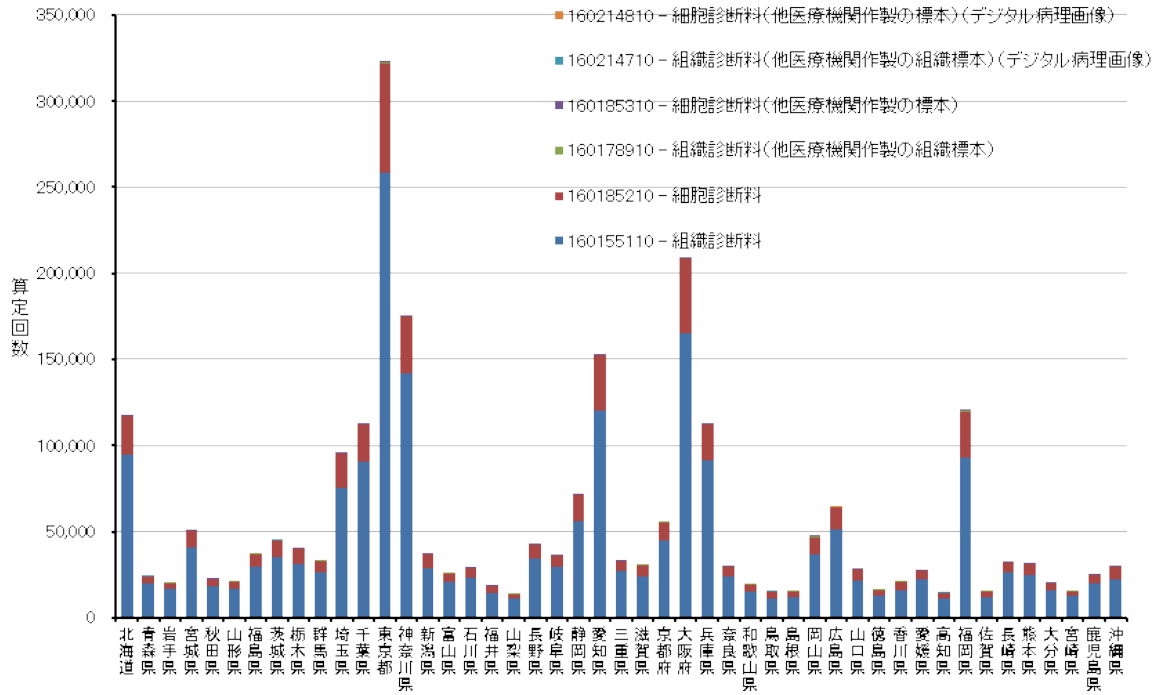
N 病理診断 ・病理診断（入院）

【概要】入院での病理診断に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位5項目を示す。



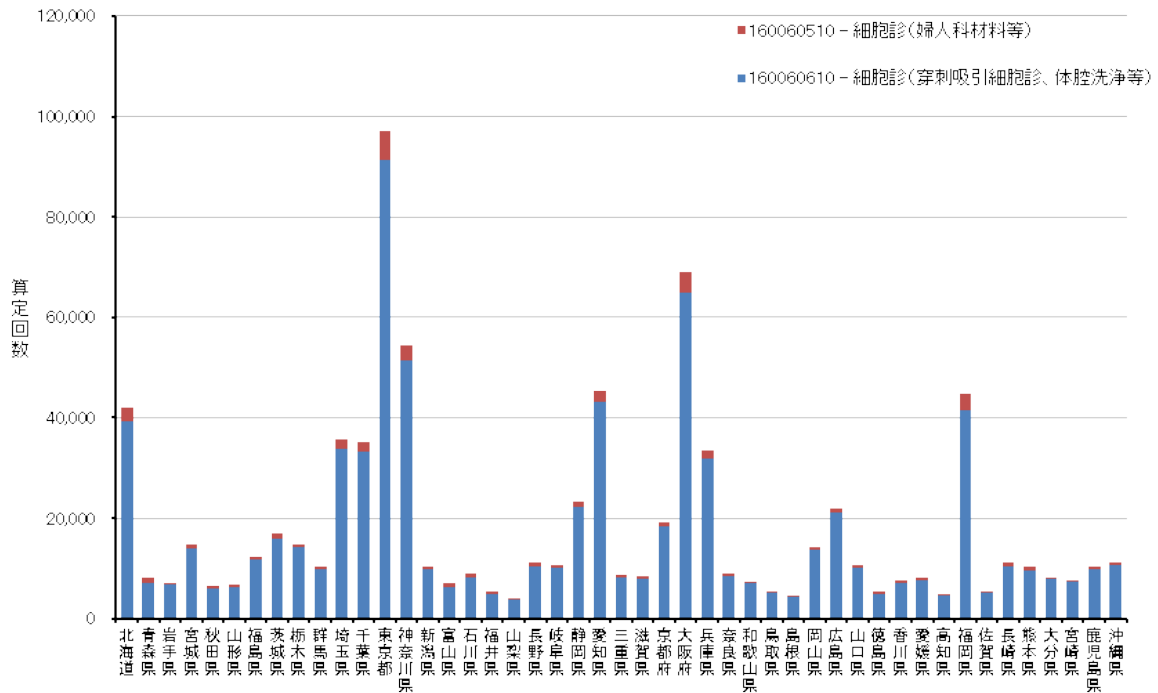
N000 病理組織標本作製：病理検査のため、患者の体から採取した少量の組織または、手術で摘出された臓器を固定、薄切、染色し、標本作製すること。

N006 病理診断料



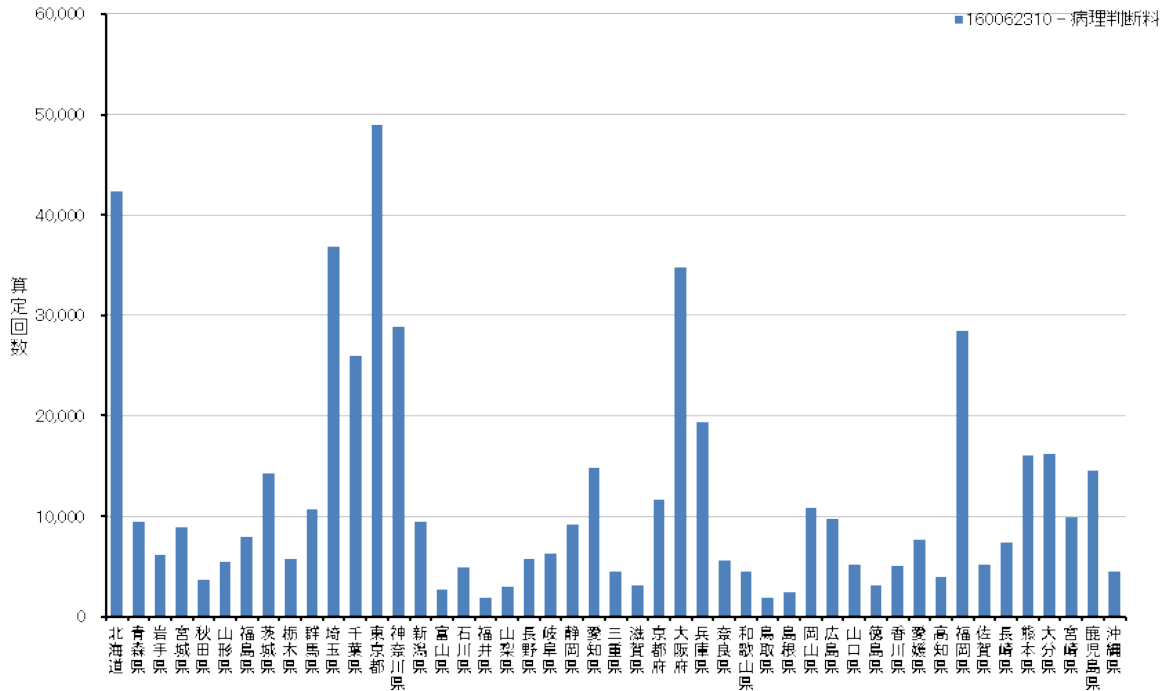
N006 病理診断料：病理診断を専ら担当する医師が勤務する医療機関にて、患者の体内から採取した組織を顕微鏡で観察して診断された場合に算定する。

N004 細胞診



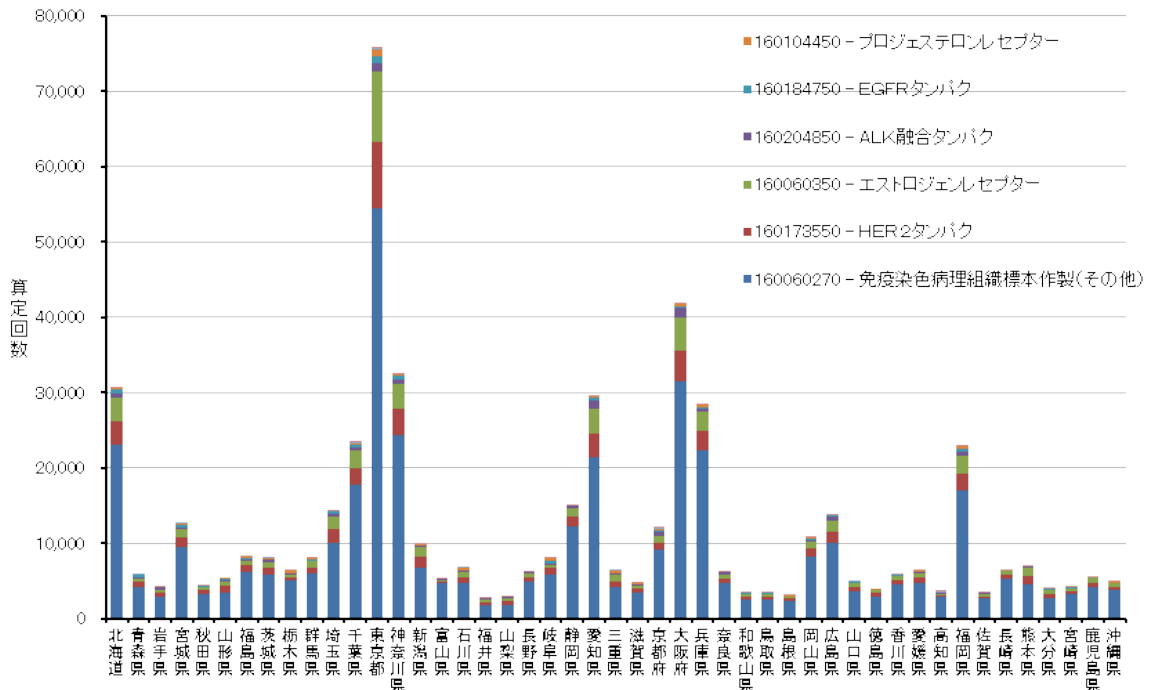
N004 細胞診：病気で変化した部分の細胞を採取し、異型細胞の有無等を顕微鏡で観察し、良悪性の判断や病理学的診断をすること。

N007 病理判断料



N007 病理判断料：担当医が病理標本について病変の判断を行った場合に算定する。

N002 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製



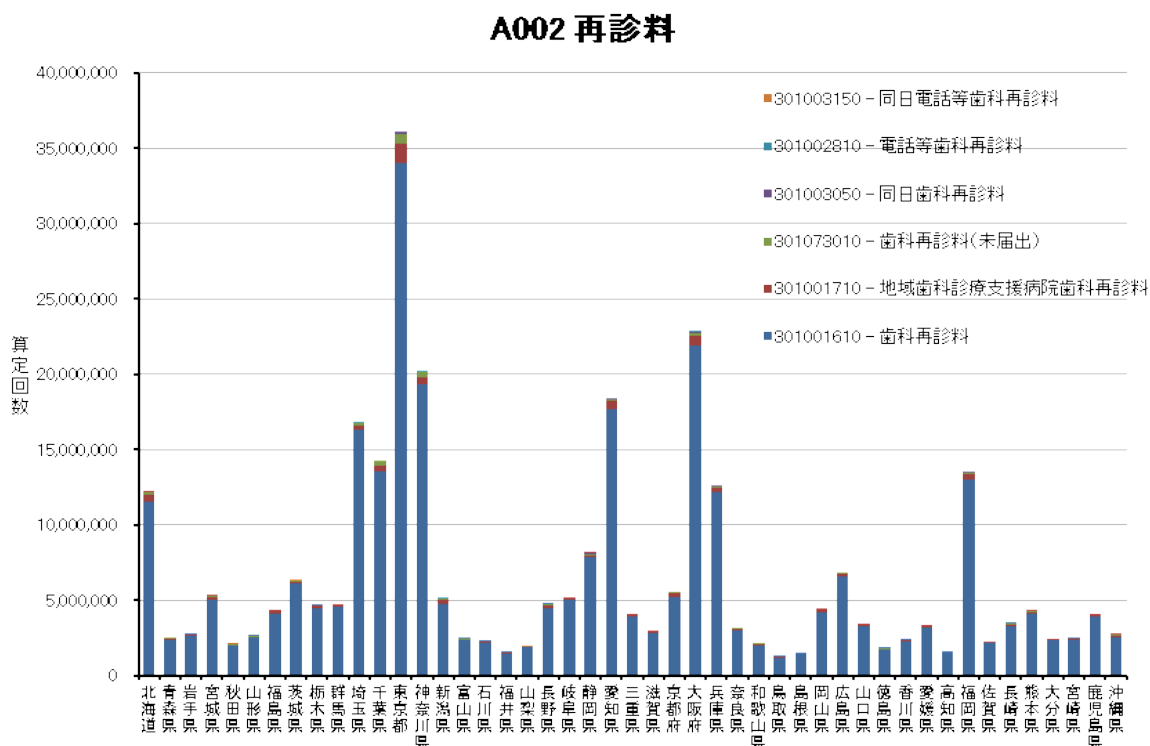
N002 免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製：病変の詳細な評価のため、採取した組織の免疫染色を行い、標本を作製すること。

2-2. 歯科診療行為の算定回数の集計グラフ

A 基本診療科

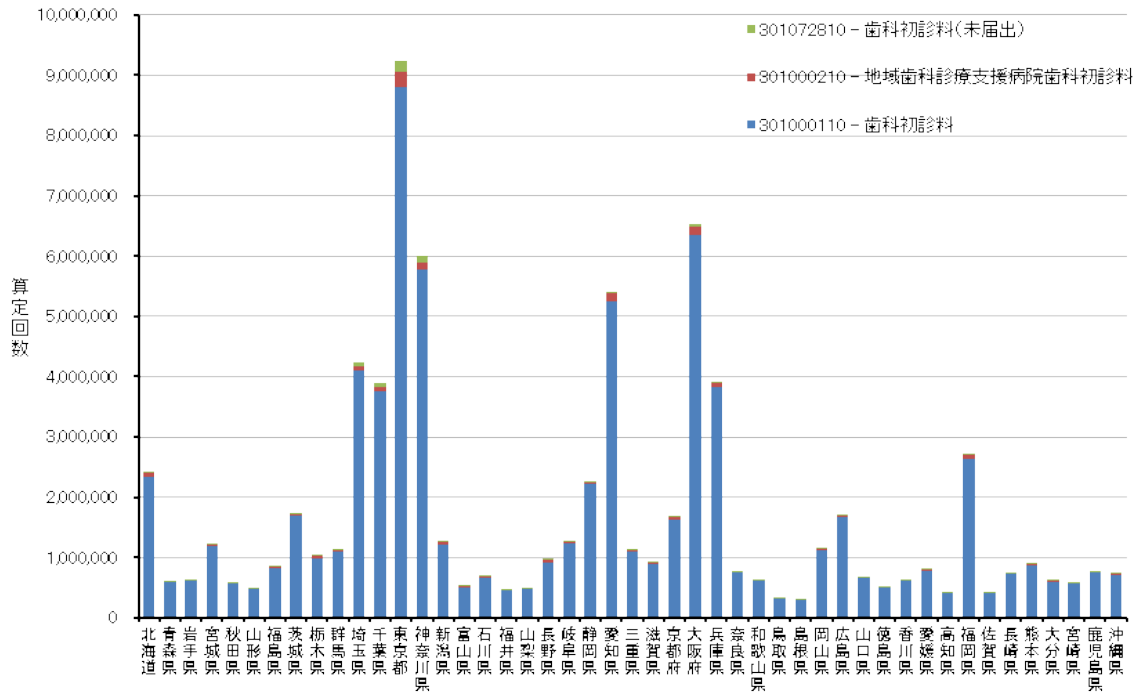
・A000 初・再診料（外来）

【概要】 外来での初再診に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 2 項目を示す。



A002 再診料：初診後に、診療所もしくは病院において、同一の病気やけがで再び診察が行われること。

A000 初診料

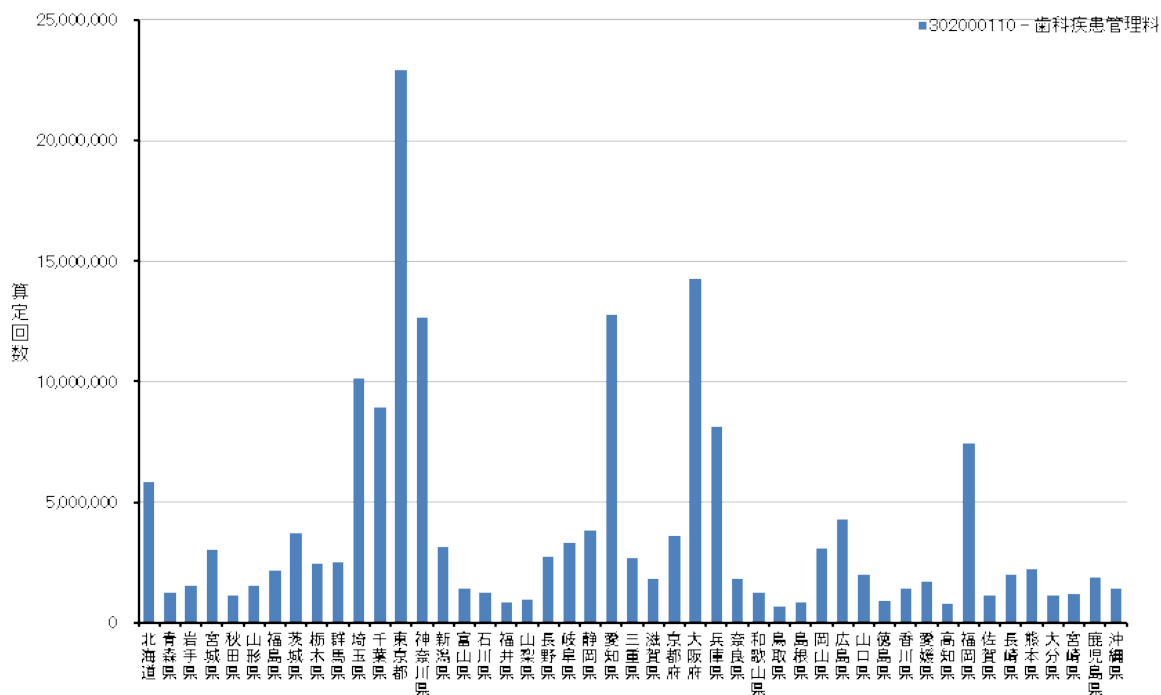


A000 初診料：診療所や病院にて、病気やけがをした患者が初めて診察を受けること。

B 医学管理等
・医学管理等（外来）

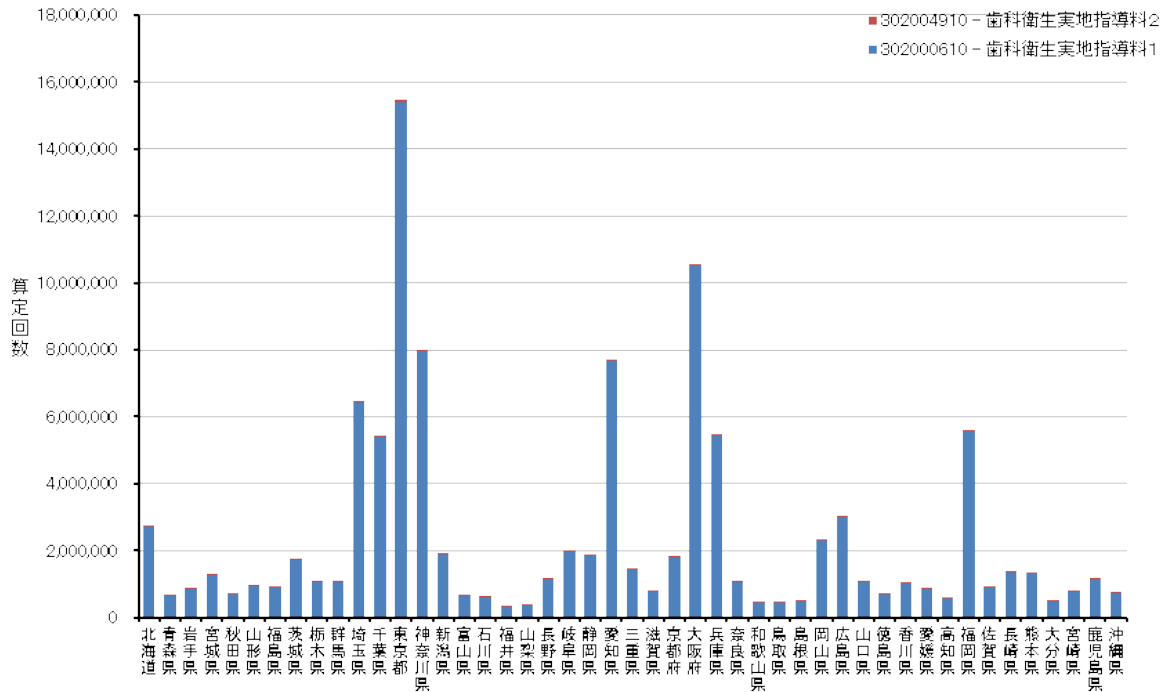
【概要】 外来での医学管理に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。

B000-4 歯科疾患管理料



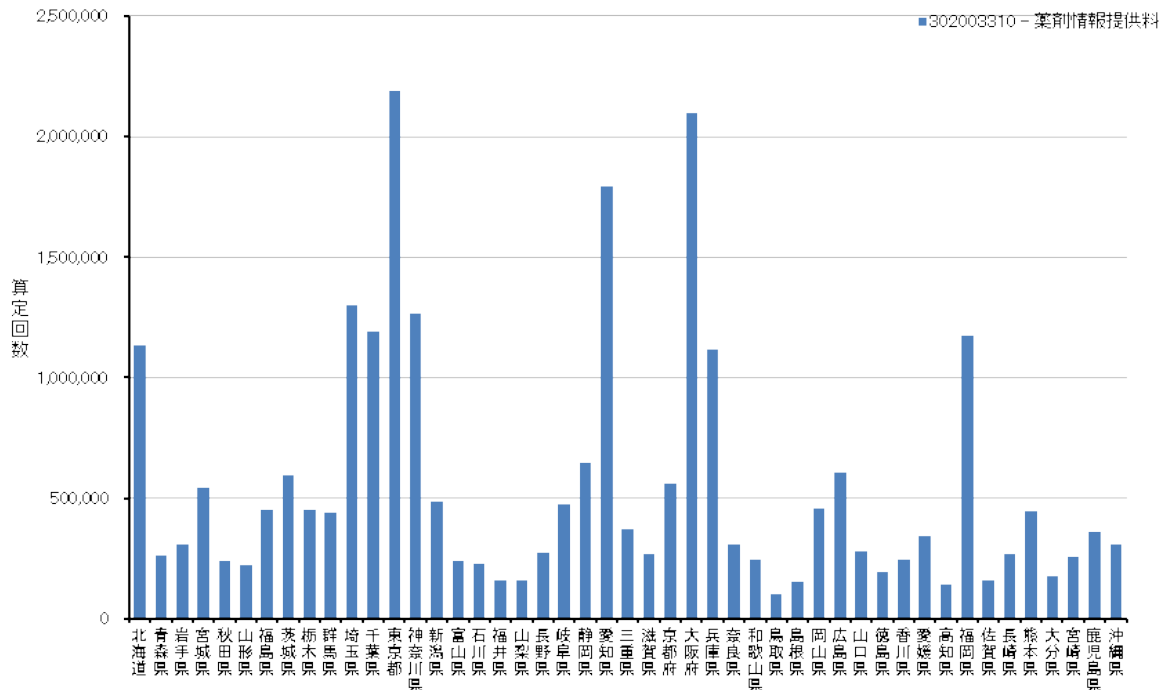
B000-4 歯科疾患管理料：継続的な歯科疾患の管理が必要な患者に対し、患者または患者家族の同意を得て管理計画を作成し、内容説明を行うこと。

B001-2 歯科衛生実地指導料



B001-2 歯科衛生実地指導料：う蝕または歯周病患者に対し、主治医の指示を受けた歯科衛生士が直接 15 分以上の実地指導を行い、指導内容を文書で提供すること。

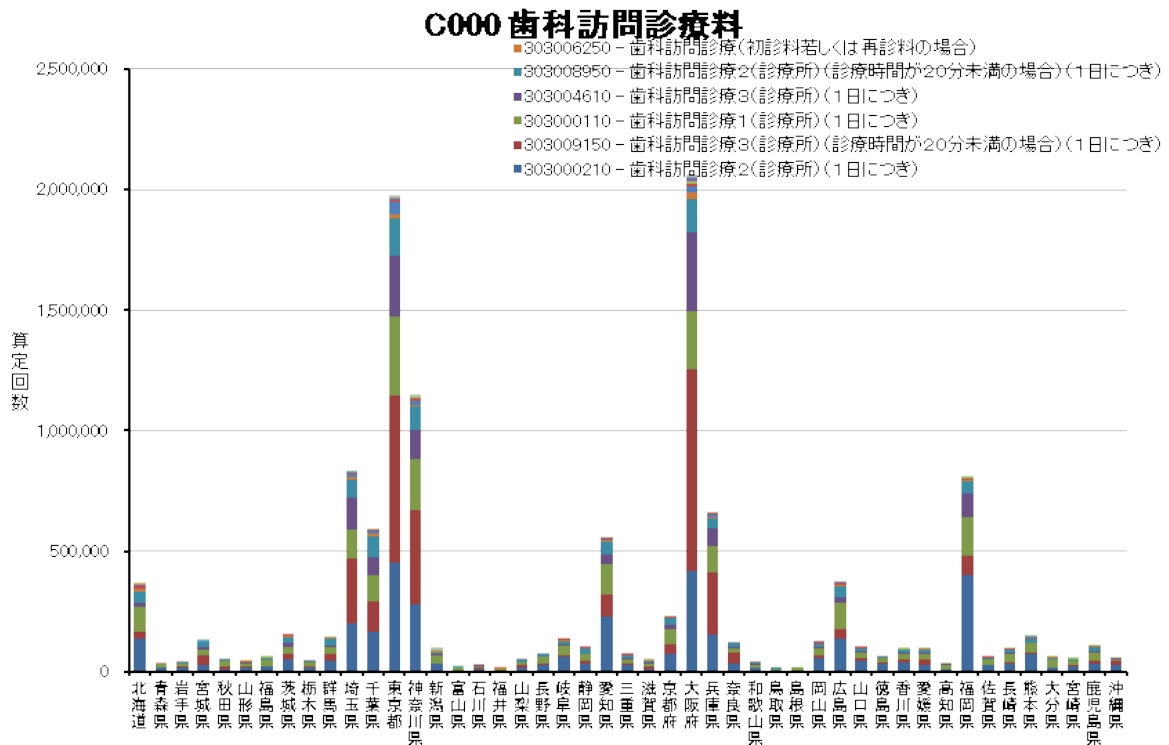
B011-3 薬剤情報提供料



B011-3 薬剤情報提供料：外来患者に対して、処方した薬剤の名称・用法・用量・効能等に関する主な情報を文書により提供すること。

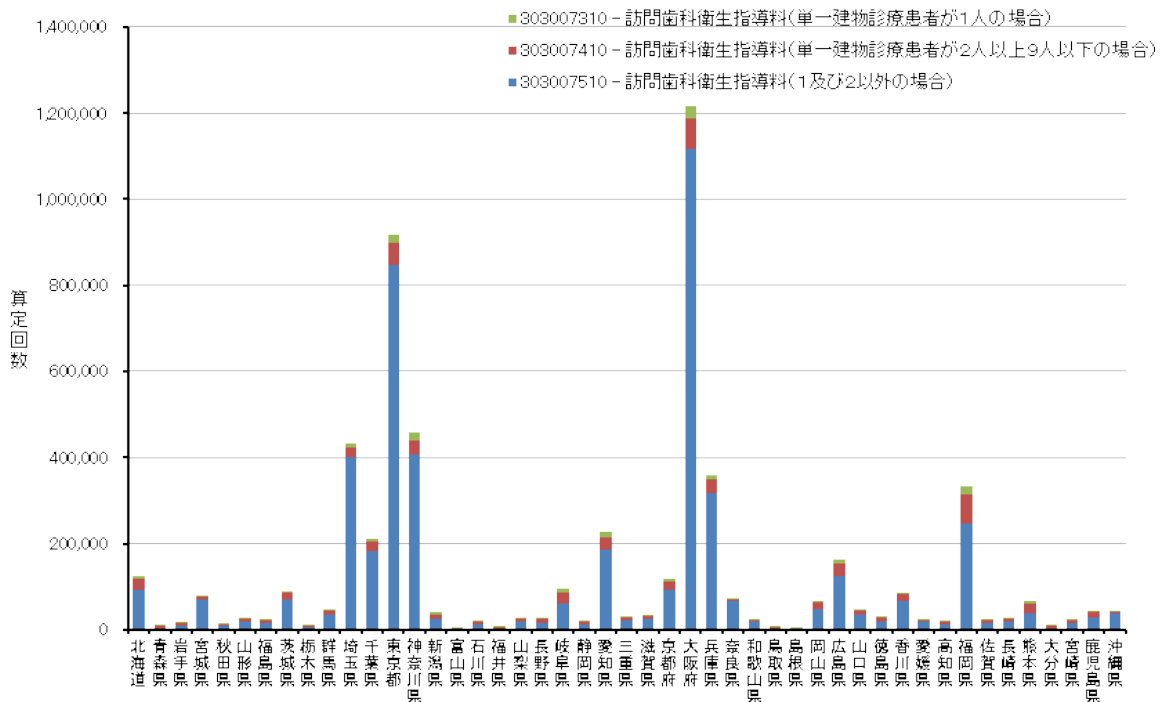
C 在宅医療

【概要】在宅医療に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成30年度(1年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位3項目を示す。



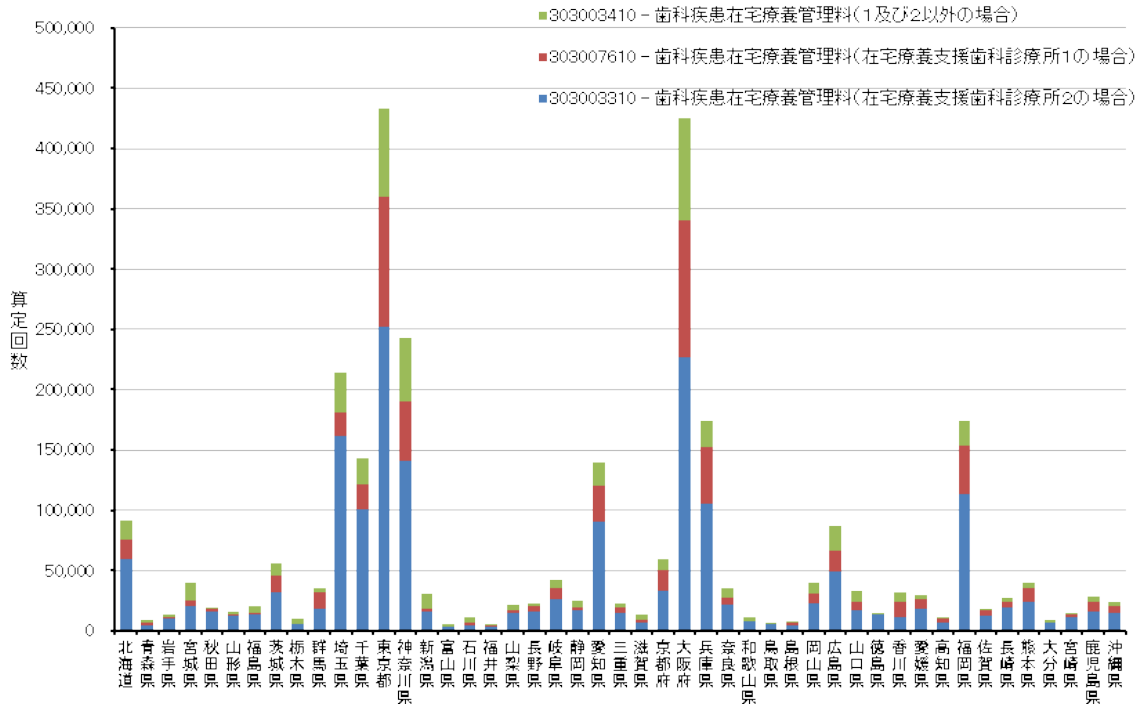
C000 歯科訪問診療料：在宅等で療養を行っている患者に対して行われる、定期的な訪問による歯科診療のこと。

C001 訪問歯科衛生指導料



C001 訪問歯科衛生指導料：在宅等で療養を行っている患者に対し、訪問歯科診療を行った歯科医師の指示に基づき、歯科衛生士、保健師、看護師または准看護師が訪問し、口腔内での清掃に係る実地指導を行うこと。

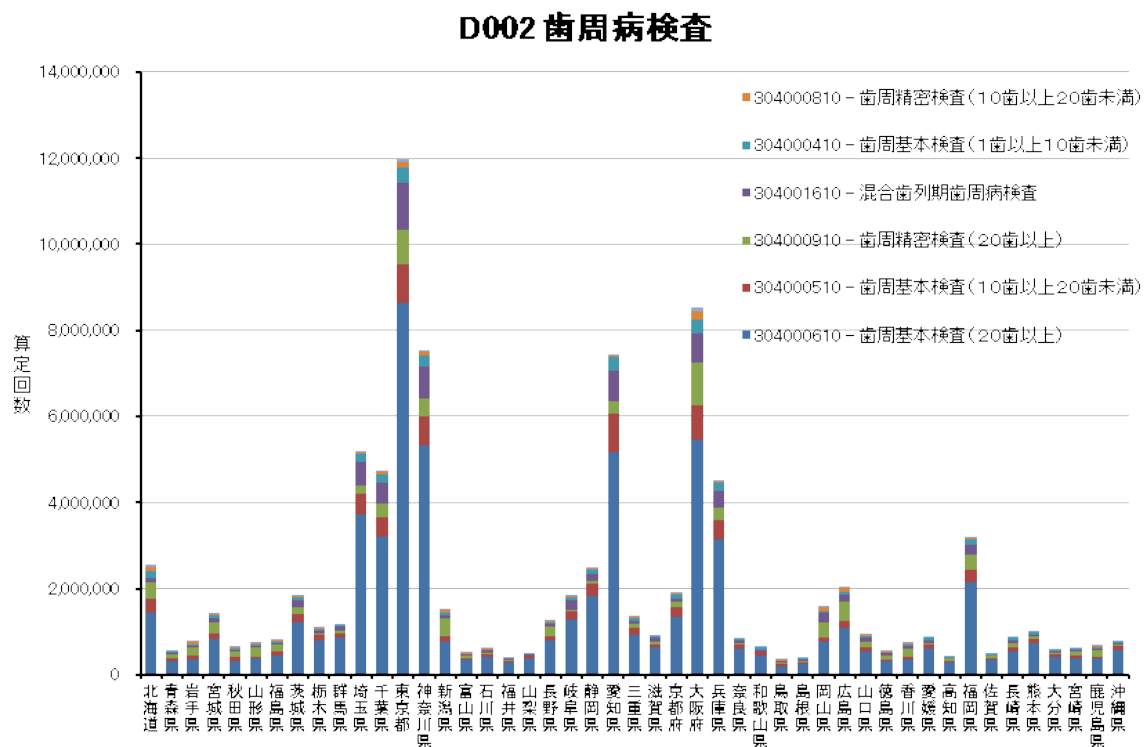
C001-3 歯科疾患在宅療養管理料



C001-3 歯科疾患在宅療養管理料：継続的な歯科疾患の管理が必要な在宅等で療養を行っている患者に対し、患者または患者家族の同意を得て管理計画を作成し、管理を行うこと。

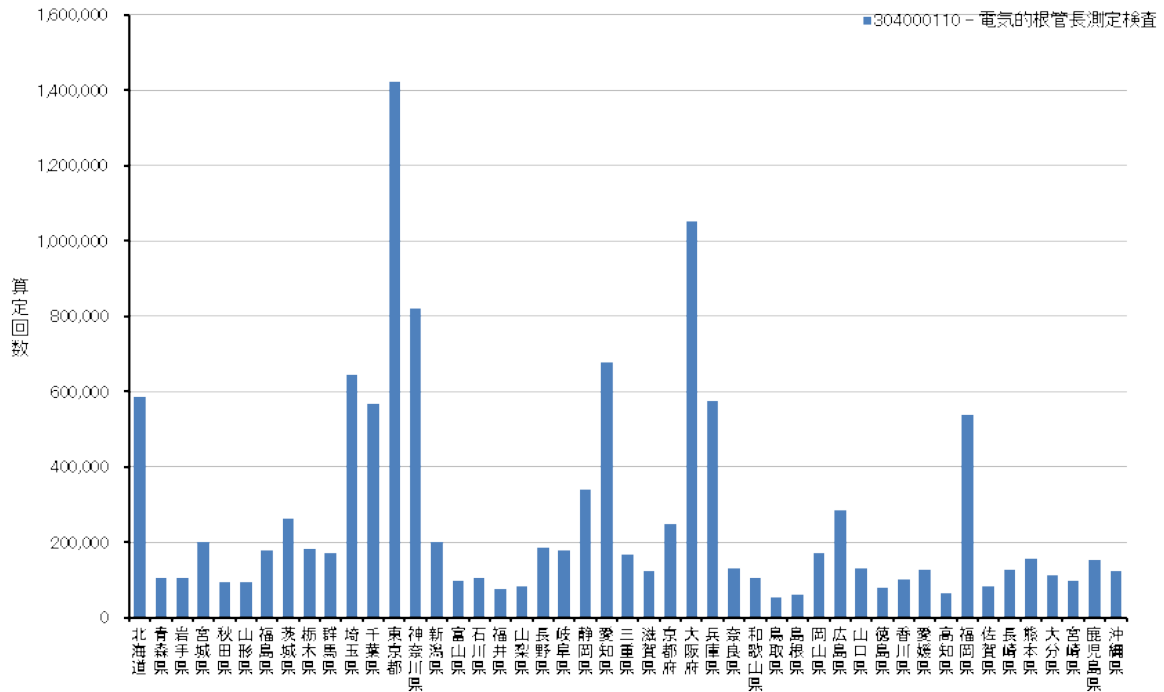
D 検査 ・検査（外来）

【概要】 外来での検査に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



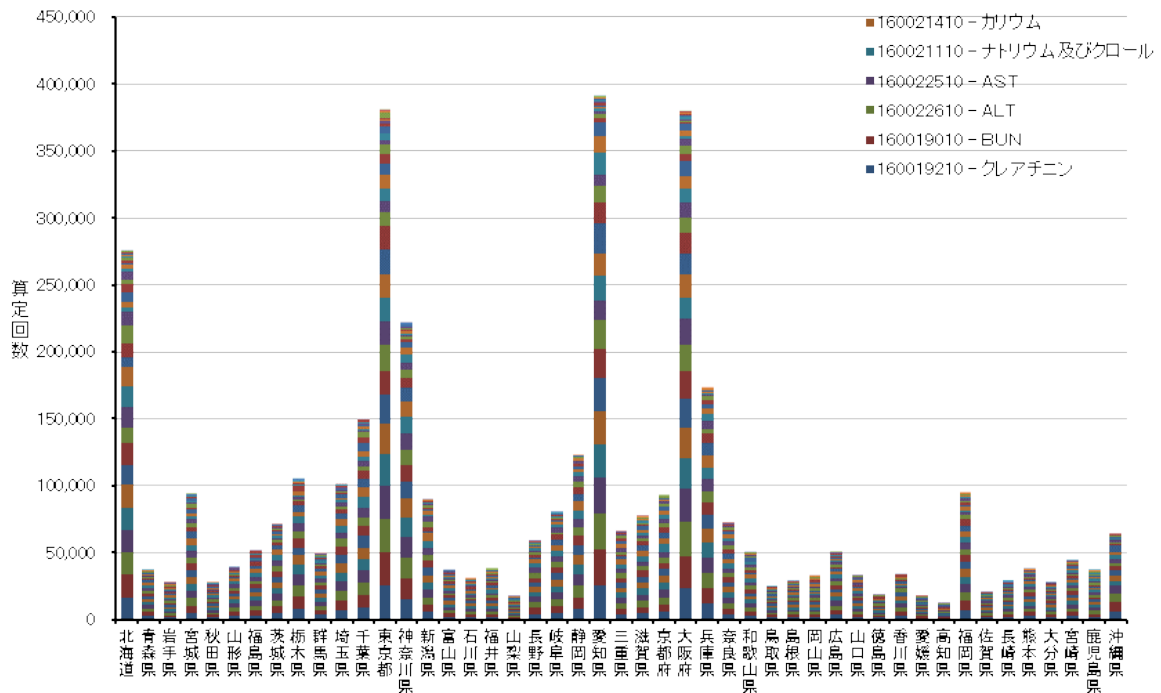
D002 歯周病検査：歯周ポケットの測定や出血の有無、歯垢や歯石の付着状況、歯肉の炎症状態を調べる検査のこと。

D000 電氣的根管長測定検査



D000 電氣的根管長測定検査：根管長測定器を用いて歯の根の長さを測定する検査のこと。

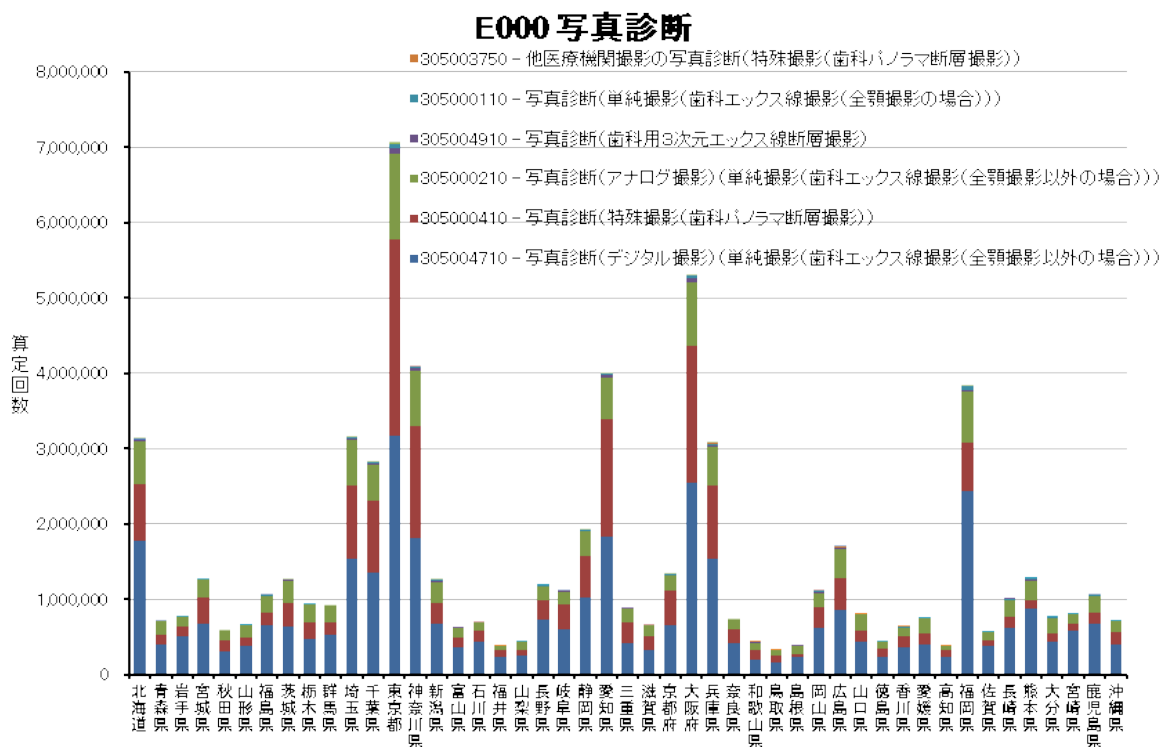
D007 血液化学検査



D007 血液化学検査：血液に含まれる様々な成分を分析し、健康状態や病気の状態、治療効果の把握のために利用する検査。

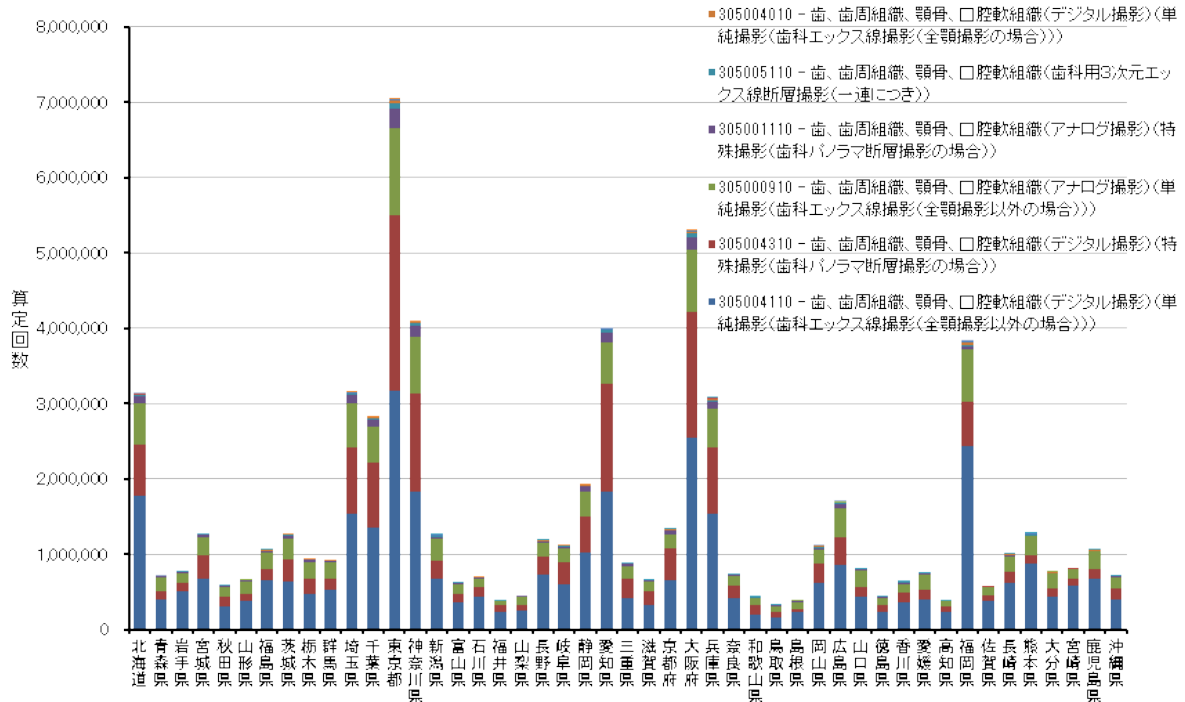
E 画像診断
・画像診断（外来）

【概要】 外来での画像診断に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



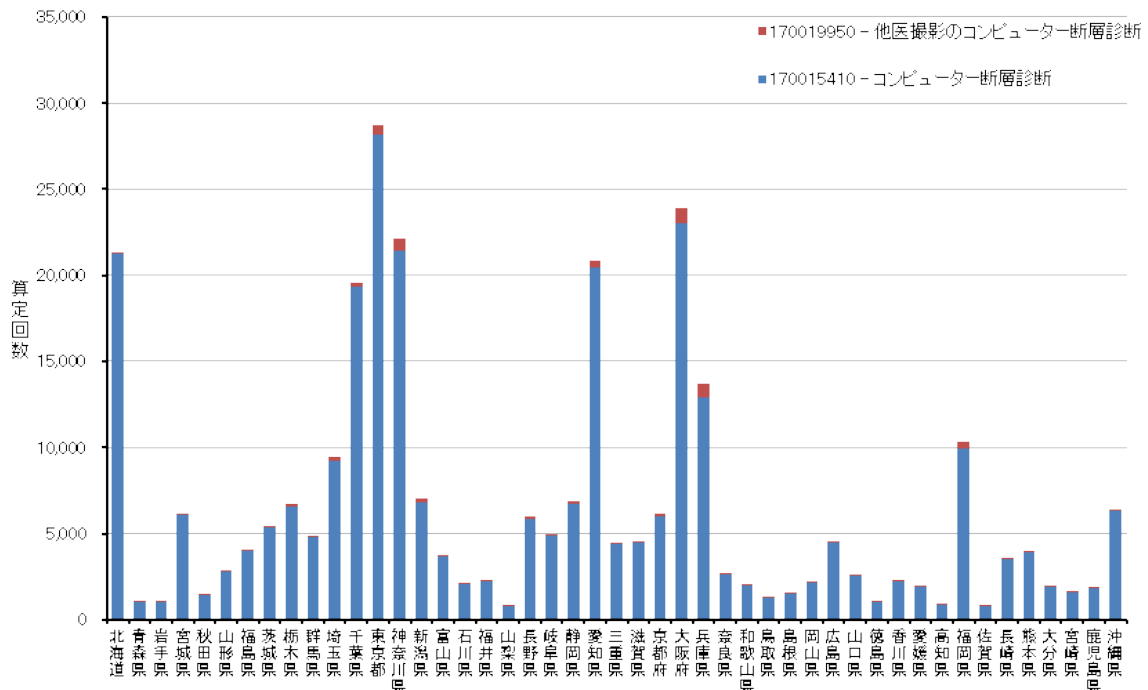
E000 写真診断：撮影したエックス線画像に対して診断を行うこと。

E100 歯、歯周組織、顎骨、口腔軟組織



E100 歯、歯周組織、顎骨、口腔軟組織：歯、歯周組織、顎骨、口腔軟組織に、エックス線を照射し、フィルム上にその構造を記録すること。

E203 コンピューター断層診断

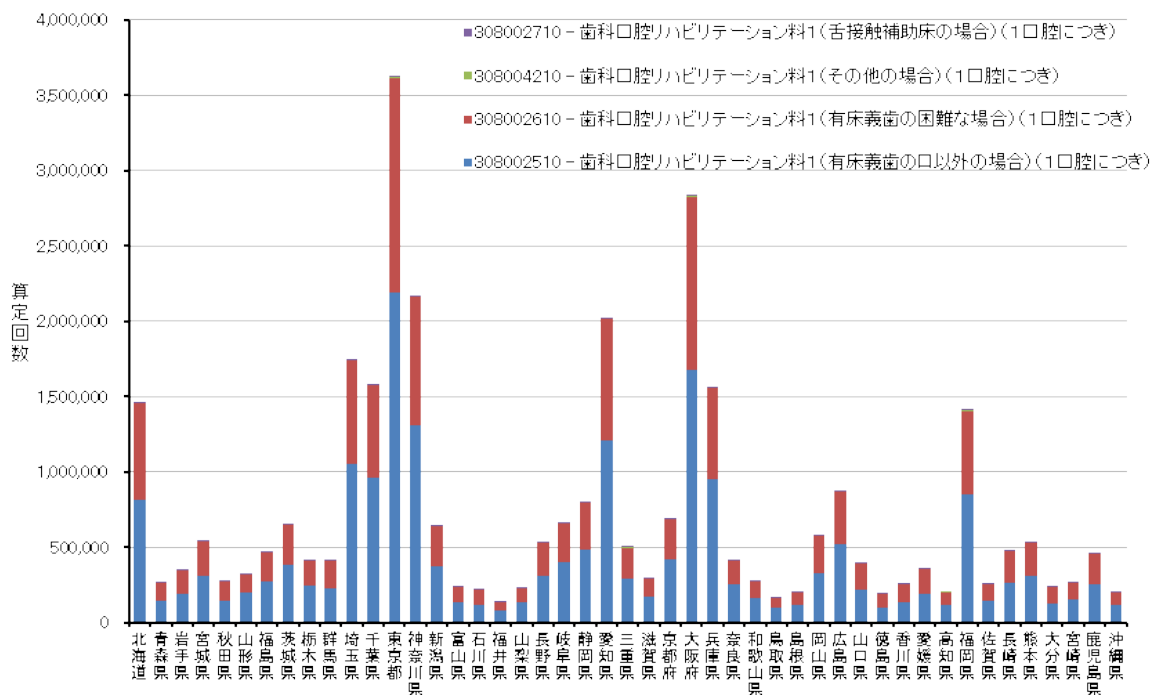


E203 コンピューター断層診断：撮影したコンピューター断層画像に対して診断を行うこと。

H リハビリテーション ・リハビリテーション（外来）

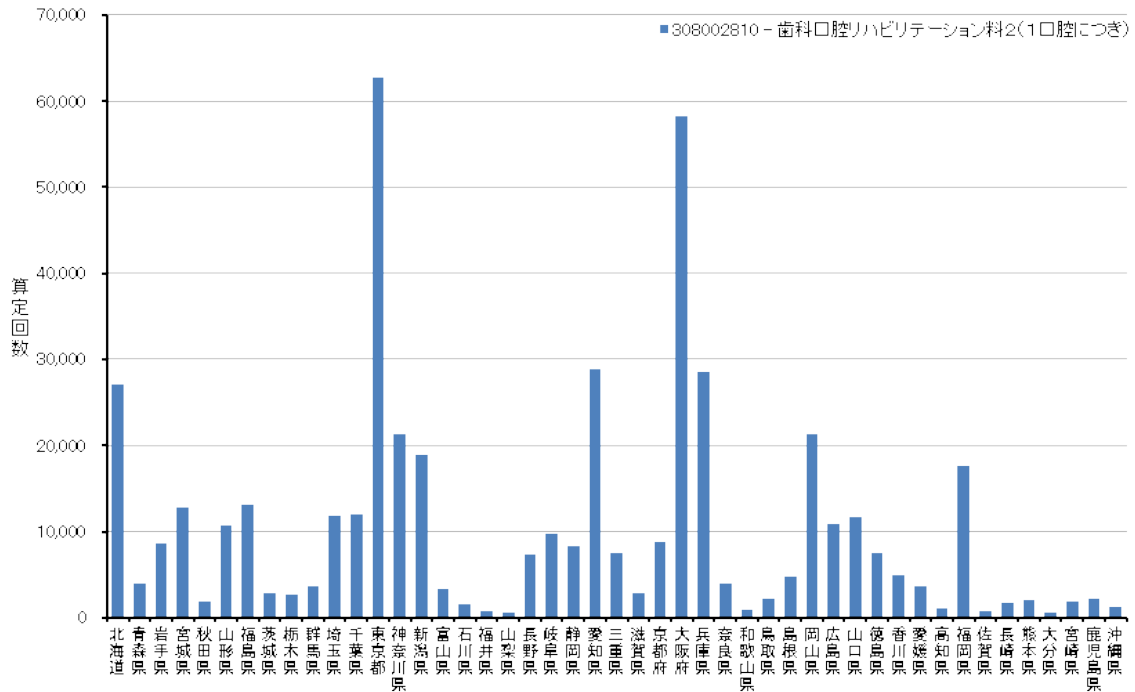
【概要】 外来でのリハビリテーションに関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度（1 年間）分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。

H001-2 歯科口腔リハビリテーション料1



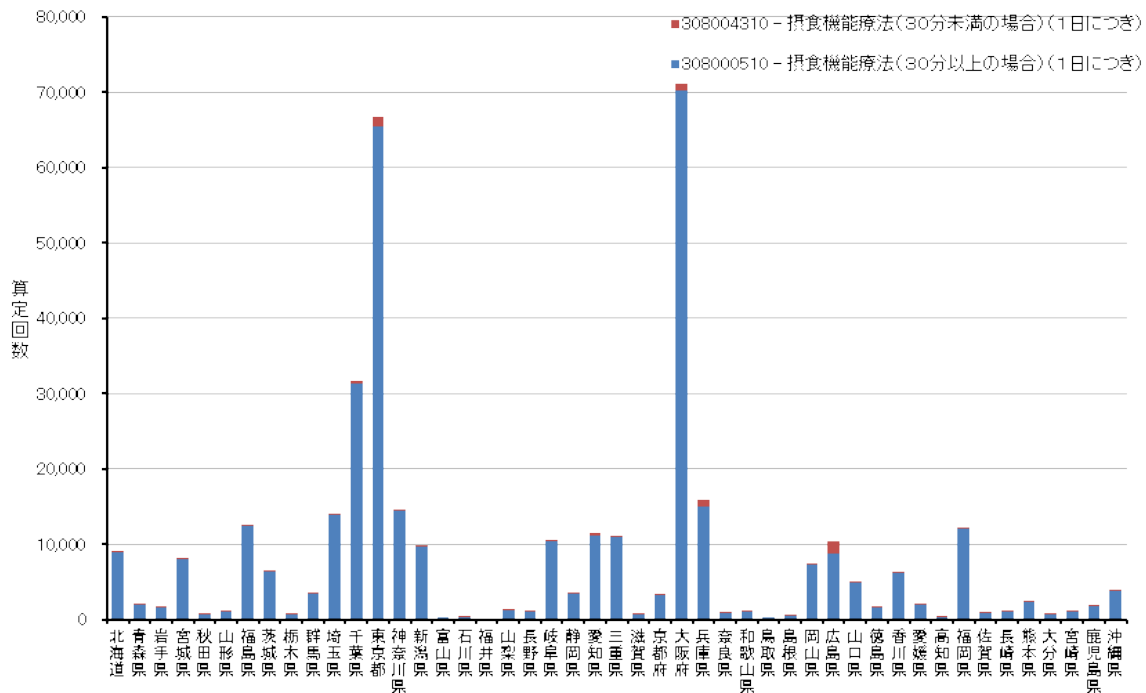
H001-2 歯科口腔リハビリテーション料 1：入れ歯や舌の運動障害を改善する装置を装着している患者に対し、口腔機能の回復、機能維持を目的として行われるリハビリテーションのこと。

H001-3 歯科口腔リハビリテーション料2



H001-3 歯科口腔リハビリテーション料2：顎関節症の治療用装置を装着している患者に対し、口腔機能の回復、機能維持を目的として行われるリハビリテーションのこと。

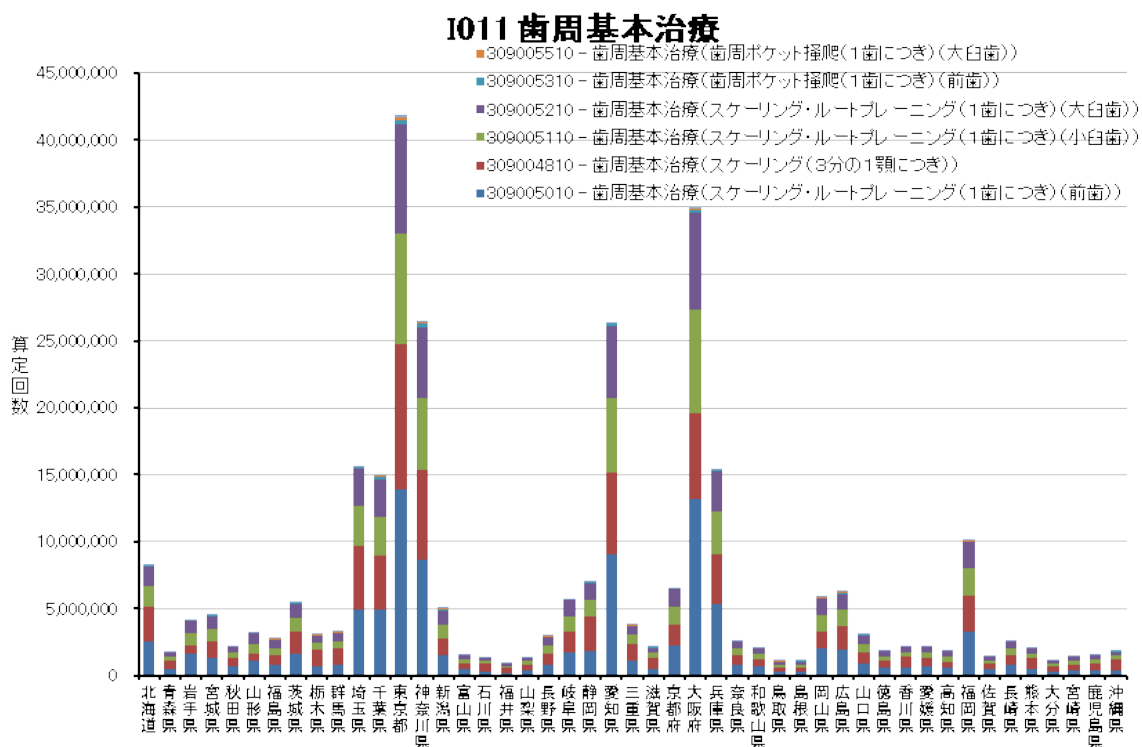
H001 摂食機能療法



H001 摂食機能療法：ものを食べることや飲み込むことが難しい状況の改善を目的として行われるリハビリテーションのこと。

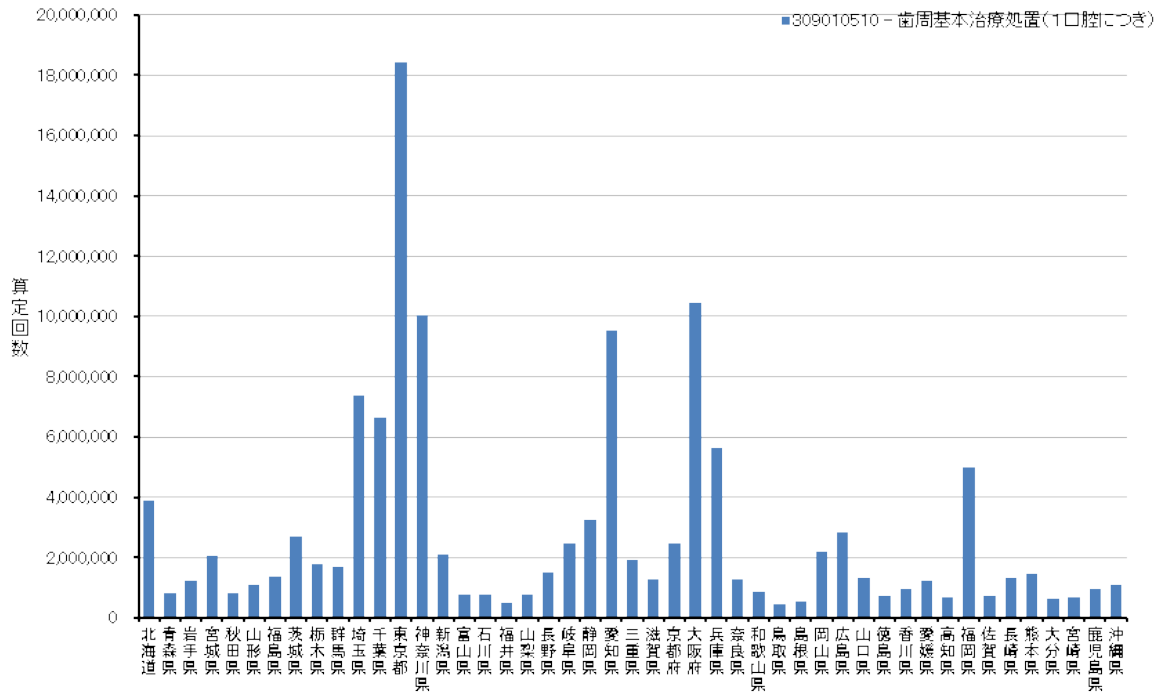
I 処置 ・処置（外来）

【概要】 外来での処置に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



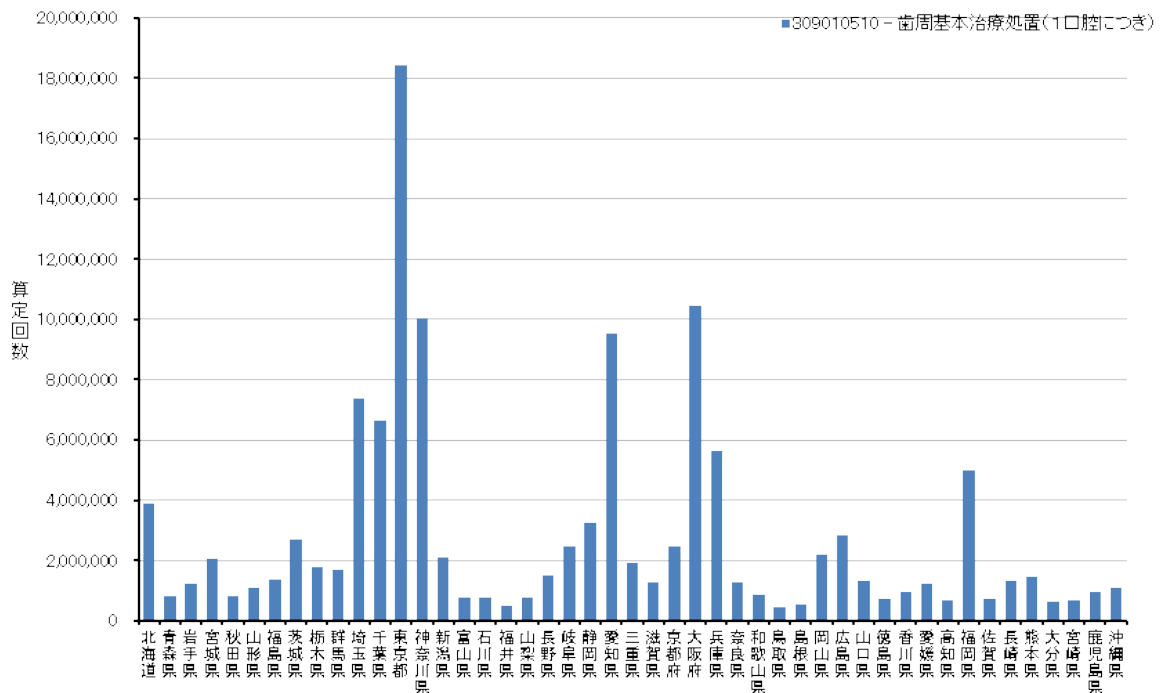
I011 歯周基本治療：歯周病を引き起こした原因の減少または除去を目的として行われた処置のこと。

I011-3 歯周基本治療処置



I011-3 歯周基本治療処置：歯周基本治療を行った部位に対し、症状の改善を目的として、薬剤による歯周ポケット内を洗浄する処置のこと。

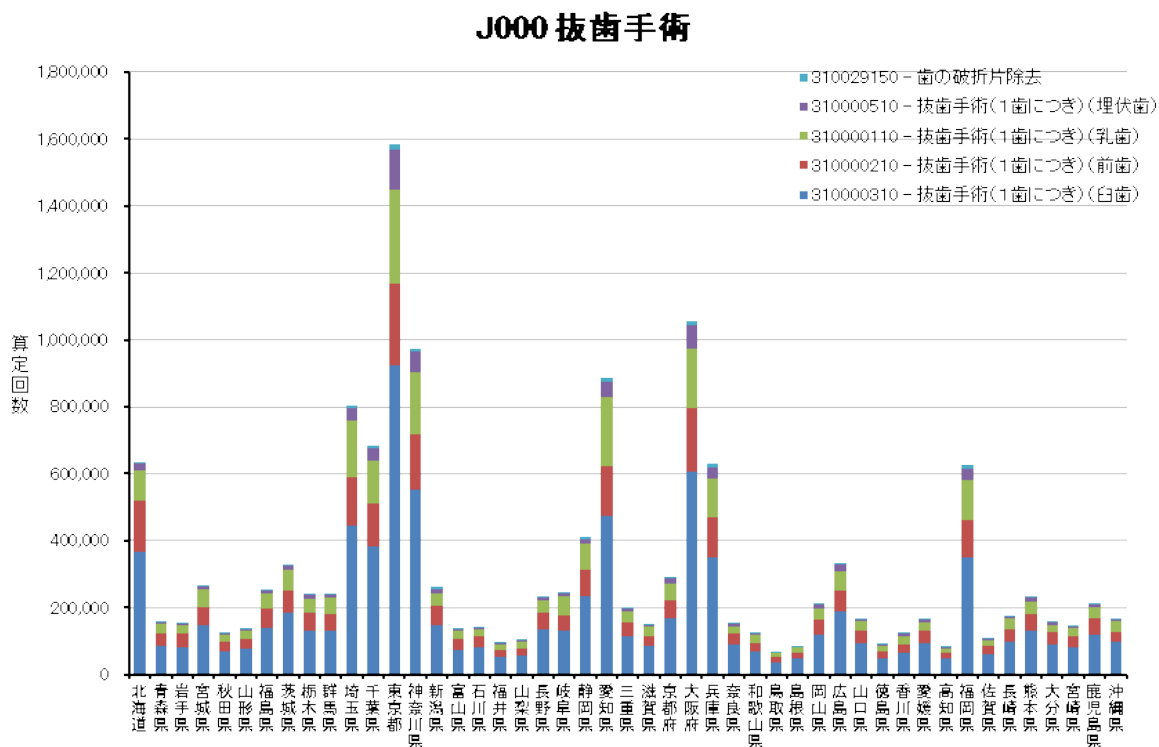
I030 機械的歯面清掃処置



I030 機械的歯面清掃処置：歯科医師またはその指示を受けた歯科衛生士が、機械を用いて歯垢を取り除く処置のこと。

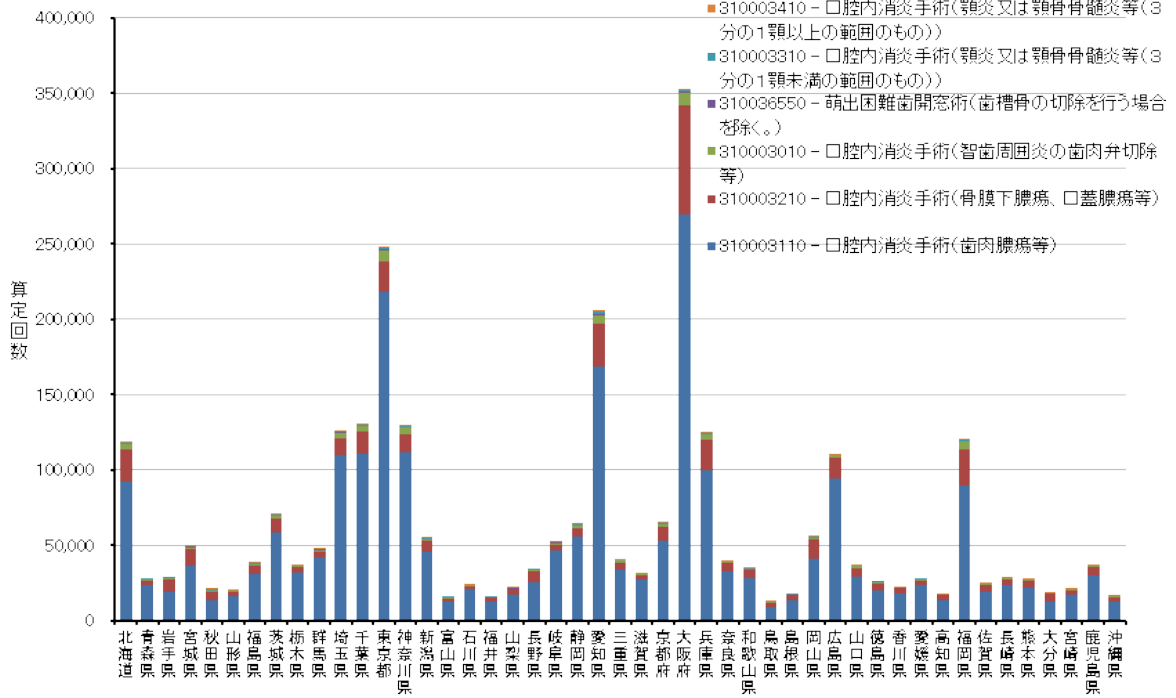
J 手術 ・手術（外来）

【概要】 外来での手術に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



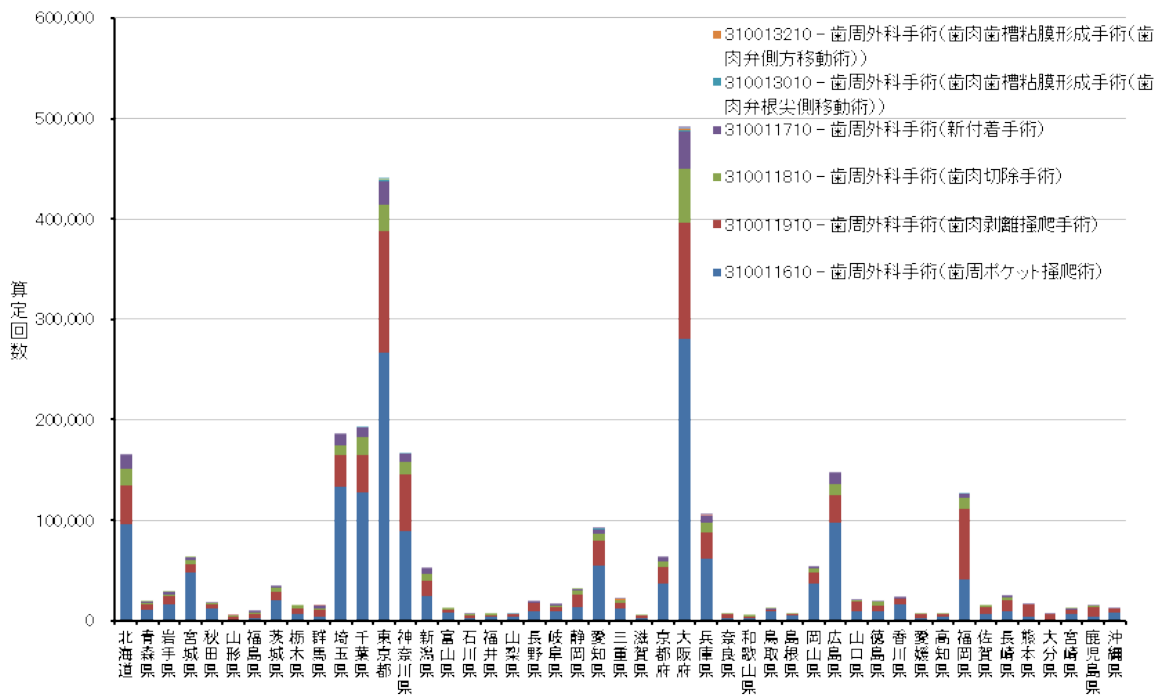
J000 抜歯手術：歯科医師が人為的に歯を抜く手術のこと。

J013 口腔内消炎手術



J013 口腔内消炎手術：炎症を起こしている部位に対し、口腔内から炎症を取り除く手術のこと。

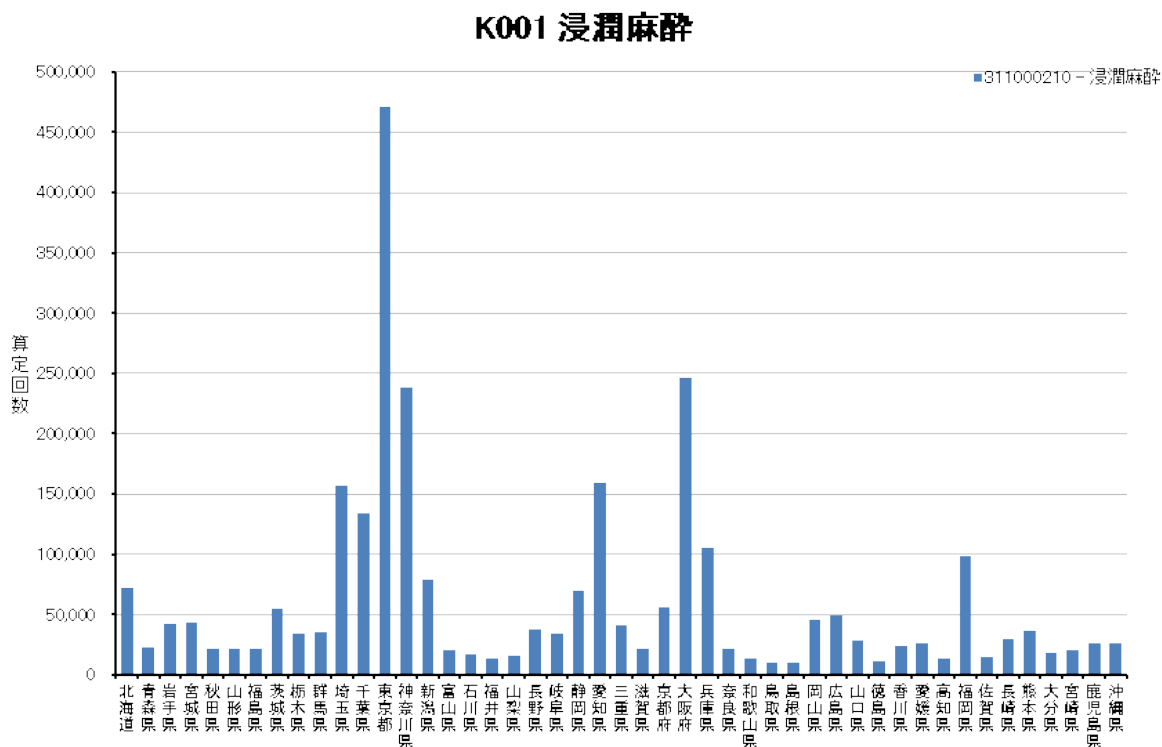
J063 歯周外科手術



J063 歯周外科手術：歯周ポケットの除去や歯周組織の形態を修正することを目的とした手術のこと。

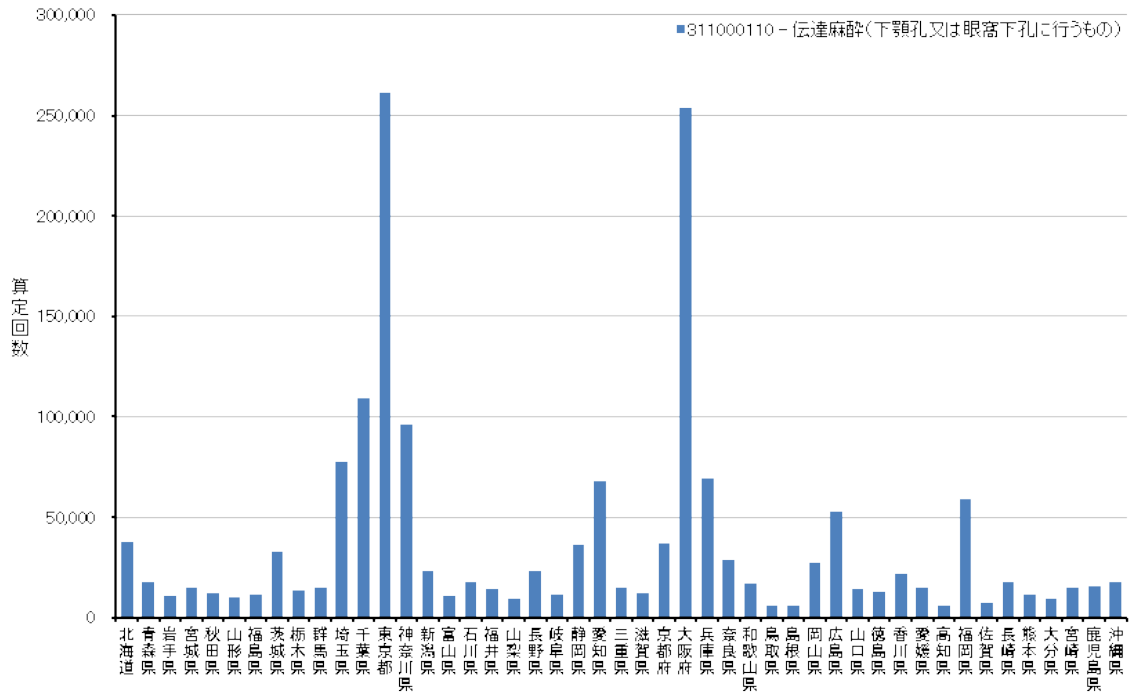
K 麻酔 ・麻酔（外来）

【概要】 外来での麻酔に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



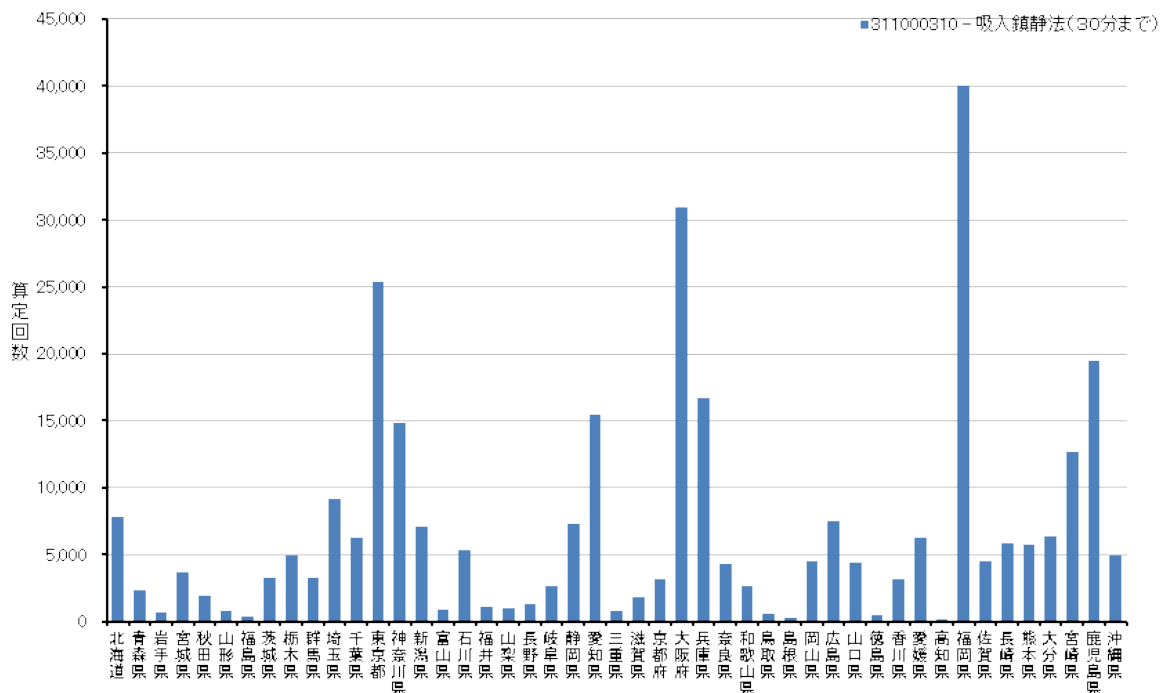
K001 浸潤麻酔：痛みをとりたい部分の歯肉に麻酔薬を注射する麻酔のこと。歯科の一般的な麻酔のこと。

K000 伝達麻酔(下顎孔又は眼窩下孔に行うもの)



K000 伝達麻酔(下顎孔又は眼窩下孔に行うもの)：神経が枝分かれする前の大元の部分に麻酔薬を注射し、広範囲を麻痺させる麻酔のこと。

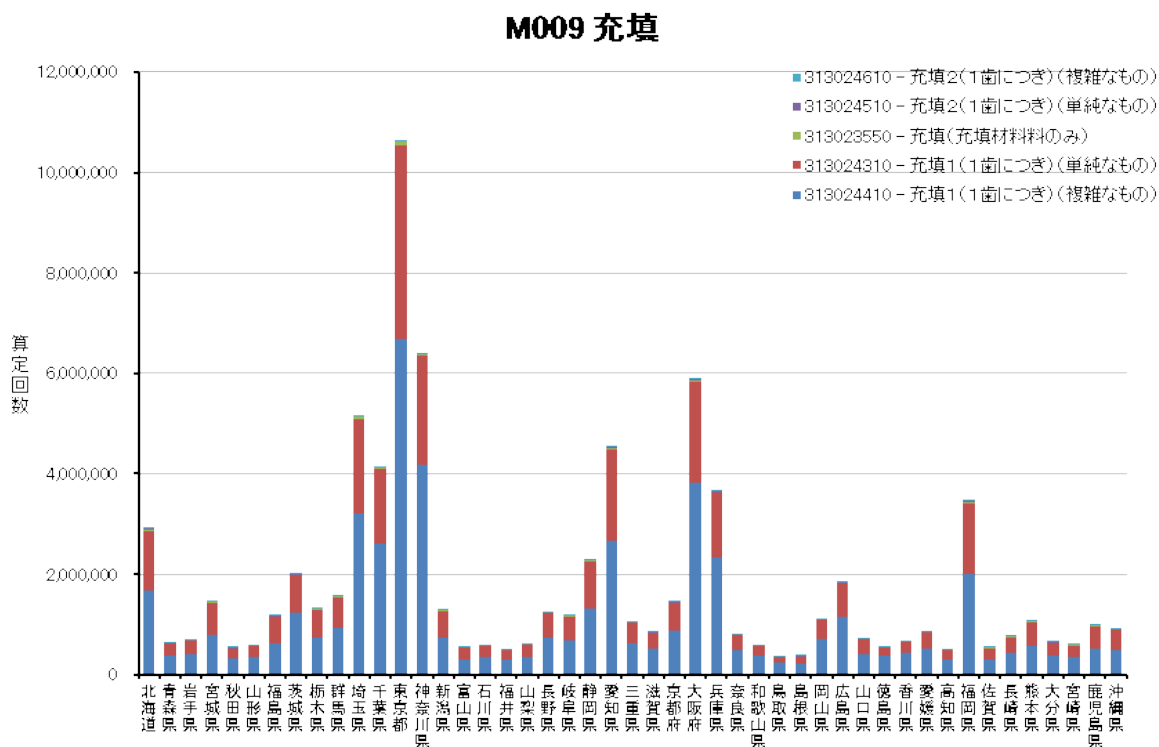
K002 吸入鎮静法



K002 吸入鎮静法：亜酸化窒素等を吸入し、不安感や恐怖心の少ないリラックス状態し、安全で快適な全身状態を作り出す麻酔法のこと。

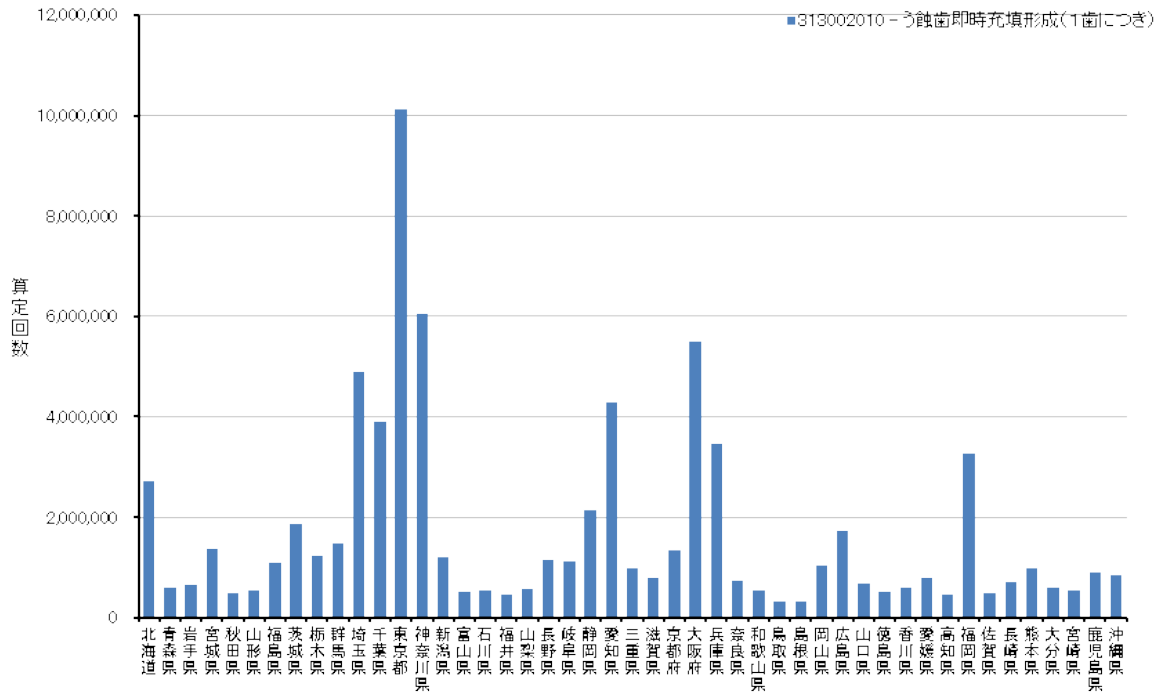
M 歯冠修復及び欠損補綴
・歯冠修復及び欠損補綴（外来）

【概要】 外来での歯冠修復及び欠損補綴に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



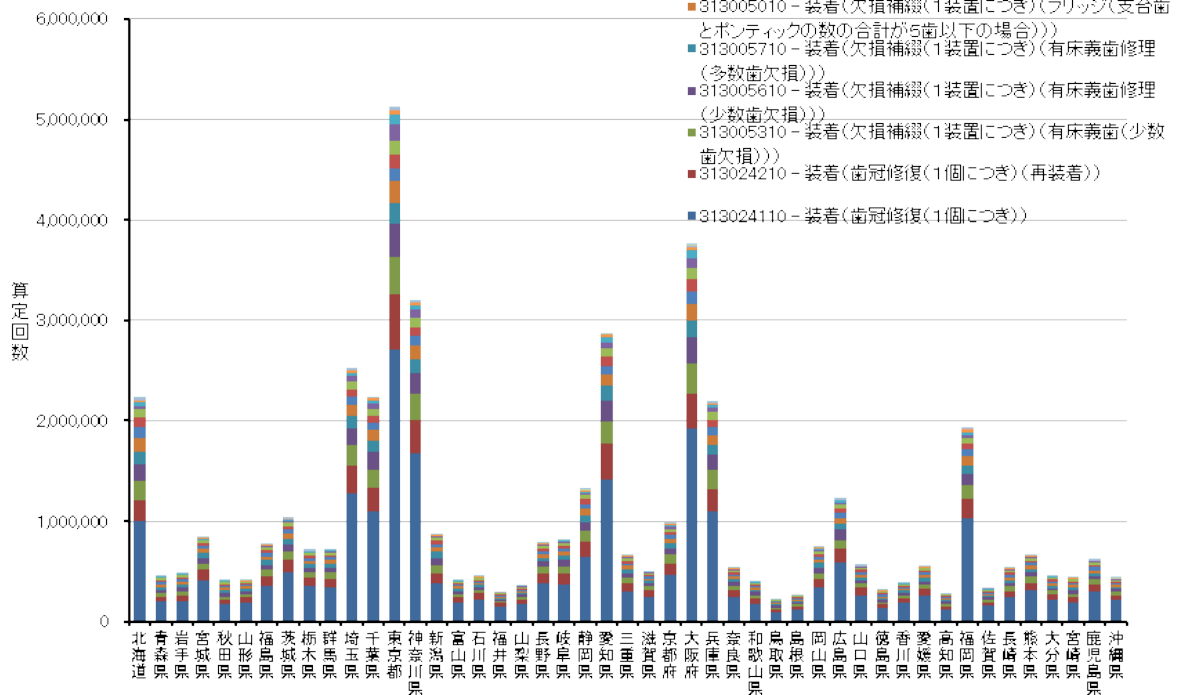
M009 充填：むし歯等によって削られた部位に対して詰め物をし補うこと。

M001-2 う蝕歯即時充填形成



M001-2 う蝕歯即時充填形成：むし歯を削って詰め物で補うことまで1日で完了すること。

M005 装着

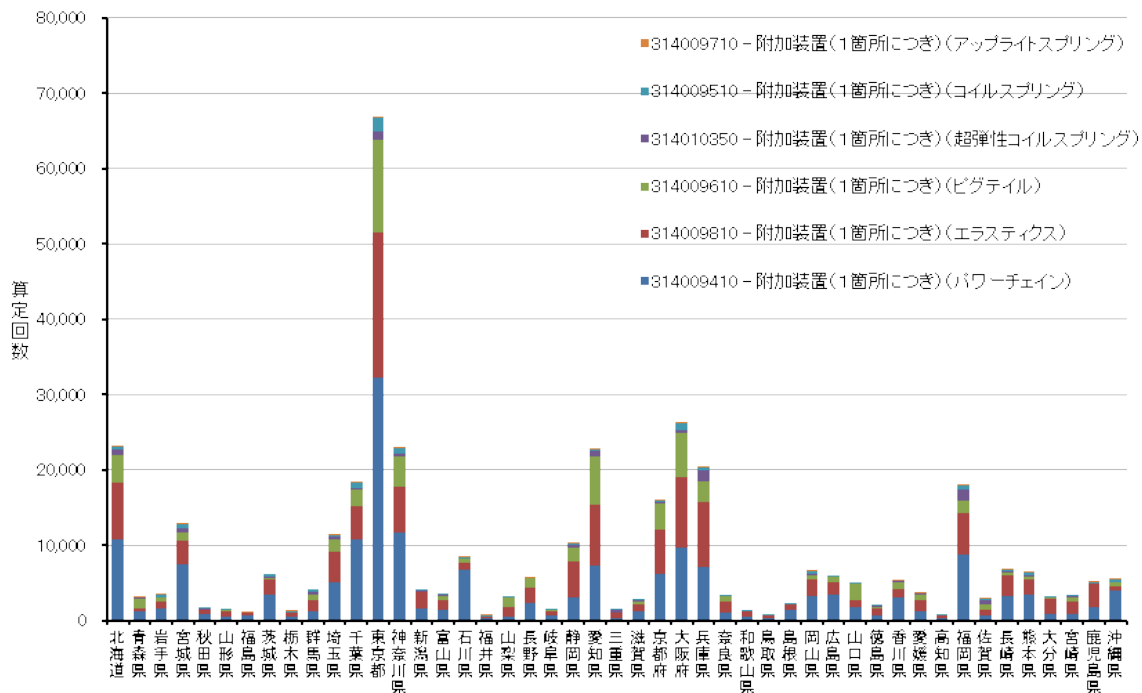


M005 装着：歯に被せ物などを装着すること。

N 歯科矯正 ・ 歯科矯正（外来）

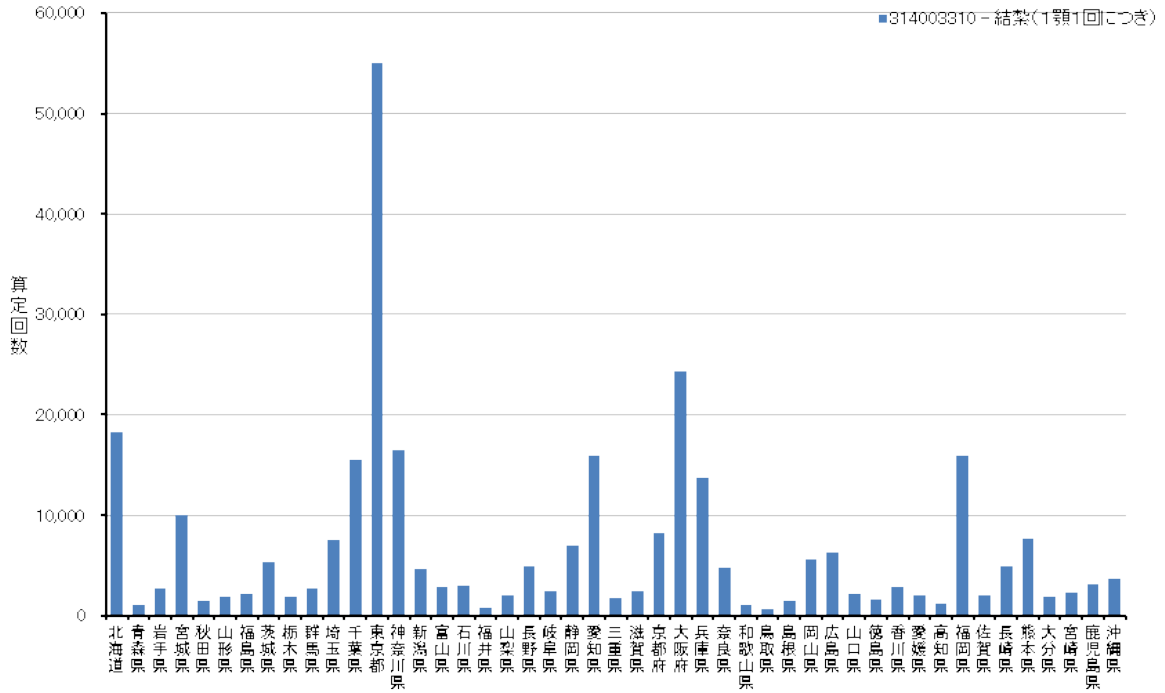
【概要】 外来での歯科矯正に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。

N026 附加装置



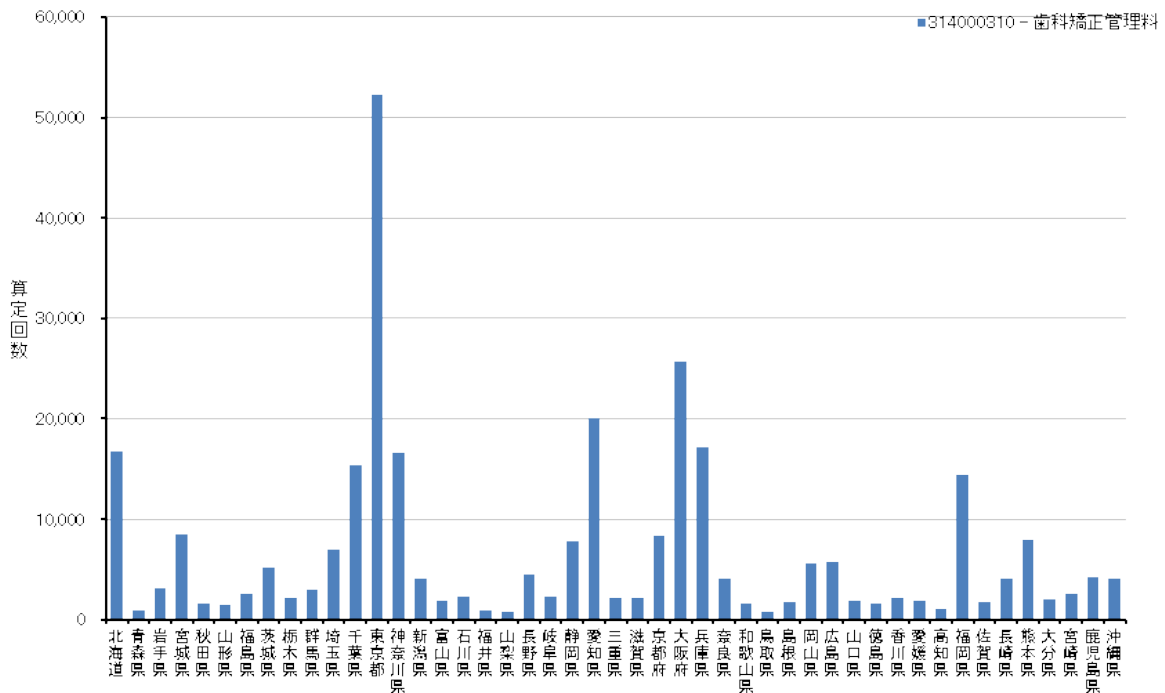
N026 附加装置：歯の表面に付けたブラケットに U 字のアーチ型ワイヤーを用いて矯正治療する際、補助的に使用する装置のこと。

N011 結紮



N011 結紮：歯の表面に付けたブラケットにU字のアーチ型のワイヤーを結ぶ（固定する）こと。

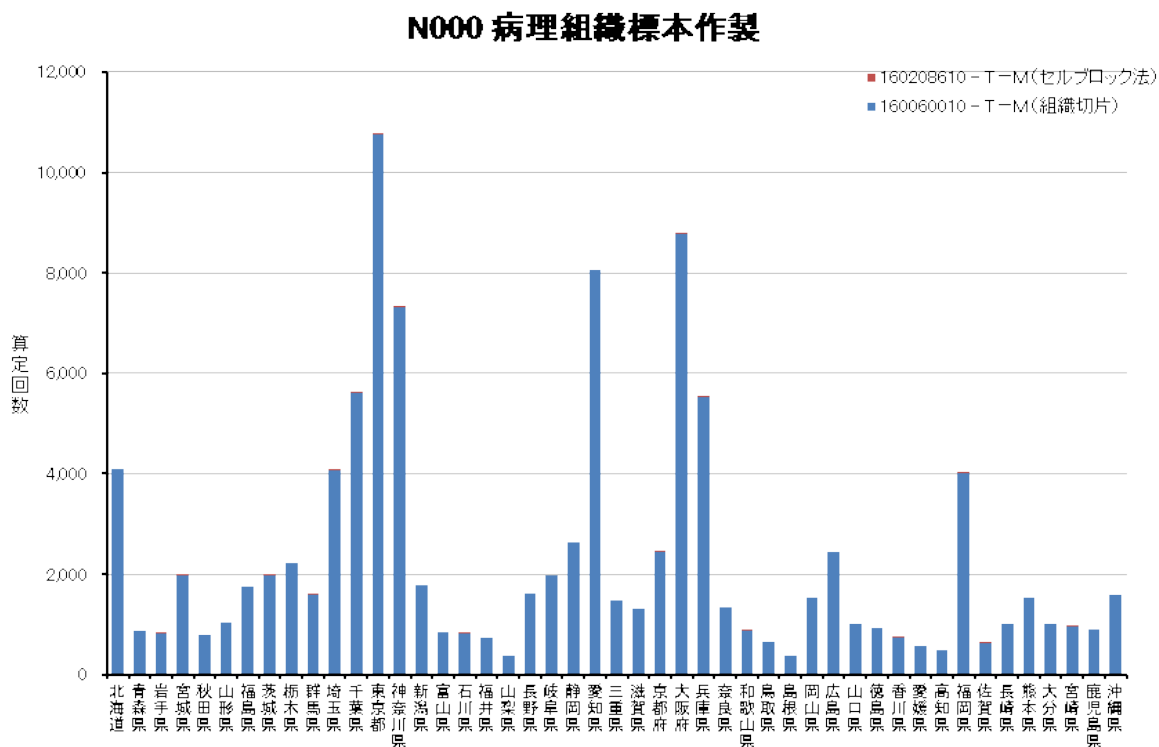
N002 歯科矯正管理料



N002 歯科矯正管理料：計画的な歯科矯正管理を継続して行うこと。

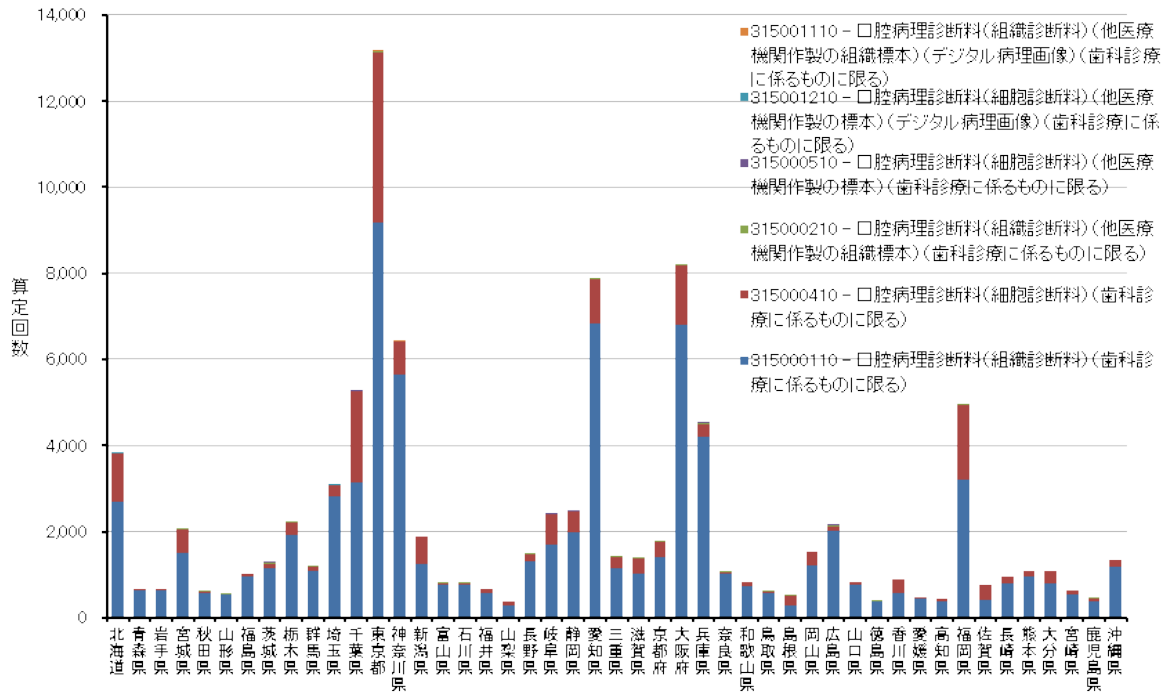
0 病理診断
・病理診断（外来）

【概要】 外来での病理診断に関わる診療行為の算定回数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。算定回数の多い順に、上位 3 項目を示す。



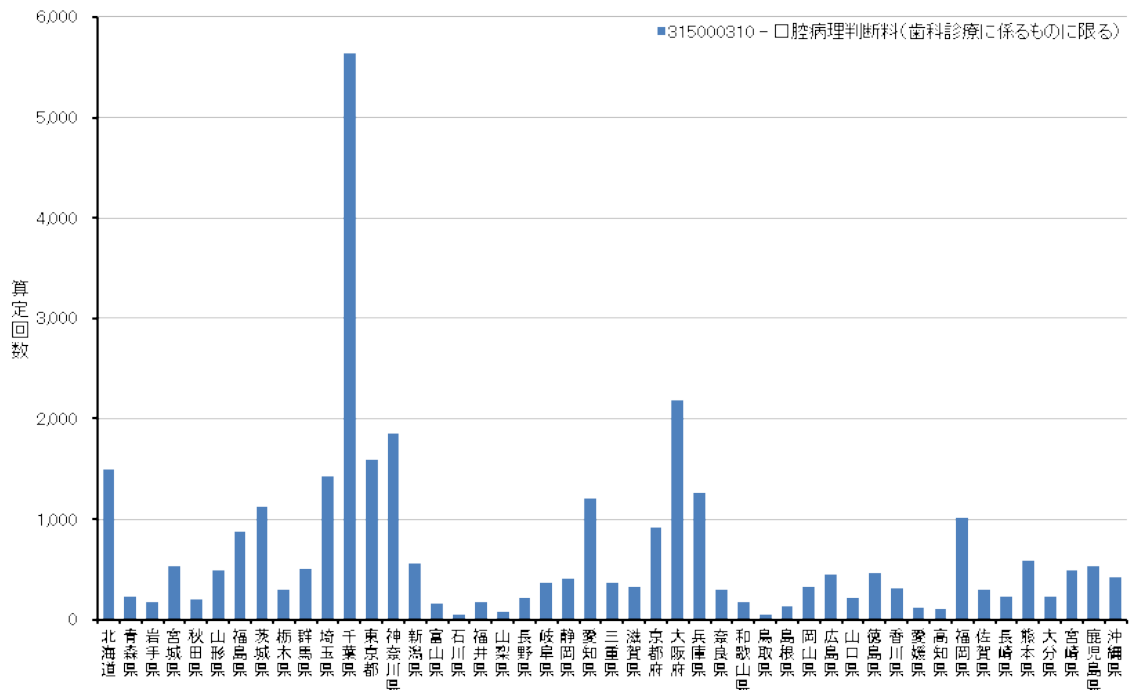
N000 病理組織標本作製：病理検査のため、患者の体から採取した少量の組織または、手術で摘出された臓器を固定、薄切、染色し、標本を作製すること。

0000 口腔病理診断料



0000 口腔病理診断料：病理診断を専ら担当する医師が勤務する医療機関にて、患者の口腔内から採取した組織を顕微鏡で観察して診断されること。

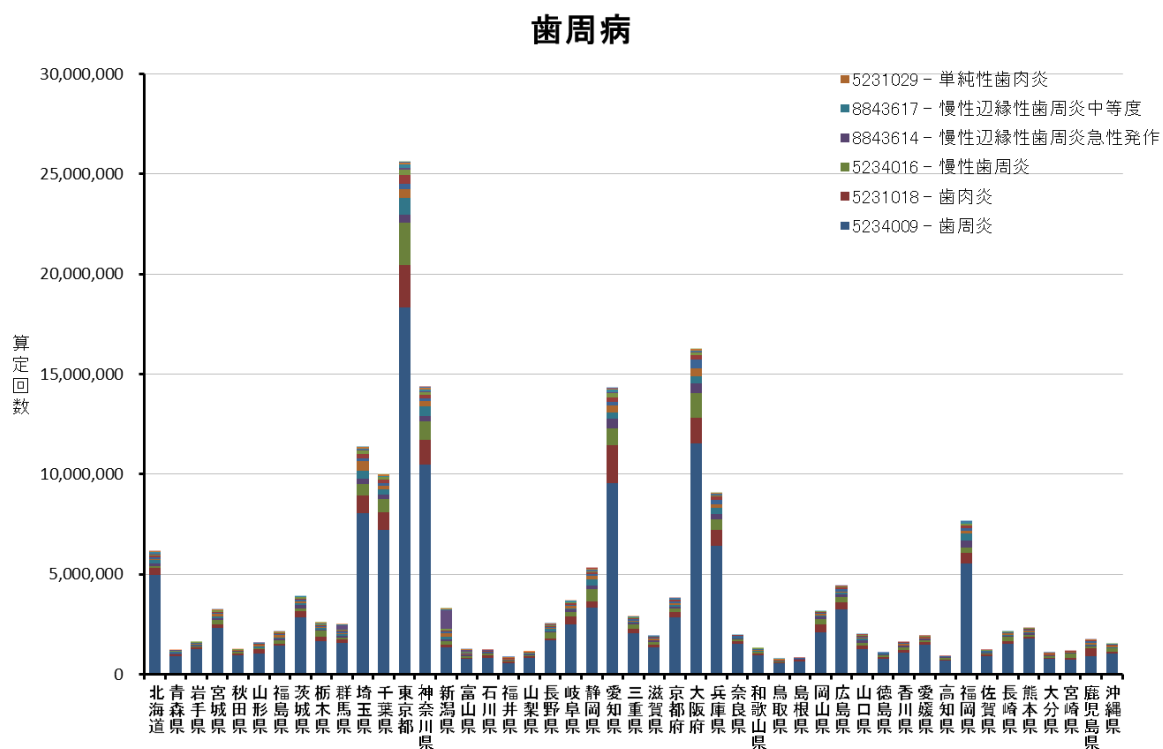
0001 口腔病理判断料



0001 口腔病理判断料：担当医が病理標本について病変の判断を行うこと。

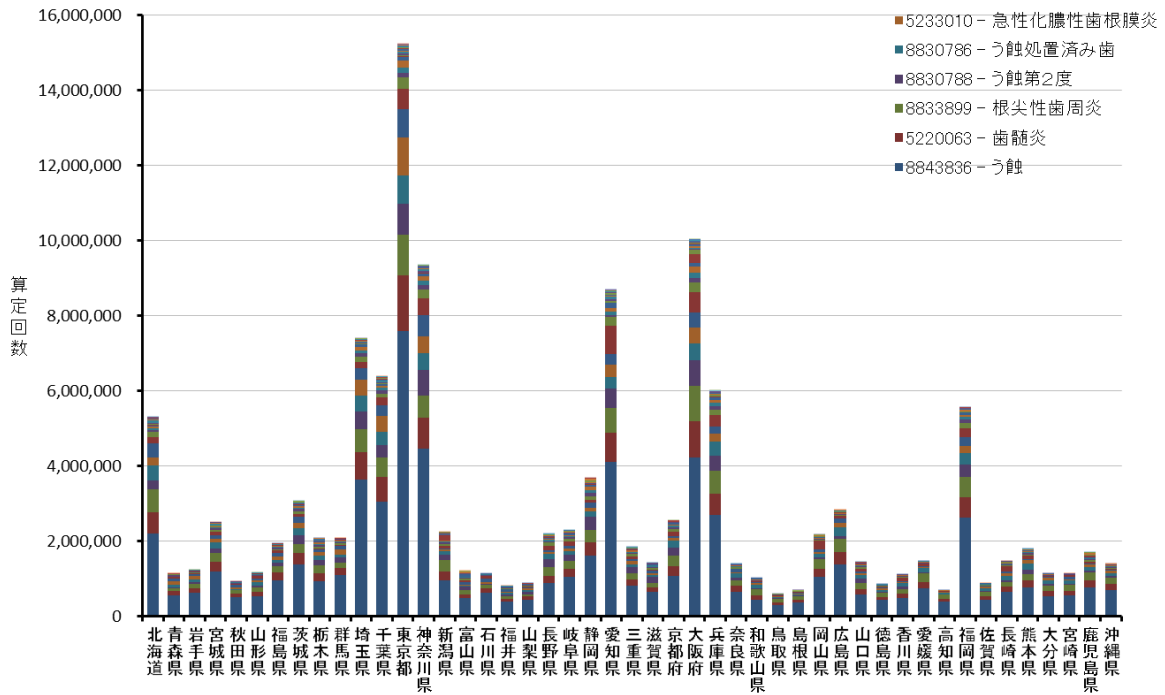
2-3. 歯科傷病の傷病件数の集計グラフ

【概要】 歯科傷病の傷病件数を、都道府県別に平成 30 年度(1 年間)分を集計した。
 主な歯科傷病 3 項目を示す。



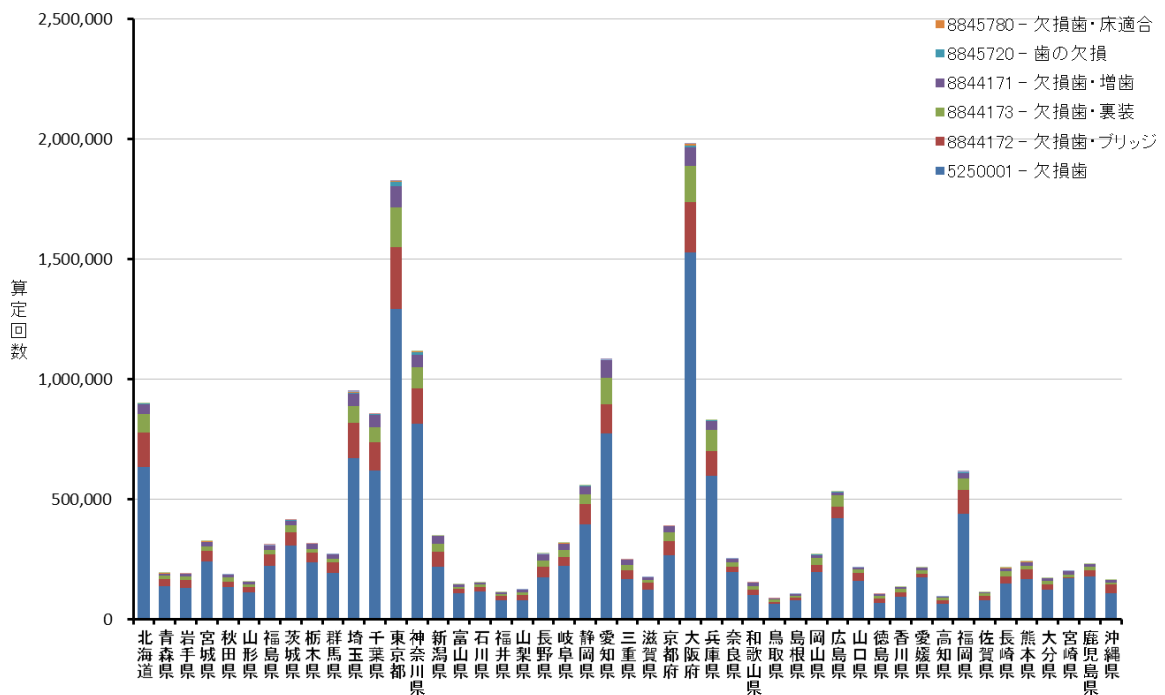
歯周病：歯周炎（歯槽膿漏）、歯肉炎など、歯の周囲組織の疾患。

う蝕



う蝕：口腔内の細菌が産生する酸によって歯が溶かされる疾患。

喪失歯

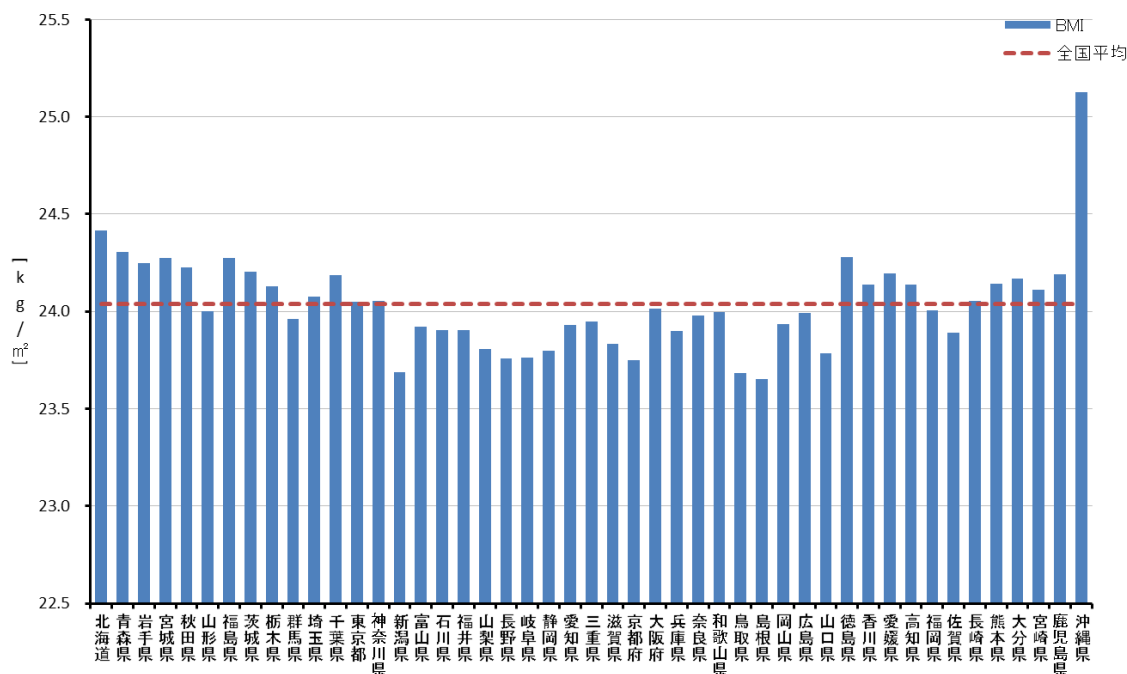


喪失歯：う蝕や外傷、歯周病などの原因で、抜け落ちてしまった場合や抜歯して後天的に歯を失うこと。

2-4. 特定健診の集計グラフ

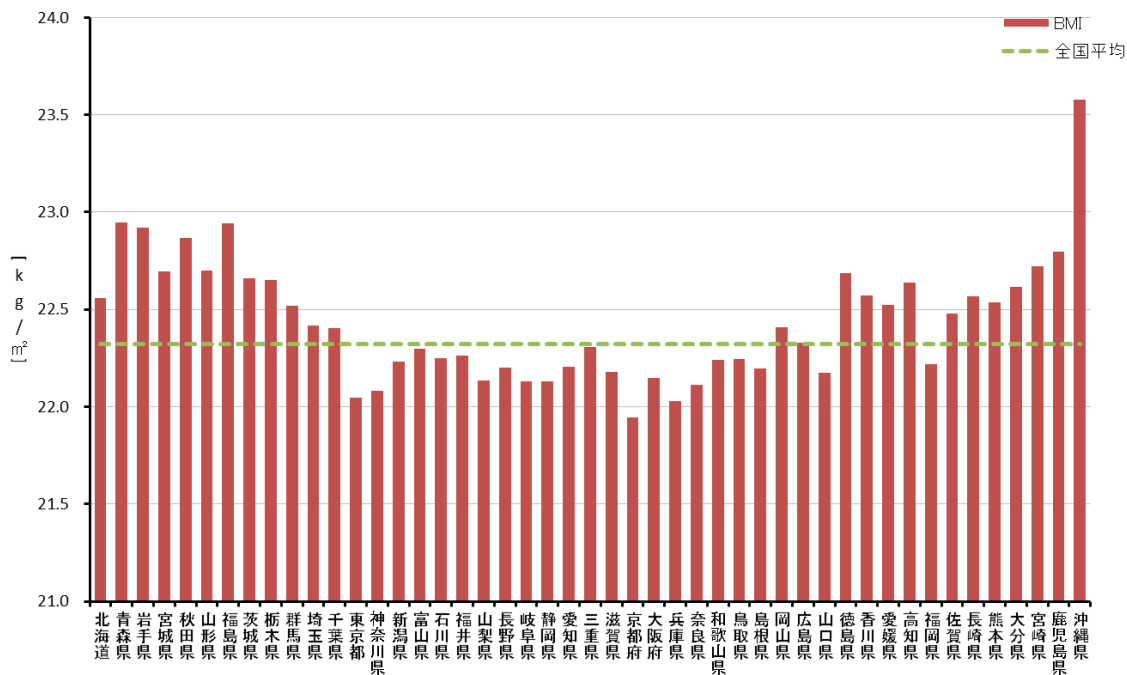
【概要】特定健診における検査項目を、男女別、都道府県別に平成29年度(1年間)分を集計した。13項目を示す。

BMI(男性)



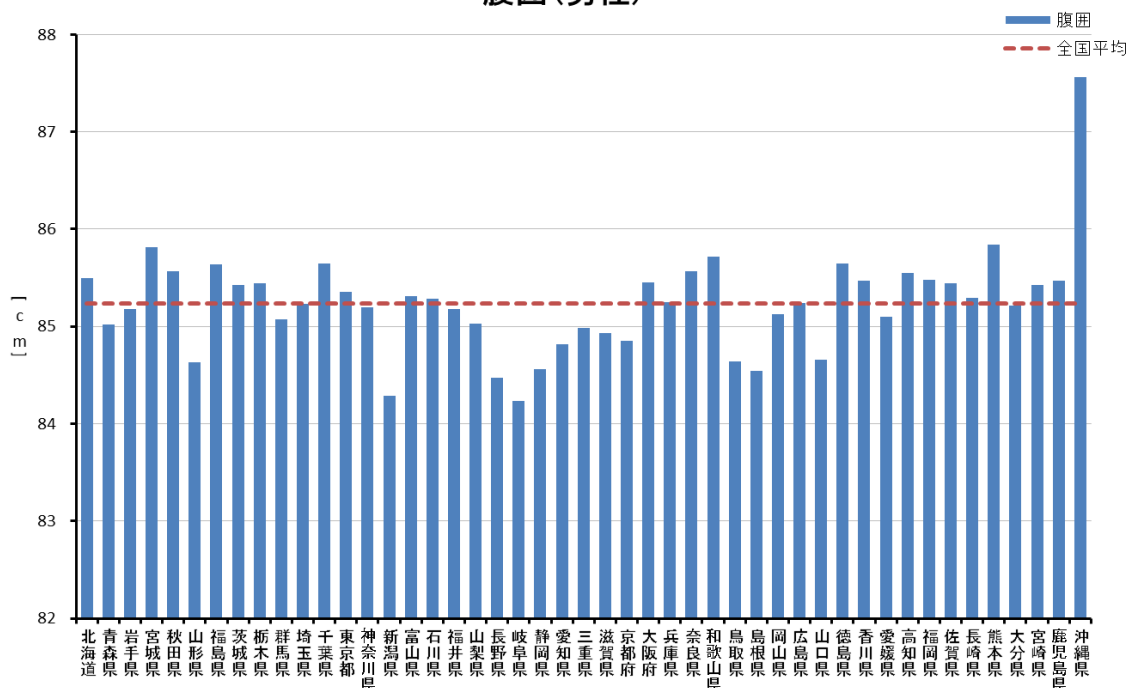
BMI : Body Mass Index の略。BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m).

BMI(女性)



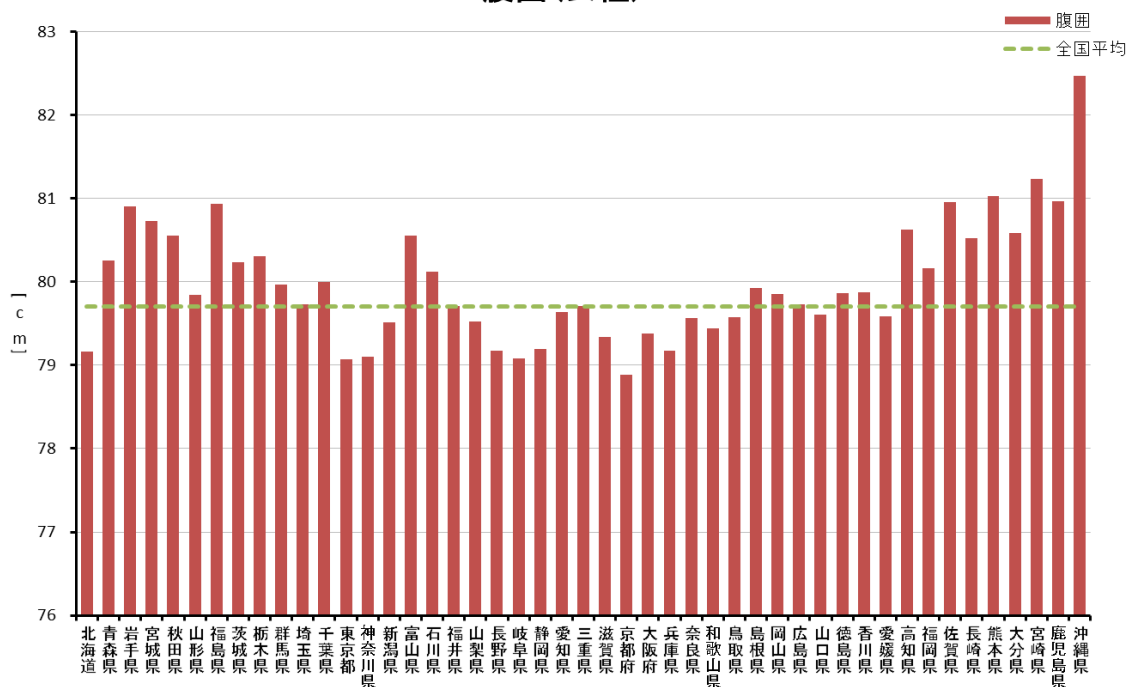
BMI : Body Mass Index の略。BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m).

腹囲(男性)



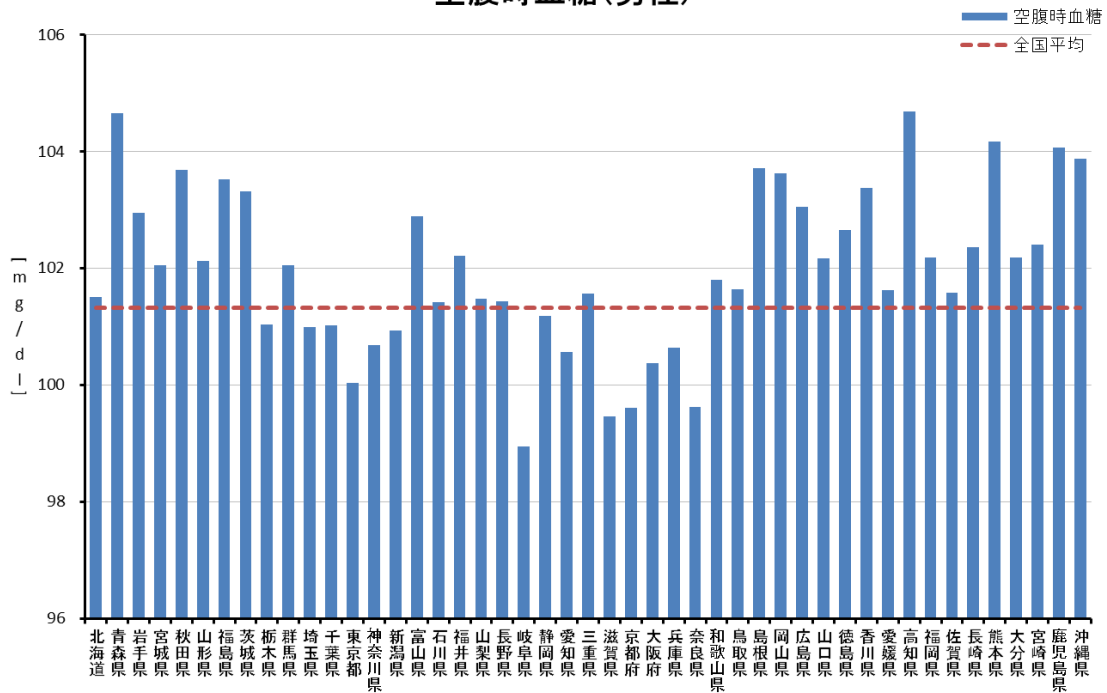
腹囲：おへその高さのウエスト周囲長。

腹囲(女性)



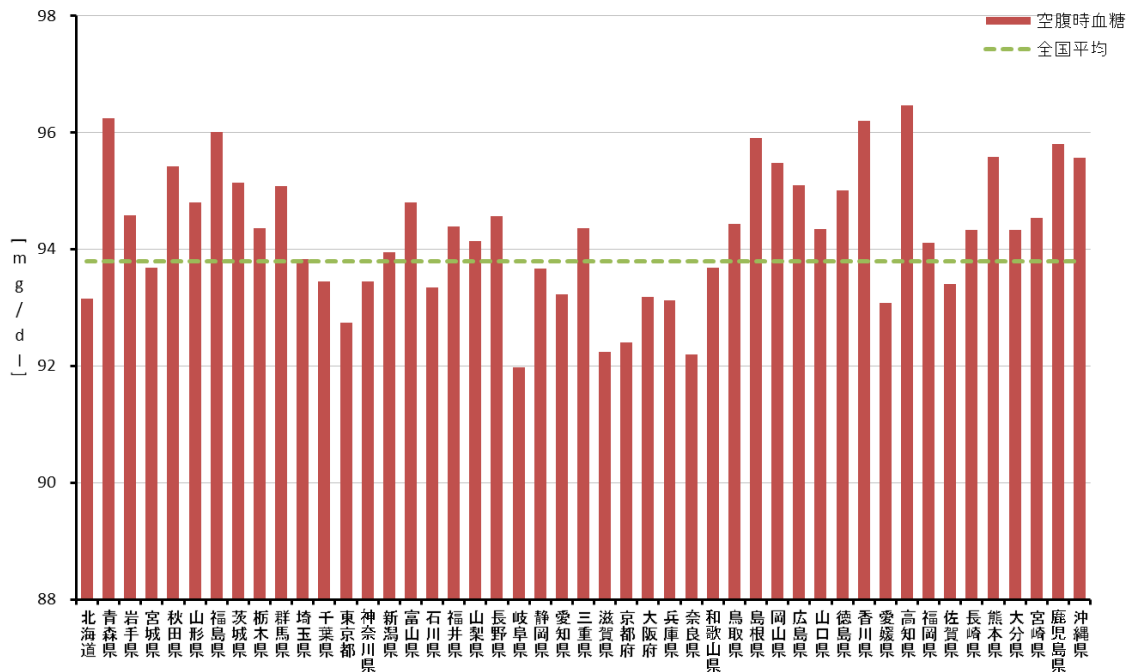
腹囲：おへその高さのウエスト周囲長。

空腹時血糖(男性)



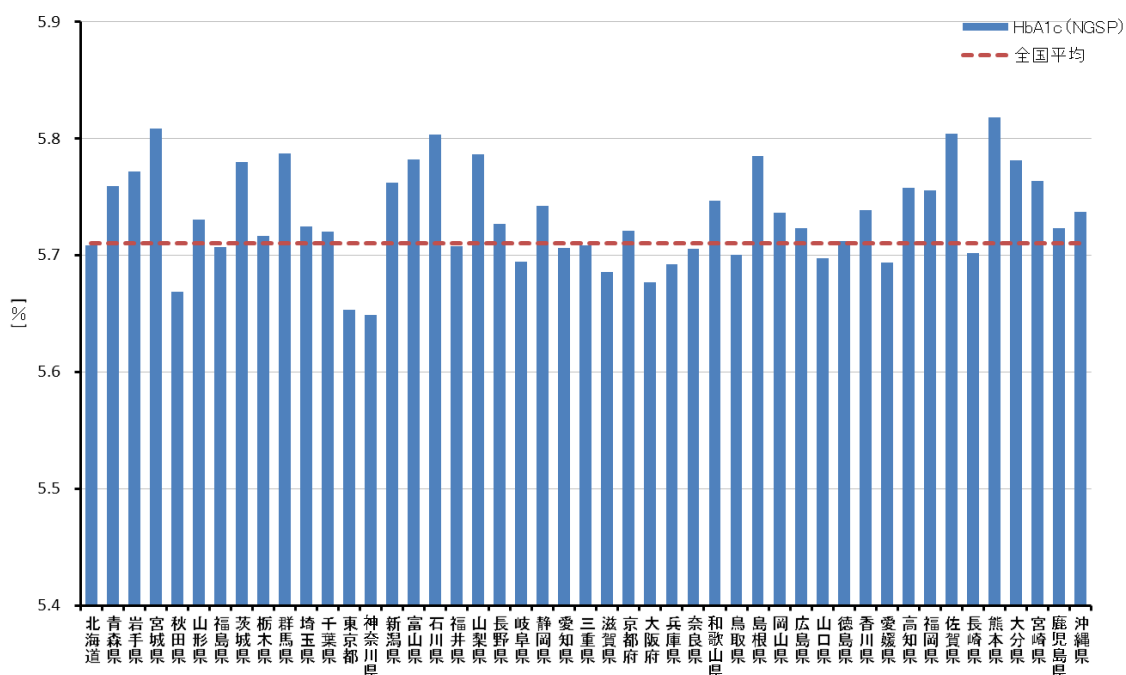
空腹時血糖：10時間以上食事をしていない状態で測定した血液中のブドウ糖の濃度。

空腹時血糖(女性)



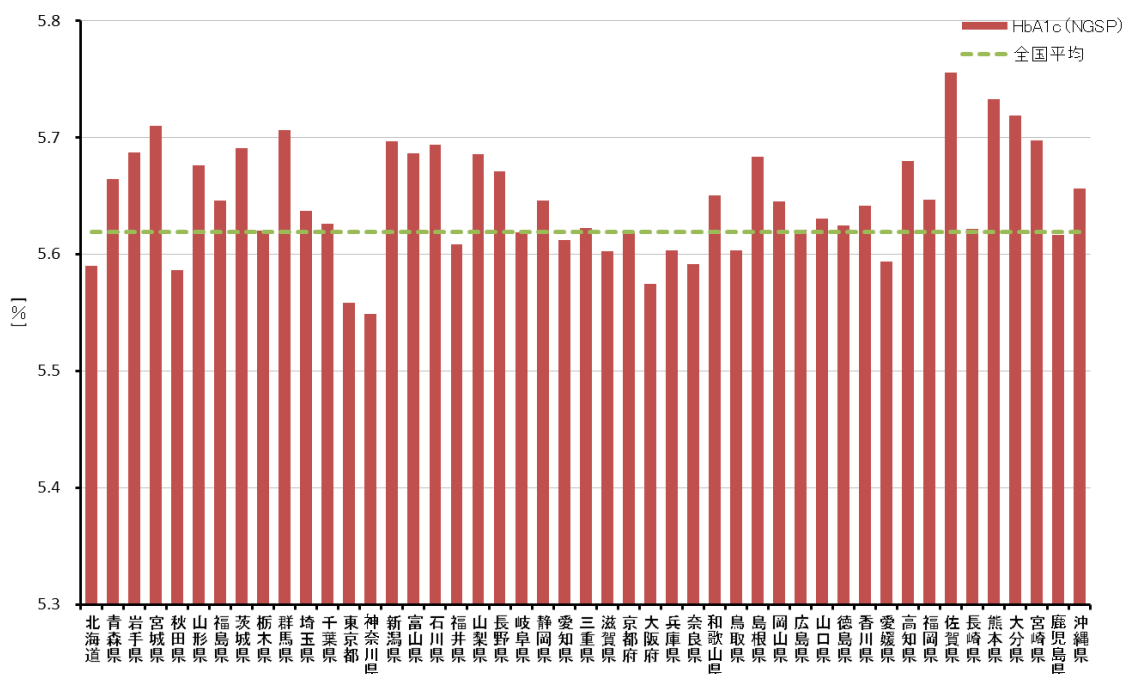
空腹時血糖：10時間以上食事をしていない状態で測定した血液中のブドウ糖の濃度。

HbA1c(NGSP) (男性)



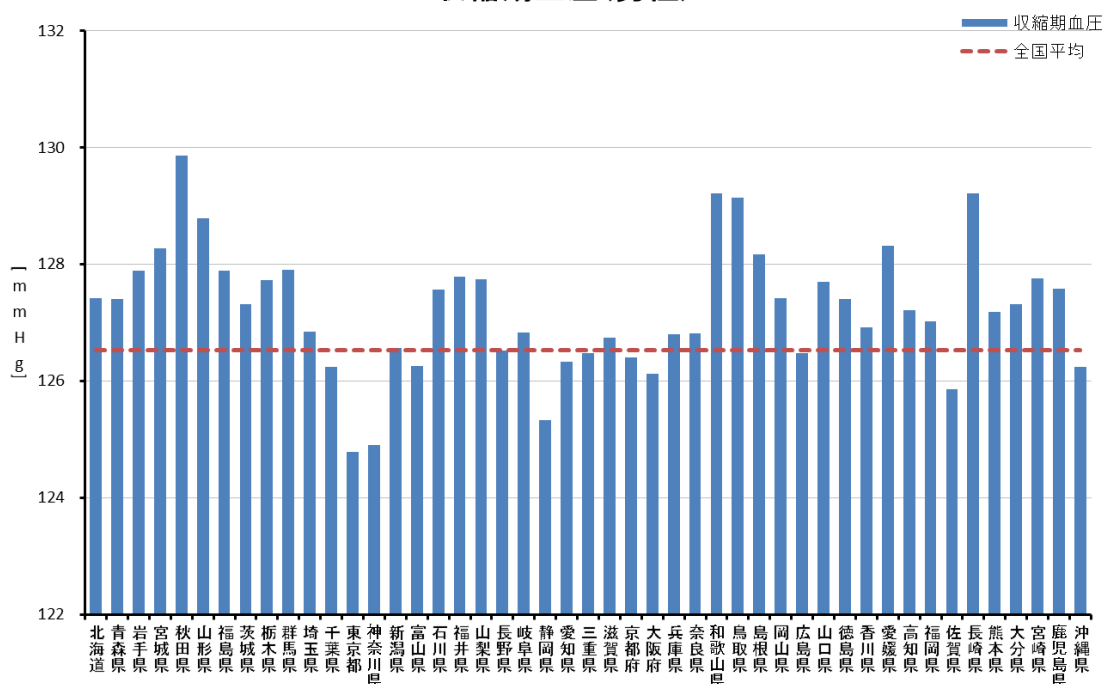
HbA1c：赤血球の中に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したものであり、過去 1-2 ヶ月間の平均血糖値を反映する指標。NGSP 値で表示されている。

HbA1c(NGSP) (女性)



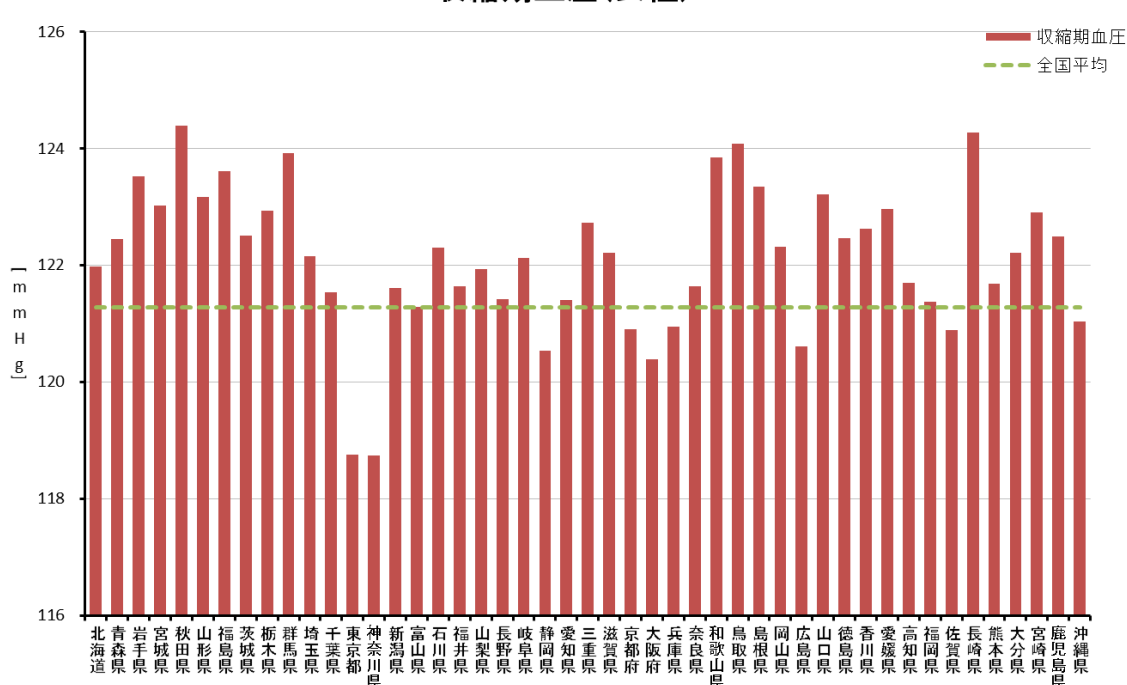
HbA1c：赤血球の中に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したものであり、過去 1-2 ヶ月間の平均血糖値を反映する指標。NGSP 値で表示されている。

収縮期血圧(男性)



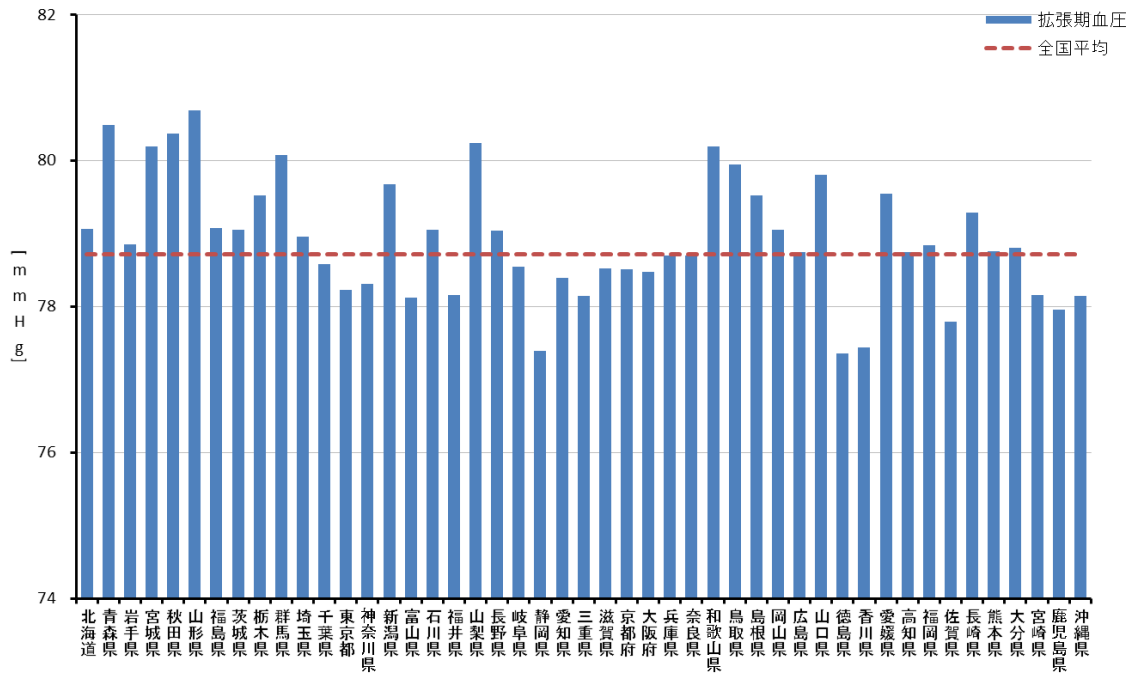
収縮期血圧：心臓が全身に血液を送り出した時に血管壁にかかる圧力のうち、心臓が収縮した時の数値。

収縮期血圧(女性)



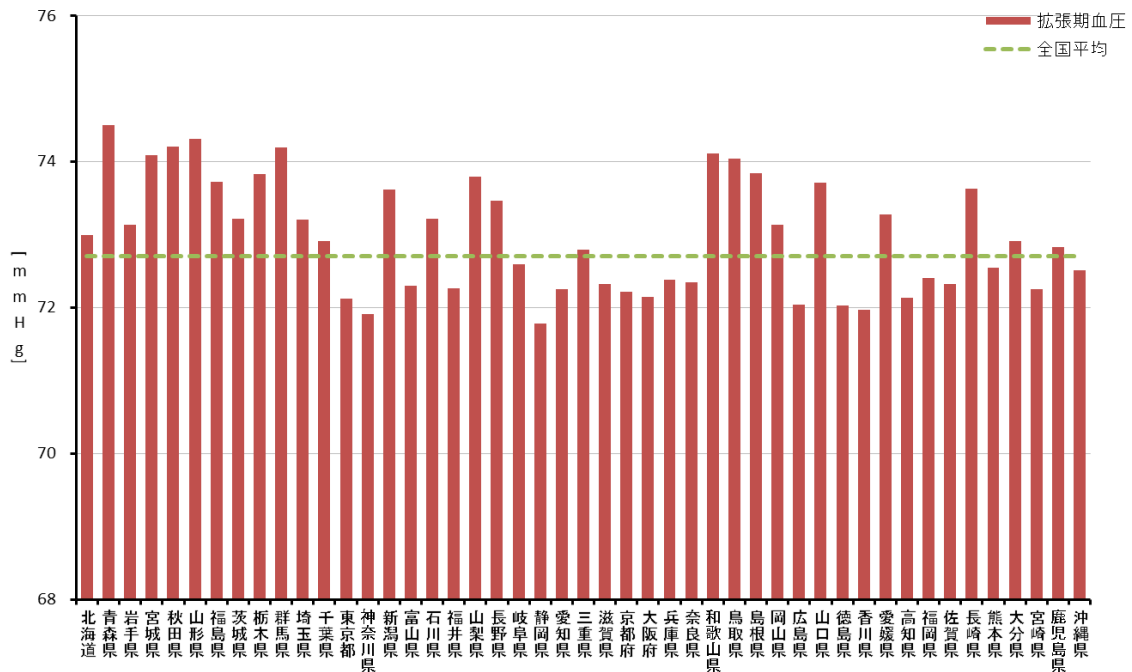
収縮期血圧：心臓が全身に血液を送り出した時に血管壁にかかる圧力のうち、心臓が収縮した時の数値。

拡張期血圧(男性)



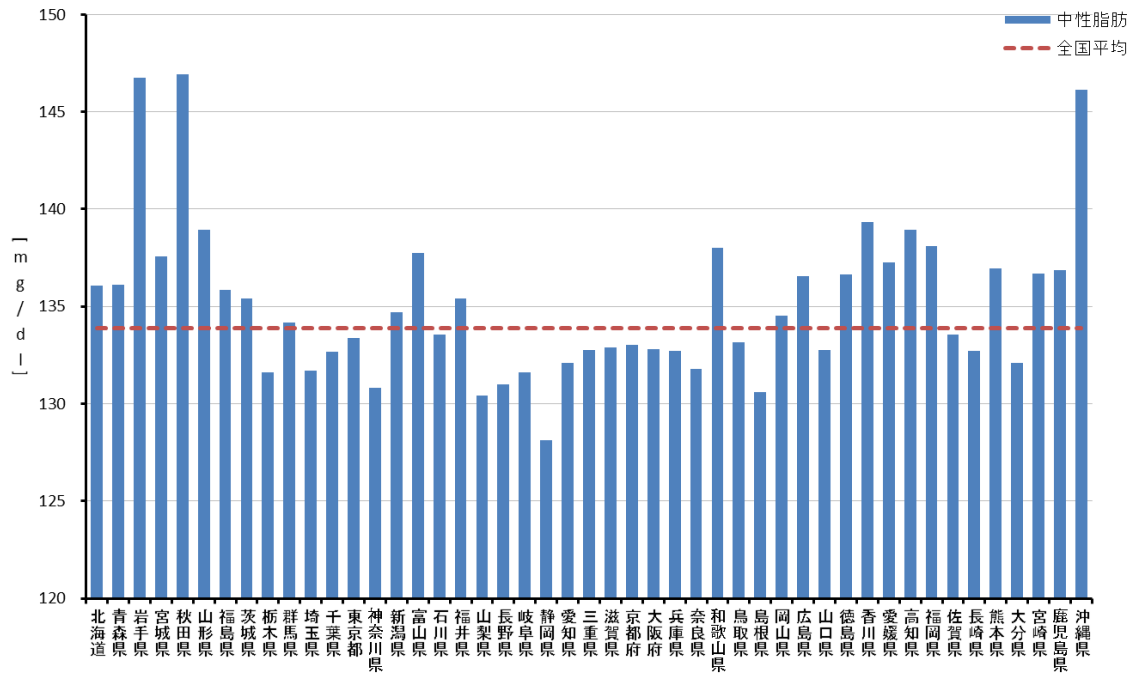
拡張期血圧：心臓が全身に血液を送り出した時に血管壁にかかる圧力のうち、心臓が収縮を終えて、全身から心臓へ血液が戻ってくる時の数値。

拡張期血圧(女性)



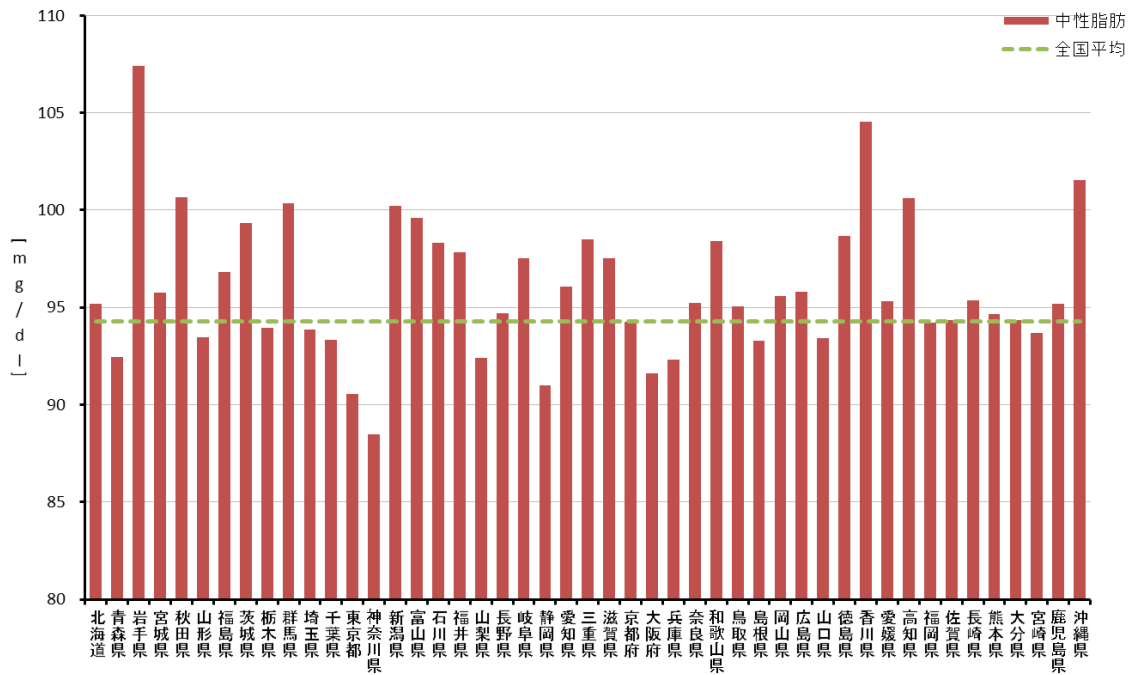
拡張期血圧：心臓が全身に血液を送り出した時に血管壁にかかる圧力のうち、心臓が収縮を終えて、全身から心臓へ血液が戻ってくる時の数値。

中性脂肪(男性)



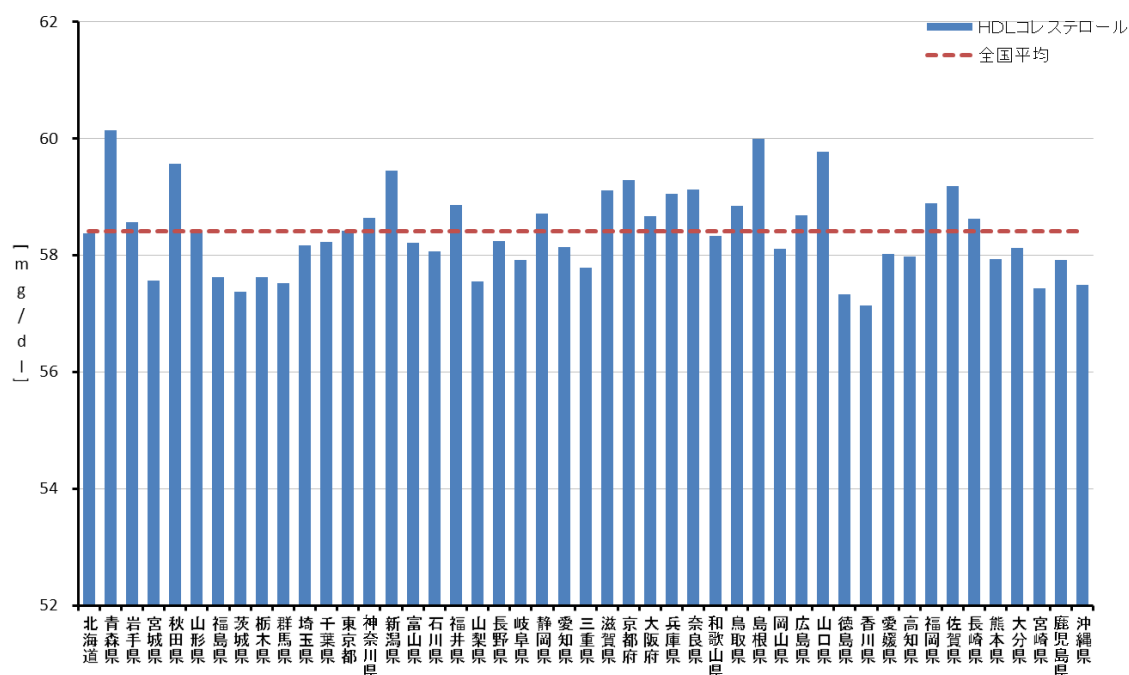
中性脂肪：血液中の中性脂肪の値。

中性脂肪(女性)



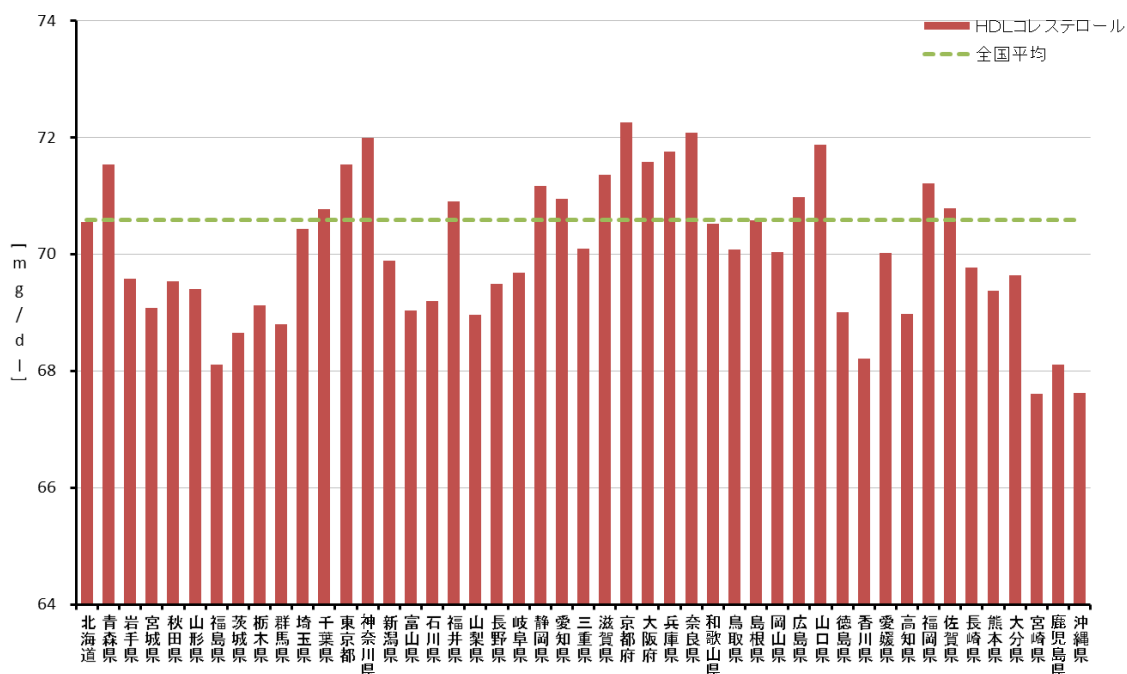
中性脂肪：血液中の中性脂肪の値。

HDLコレステロール(男性)



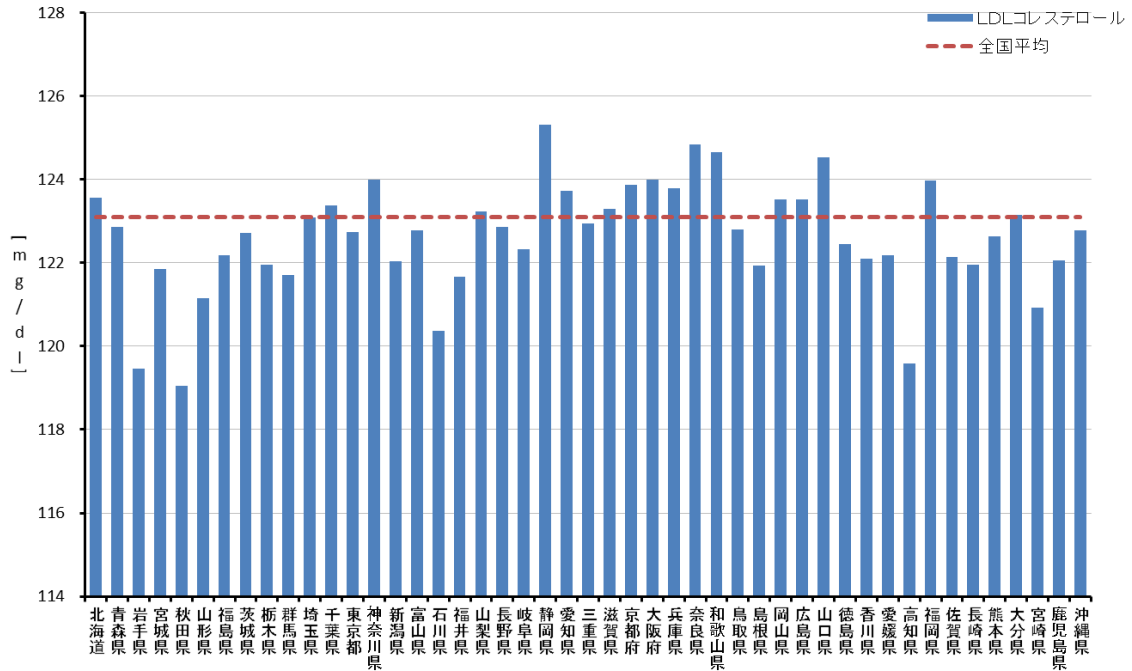
HDL コレステロール：血中の余分なコレステロールを回収し、肝臓に戻す働きをする。いわゆる「善玉コレステロール」。

HDLコレステロール(女性)



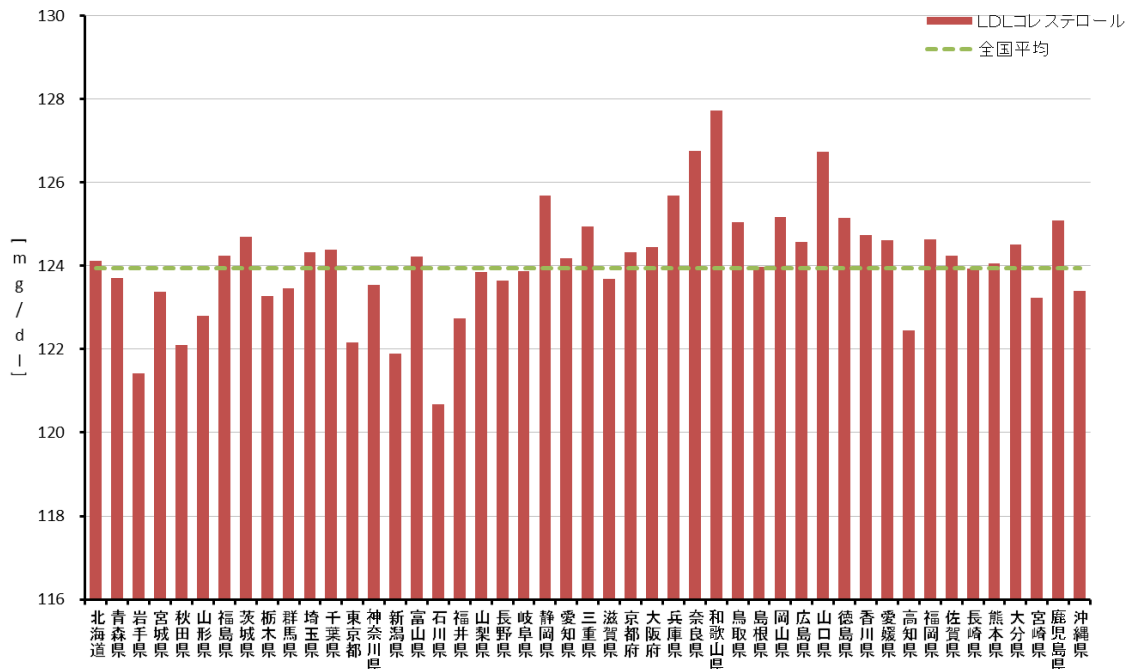
HDL コレステロール：血中の余分なコレステロールを回収し、肝臓に戻す働きをする。いわゆる「善玉コレステロール」。

LDLコレステロール(男性)



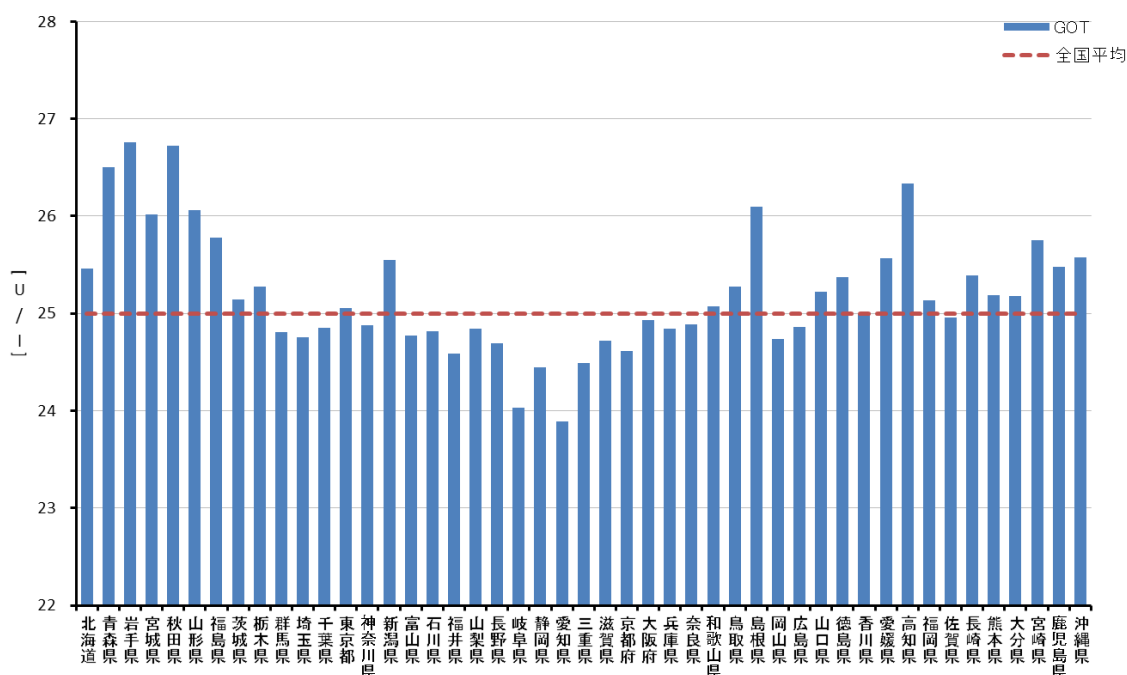
LDL コレステロール：血中のコレステロールを全身に運ぶ働きをする。いわゆる「悪玉コレステロール」。

LDLコレステロール(女性)



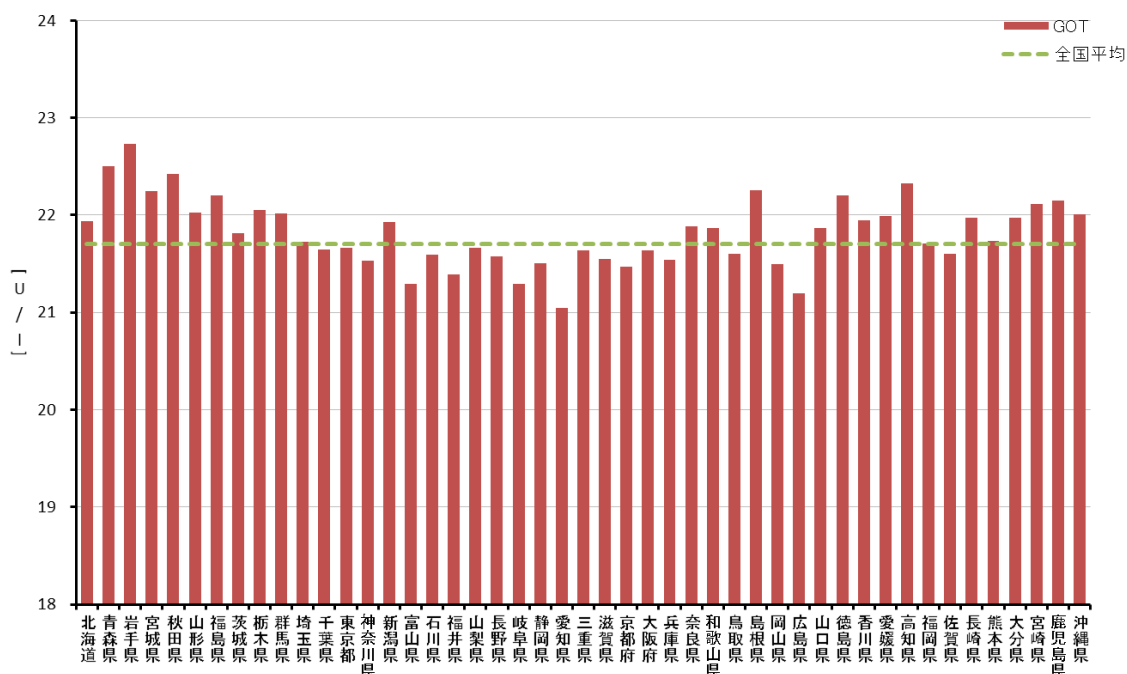
LDL コレステロール：血中のコレステロールを全身に運ぶ働きをする。いわゆる「悪玉コレステロール」。

GOT(男性)



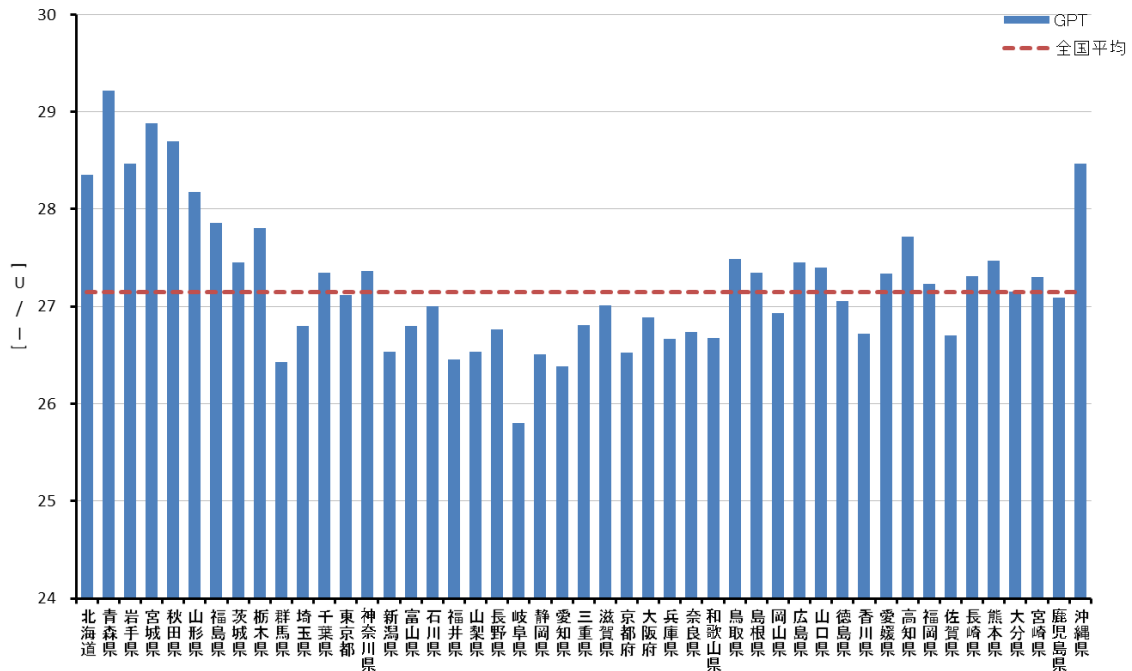
GOT (AST) : 肝臓・心筋・骨格筋の細胞に多く存在する酵素。これらの臓器が傷害されると数値が上昇する。

GOT(女性)



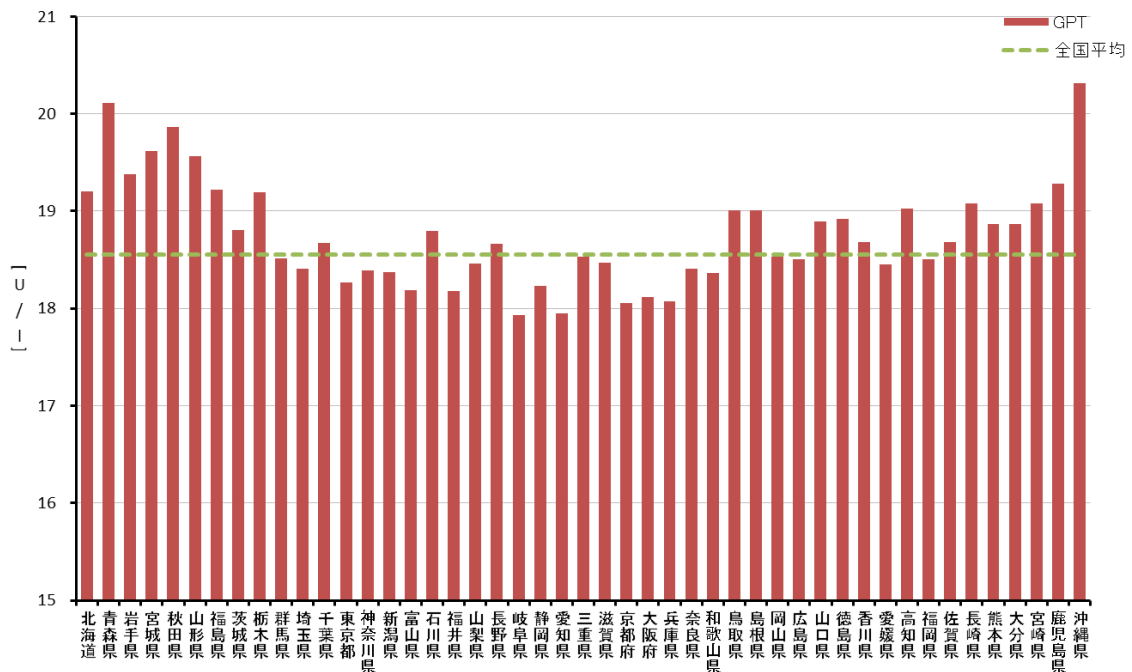
GOT (AST) : 肝臓・心筋・骨格筋の細胞に多く存在する酵素。これらの臓器が傷害されると数値が上昇する。

GPT(男性)



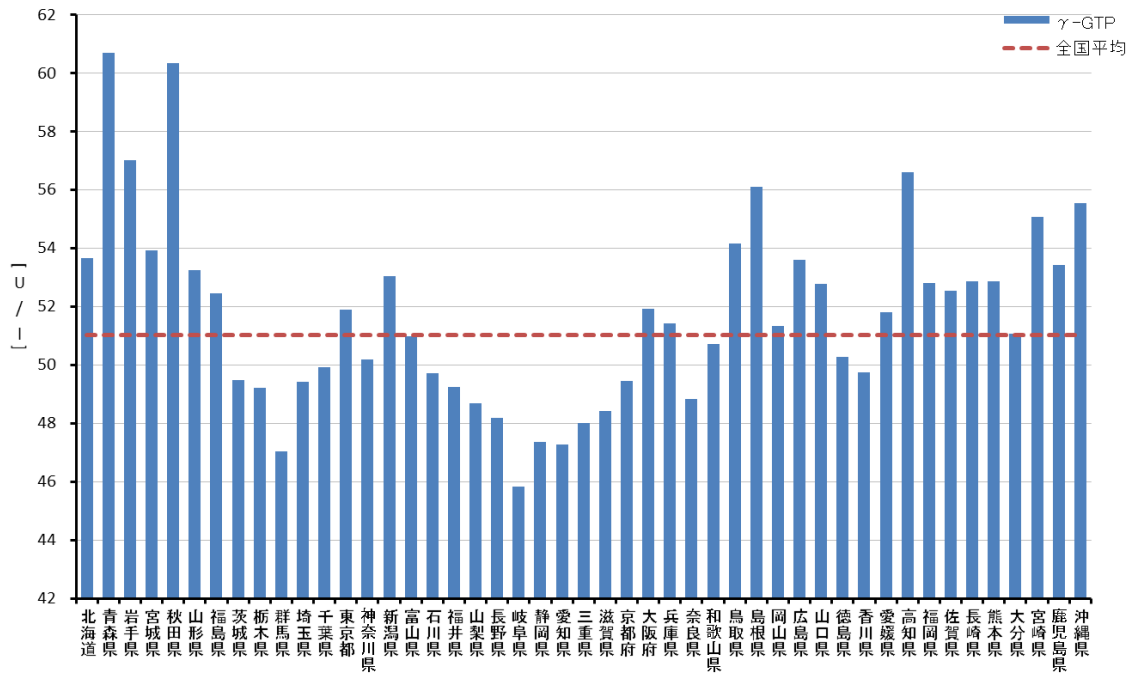
GPT (ALT) : 肝臓や腎臓で作られる酵素で、タンパク質を分解・合成する働きをする。アルコールの飲み過ぎや肥満、胆道系の病気で数値が上昇する。

GPT(女性)



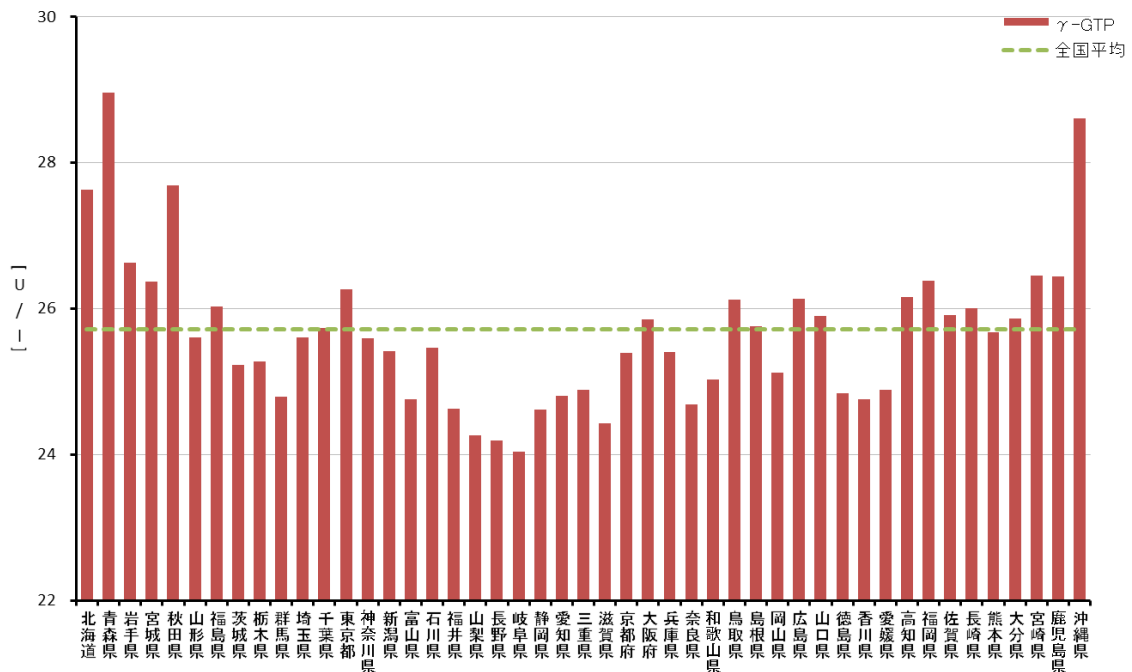
GPT (ALT) : 肝臓や腎臓で作られる酵素で、タンパク質を分解・合成する働きをする。アルコールの飲み過ぎや肥満、胆道系の病気で数値が上昇する。

γ-GTP(男性)



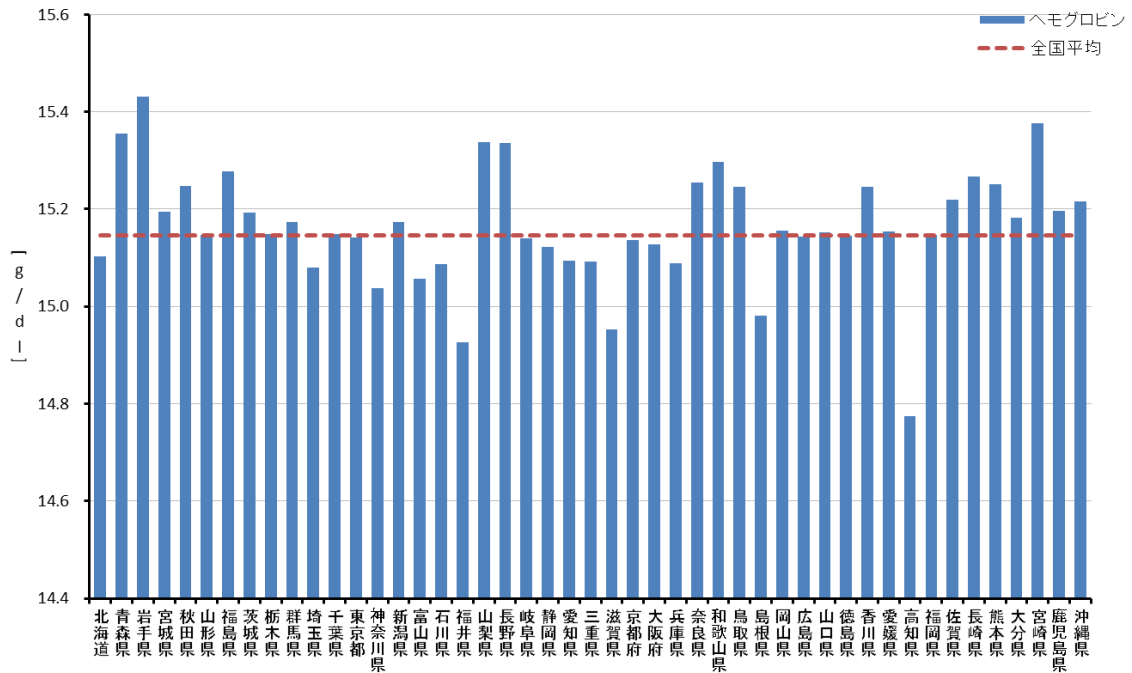
γ-GTP：肝臓や腎臓で作られる酵素で、タンパク質を分解・合成する働きをする。アルコールの飲み過ぎや肥満、胆道系の病気で数値が上昇する。

γ-GTP(女性)



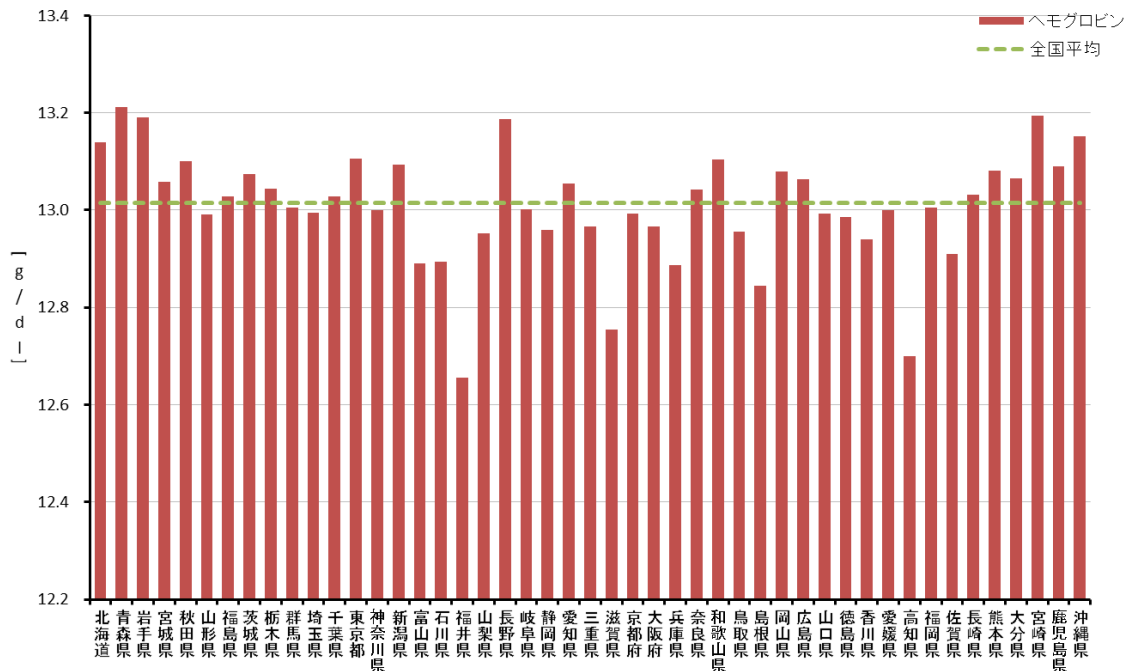
γ-GTP：肝臓や腎臓で作られる酵素で、タンパク質を分解・合成する働きをする。アルコールの飲み過ぎや肥満、胆道系の病気で数値が上昇する。

ヘモグロビン(男性)



ヘモグロビン：赤血球に含まれ、酸素を体内の組織に運ぶ上で重要な働きをする。色素。

ヘモグロビン(女性)



ヘモグロビン：赤血球に含まれ、酸素を体内の組織に運ぶ上で重要な働きをする。色素。